



昭和五年度事業報告

鹿兒島縣水產試驗場

昭和五年度水産試験場事業報告

目次

漁撈部

鯉漁業試験

趣旨、調査方法、經過、成績、表面水溫分布圖、一般海況と漁況、試験成績表、鯉釣漁業表、五年中鯉漁況、天測講習

鮪延縄漁業試験

趣旨、試験方法、經過、成績（試験成績、漁業表）

旗魚延縄漁業試験

趣旨、經過、成績、漁場水溫、技繩種別漁獲者、漁業表（漁業試験）

瀬魚延縄漁業試験

趣旨、方法經過、成績試験（小寶島西部、全南東部、沖曾根、寶島南東四渾）漁業表

トンボ鮪延縄及鯖釣漁業試験

趣旨、經過成績、漁業表（トンボ鮪延縄及鯖釣り漁業試験）

製造部

鯉節製造試験及傳習

六〇

六〇

五四

四六

三九

二一

鹿兒島實驗所製造試驗.....六〇

阿久根製造場製造試驗.....六一

趣旨

鰻丸乾製造試驗.....六一

經過、製造方法、試賣

鰻末廣乾製造試驗.....六一

經過、試賣

養殖部.....六二

小鮎移植試驗.....六二

趣旨、方法經過

調查部.....六三

鯨回游調查.....六三

趣旨、放流經過成績

海洋觀測.....六四

開闢岬、屋久島間橫斷觀測、水溫、比重

屋久島奄美大島間橫斷觀測、水溫、比重

橫斷觀測表、橫斷觀測圖

鹿兒島灣內定點觀測	六七
-----------	----

表面水溫、下層水溫、定點觀測表、總收、本年度中漁況、鯖、鰹、鰻、鯛、鰺、旗魚、鯖、飛魚、瀬魚

重要魚漁獲調查	七二
---------	----

鰹 漁 獲 表、各月別漁獲概要

鹿兒島縣水産試験場昭和五年度事業報告

漁撈部

鰹漁業試験

趣旨 前年度に繼承し縣下重要漁業の大宗たる鰹漁業に關し春漁期中其の海況と漁況との關係を調査すると共に新漁場と目す可き海區に出漁し其の狀況を縣下當業者に速報し斯業の開發助長を爲さんとせり

調査方法

調査船 照洋丸 五十五屯 七十五馬力

乗組員 主任一名 船長以下二十八名

期 間 自昭和五年三月十七日

至昭和五年六月二十八日

調査海區 大東島 宮古島 久米島 支那東海百ビロ線 熊野堆

漁獲法 竿釣

漁獲物處理 氷藏に依り鮮魚のまゝ根據地に運搬賣却す

經過 昭和五年三月十七日より着手し六月二十八日迄百四日間に、出漁九回にして總漁獲鰹、鮪二千九百十四尾、價格金二千九百五十三圓を得たり、毎航海の狀況左の如し

第一航海 (自三月十七日 至三月二十四日) 七島漁場より沖繩に至る海區に於ける水溫比重の測定及魚群の廻游狀況を調査せんとす

三月十七日櫻島にて餌料積載出漁し七島東側を航し十八日サンドン岩附近にて魚群多かりしも餌付不良にて大版魚八十五尾釣獲す十九日全

所附近全様魚群多きも餌付不良にて小版魚百四十尾釣獲更に笠利崎北西二十五哩にて大版魚八十尾漁獲後荒天となり名瀬港外に假泊二十日西古見灣に避難し二十一日徳之島北微西十五哩にて大版魚群に會し百四十五尾を釣獲し此の附近より舊式會根南方迄魚群多きも餌付せず寶島南西五哩にて小鰹二十五尾を釣獲し二十三日中會根五號會根平島西方面等魚群多きも何れも餌付不良にて持餌盡きたるを以て歸途に就き二十四日枕崎入港漁獲物賣却鰹四百七十五尾價格六百五十九圓を得たり。

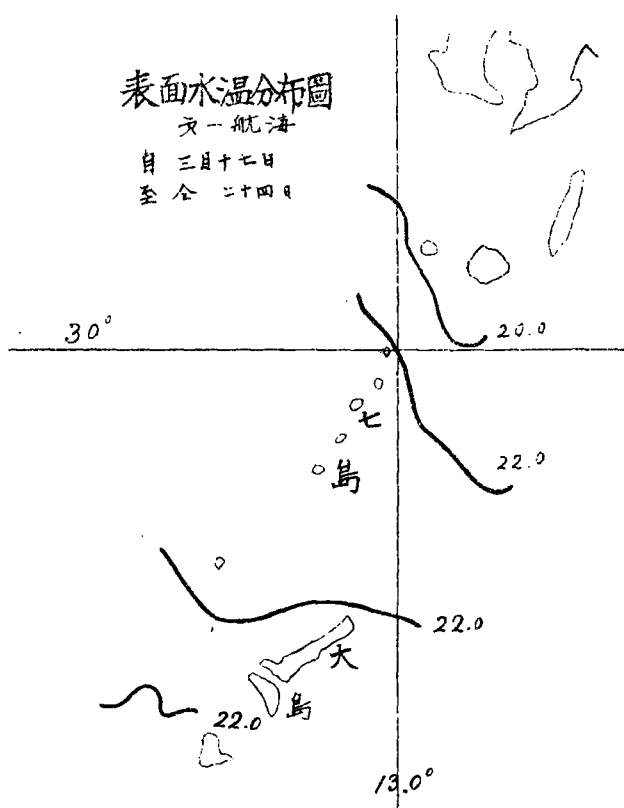
今回の調査を綜合考察するに七島漁場に於ける最高水温は臥蛇島附近にて二二、七度にして寶島、臥蛇島間一帯に高温にして二二、〇度以上を示し横當島附近二一、〇度以上大島附近は二〇、〇度以上にして二二、〇度線の北部は口ノ島より芽瀬附近に達せり。昨年全期に比し

寶島近海二、〇度の高温を示し流速は微弱にして水色は一帯に良好なり魚群は一般に大型多く小版群はシビを混し二斤位にして魚群は薄く廣く擴れる傾向あり、何れも細餌持にして餌付悪く横當以北に於て特に然り本月中旬に於て一時的に脂肪鰹の出現あり漁況は比較的順調なり。

第二航海 (自三月二十九日) 三月二十九日片浦にて餌料積載至四月七日) 三月二十九日片浦にて魚群に會せるも

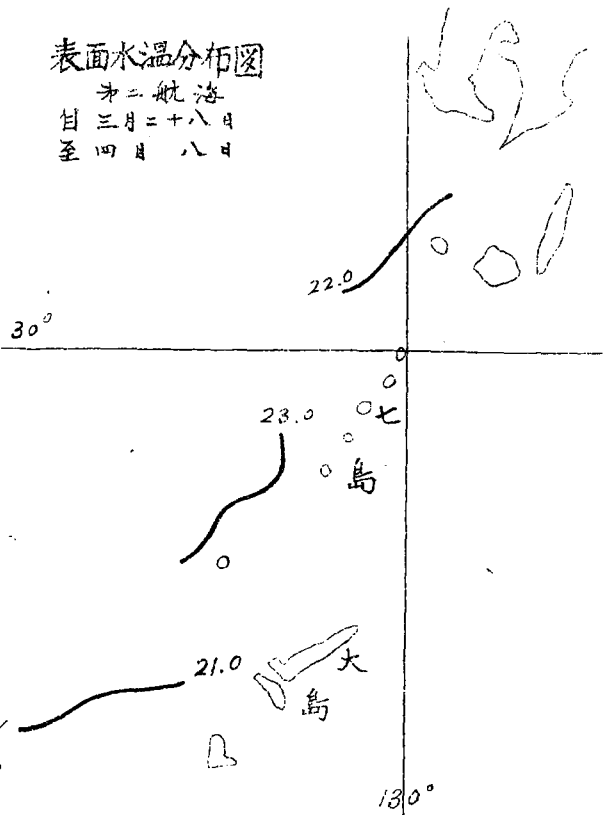
七島漁場調査に向ふ、三十日寶島南西にて魚群に會せるも餌に付かず三十一日西シビ、會根魚群あるも細餌持にて餌に付かず荒天となり鳥島に避泊四月一日シビ、會根にて大版魚七十二尾釣獲し后七時伊平屋會根に漂泊二日荒天となり伊平屋島に避泊し三日伊平屋會根魚群なく北東に航し魚群に會したるも細餌持にて餌に付かずシビ、會根南西五哩にて魚群に會せるも餌付不良にて大版魚十五尾釣獲に止り

四日荒天にて寶島に假泊六日小寶島北にて小鰹の濃群ありたるも餌付せず五號會根、シビ泥り小鰹群あるも餌付良好ならず小鰹四十尾釣獲午後六時小寶島北にて小鰹大群あるも餌付極めて不良小鰹二十一尾を釣獲したるに止り歸途に就き七日枕崎着鰹百四十一尾價格百九十七圓を得



表面水温分布図

第二航海
三月二十八日
至四月八日

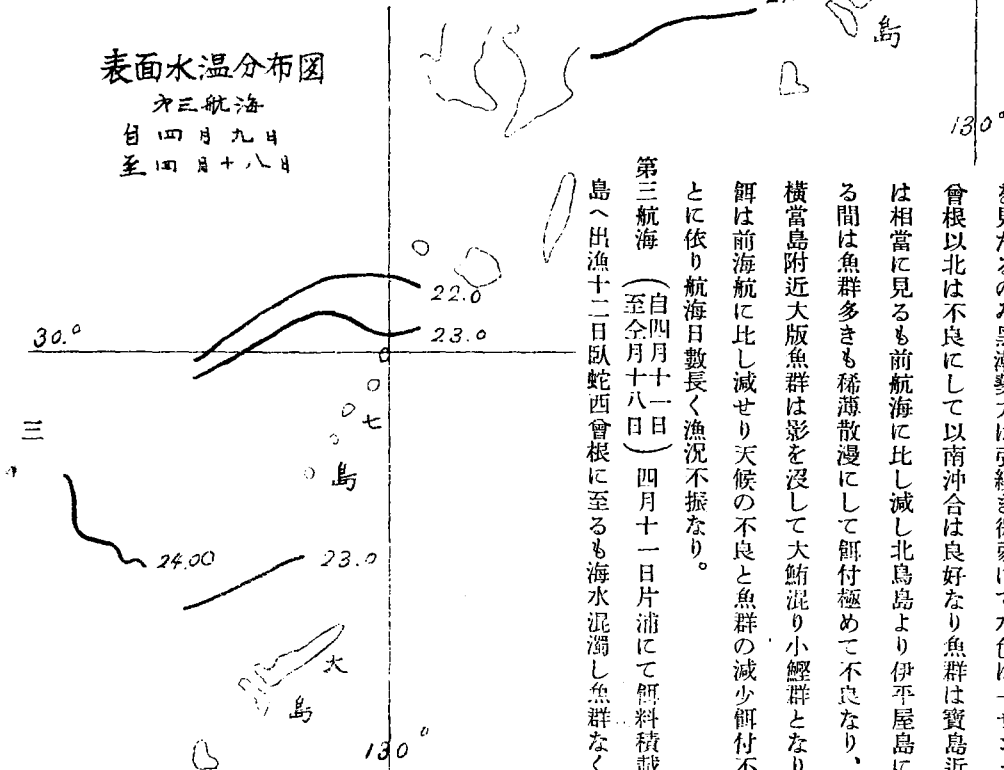


三日オガン會根全様魚群なく全所より西三十五湊附近にて大版魚群に會し二百十尾釣獲し十四日は荒天にて横當島に假泊し十六日舊式會根小版魚群あるも鮪混りにて餌に付かず古仁屋に至り飲料水を補給し「サンドン」岩に至り全所北東附近魚群多きも餌付不良にて漁なく大島新會根魚少く島田會根にて大版魚百六十三尾釣獲し歸途に就き十八日枕崎着大鯉三百七十三尾價格七百八十圓を得。

今回の調査を綜合するに漁場に於ける水温の最高は横當島附近にて二四、一度を示し前航海に比し寶島近海にて〇、五度横當島附近にて〇、六度の上昇を示し黒潮は七島附近

表面水温分布図

第三航海
四月九日
至四月十八日



今回の調査を綜合するに七島より伊平屋島に至る間の水温は前航海に比し大差なく僅かに寶島近海二三、〇度の出現を見たのみ黒潮勢力は引續き微弱にて水色は「サング」會根以北は不良にして以南沖合は良好なり魚群は寶島近海は相當に見るも前航海に比し減し北島より伊平屋島に至る間は魚群多きも稀薄散漫にして餌付極めて不良なり、尙横當島附近大版魚群は影を没して大鮪混り小鯉群となり細餌は前航海に比し減せり天候の不良と魚群の減少餌付不良とに依り航海日數長く漁況不振なり。

第三航海 (自四月十一日) 四月十一日片浦にて餌料積載七島へ出漁十二日臥蛇西會根に至るも海水泥濁し魚群なく十

にては臥蛇西會根より横當島南方に至る流幅にて北東流を示し前航海に比し稍流勢あるも未だ旺盛ならず漁況は前航海全様不漁にして稀に一航海三千八百圓を擧げたるものもあるも最低は三百圓位なり。

第四航海 (自四月二十一日 至四月二十六日) 四月二十一日片浦にて餌料積載七島へ出漁二十二日オガン會根魚群なく西航し百尋線に至る迄魚群なく二十三

日引返し二十四日舊式會根魚群あるも餌に付かず北島島北岸にて細餌持小鰹濃群に會したるも餌付旺盛ならず小鰹三百尾を釣獲七島に假泊し二十五日全所にて従業餌付良好にて六百八十尾を釣獲し歸途に就き二十六日枕崎若漁獲物賣却鰹九百七十二尾價格四百七十八圓を得

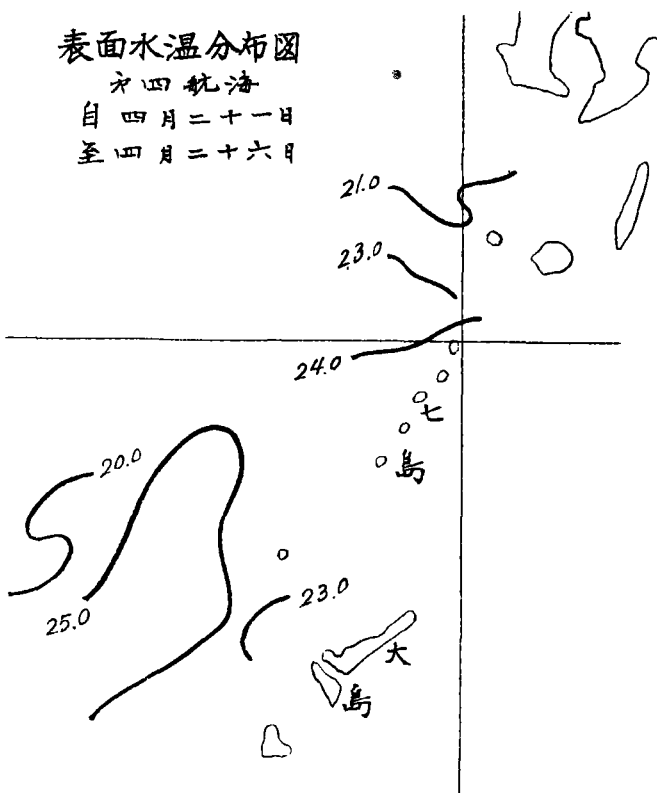
今回の調査を綜合するに前航海に比し水溫漸次上昇を示し最高水溫は寶島西四十湊附近にて二五、八度を示し二三、〇度の北端は口ノ島北方に南方は大島北部にあり黒潮は漸次顯著なる北東流を示せり、大島近海及七島附近にて小版魚の稍好漁ありたるも總体的には魚群少く漁況不振なり。

第五航海 (自四月二十九日 至五月九日) 四月二十九日櫻島より出漁三十日小臥蛇島附近小鰹群あるも餌に付かず權會根相當魚群あるも餌付せず五號會根魚群なく五月一日舊式會根魚群散

漫にして鳥島に至るも魚群なく鳥島西微北三十湊附近大魚群ありたるも沈下し釣獲出來ず二日荒天となり伊平屋島に假泊三日伊平屋島西十二湊にて小魚群に會せるも餌付良好ならず小鰹四十尾を釣獲したるも魚体小なるめ爲中止し久米島北岸に至り假泊四日全所發西大九會根、宮古會根を索魚したるも魚群なく北航して伊平屋島西百尋線に向ひ索魚したるも魚群に會せず六日横當島附近索魚鰹群あるも釣れずオガン會根全様漁事なく寶島に假泊七日小寶沖會根にて魚群あり二回流しにて大鰹二十一尾小鰹百九十尾釣獲惡石島に向ひ附近魚群あるも餌付せず八日小寶沖會根に引返し大鰹二十五尾小鰹四十二尾釣獲し九日枕崎歸着鰹三百十七尾價格二百五十一圓を得

表面水溫分布圖

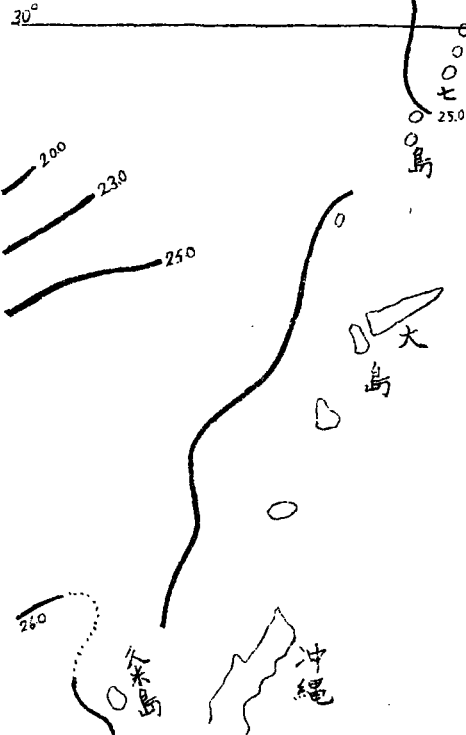
第四航海
自四月二十一日
至四月二十六日



表面水温分布図

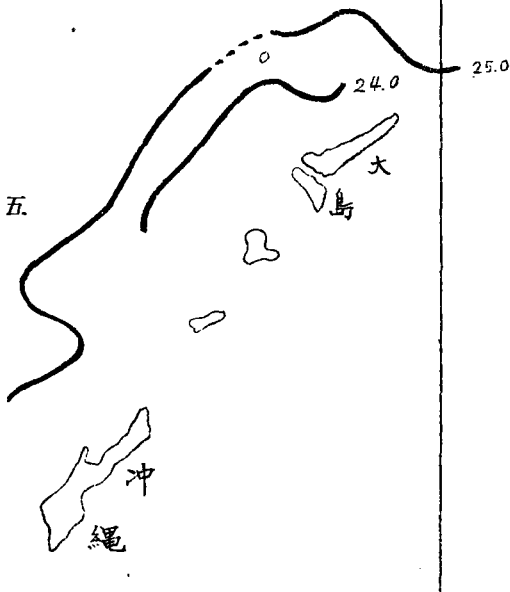
第六航海

自四月二十九日
至五月九日



表面水温分布図

第六航海
自五月十一日
至五月二十日



島群ありたるも鯨群にて餌付不良琉球會根大鯨群あるも全様にて漁なく粟國島に假泊十六日南島島北にて小鯨六十一尾釣獲十七日與論島沖永良部中間にて大鯨群に會せるも餌付良好ならず小鯨二十尾釣獲に止り十八日沖永良部島南西八湊附近にて大版鯨群ありて三回流しにて大鯨百八十尾釣獲二十日山川港に歸着鯨三百十七尾價格四百二十圓を得

今回の調査を綜合するに漁場に於ける最高水温は二六、二度を示し二五、〇度以上大部分を示し黒潮は顯著なる發達を示し七島北部は稍低水温ありて二二、五度内外を示し居るも漁況依然不振を續けたり。

第六航海 (自五月十一日) 五月十一日櫻島にて餌料積込み出漁十二日屋久新會根南方より惡石東に亘り魚群多きも餌付せず十三日北島島北微西十三湊にて小鯨の大群に會したるも餌付不良にて五小鯨十六尾釣獲に止り十四日島島北方にて大群に會せるも餌付不良にて漁事なく十五日伊平屋會根大

大部分の漁船は其の漁獲は以て經費を充たすに足らず既に休業船を出すに至り近年に見ざる大不漁を現出せり。

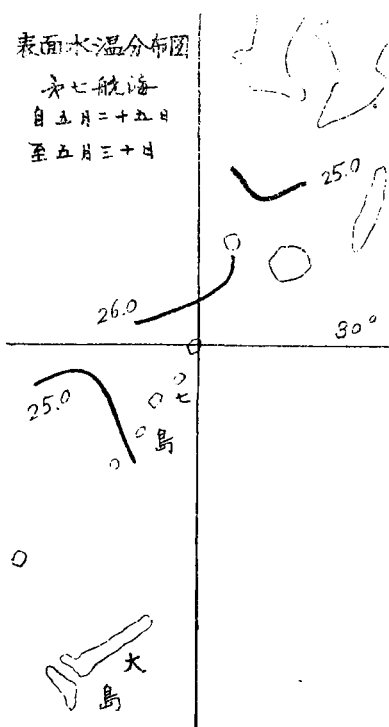
第七航海

(自五月二十五日
至全月三十日)

五月二十五日垂水にて餌料積込み出漁二十六日中ノ瀬、平瀬魚群相當にあるも餌に付かず荒天にて悪石島に假泊

表面水温分布図

第七航海
自五月二十五日
至五月三十日



二十七日寶島に至るも魚群なく再び荒天となり寶島に假泊したるに此の頃より餌料鰻の斃死するもの多し蓋し餌料多少不馴なるに出帆當日より連續荒天に際會せるを主因と見る可し二十八日島田曾根にて小鰹二十八尾漁獲二十九日白濱曾根八號曾根にて小鰹二十尾を漁獲し三日十鹿兒島歸着鰹四十九尾價格十三圓七十錢を得本回調査の結果に依れば前航海に比し七島に於ては水温の上昇は認めざるも屋久島以北の海區に於て上昇著しく黒潮の勢力旺盛にして甚だしく沿岸に接近せり七島漁場引續き魚群少く且つ稀薄な

るを以て大型船は久米島方面に出漁せるも之れ亦何れも不漁を極めたり。

第八航海

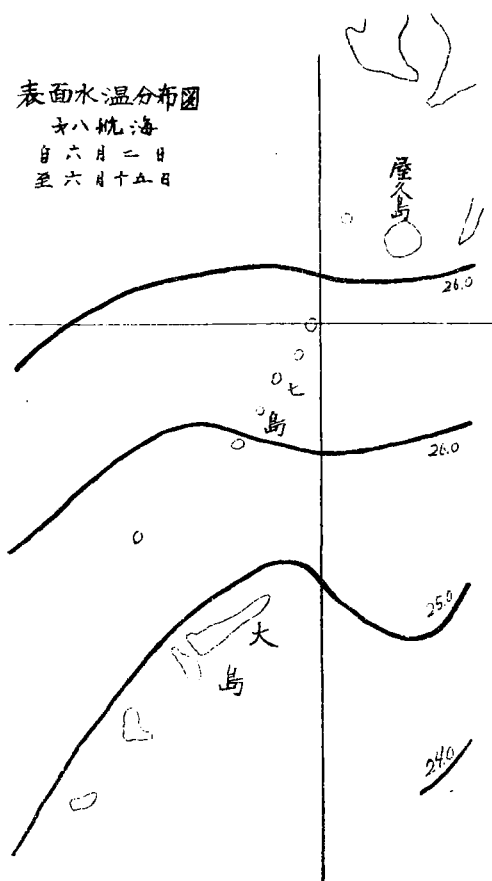
(自六月二日
至六月十五日)

七島東側及先年本船にて發見したる鮪漁場熊野堆の鰹漁場の價值を知らんとして六月二日櫻島にて餌料積載出漁

す三日屋久島より熊野堆に向ひ百渾沖合迄小鰹群多きも鰹群なく四日熊野堆附近を索魚するも魚群に會せず大島に向ひ六日喜界島南十五渾にて魚群に會したるも餌付悪しく小鰹六十尾漁獲に止り更に徳之島東十七渾にて小漁し后八時漂泊す七日寶德曾根沖永良部島南部及び南島島索魚するも魚群なく八日島島北西四十渾にて小漁十日十一日百尋線附近を索魚するも魚群に會せず十二日東航し十三日五號曾根十四日惡石島にて小漁十五日枕崎歸着鰹鰹二百四尾價格百二十六圓を得

表面水温分布図

第八航海
自六月二日
至六月十五日

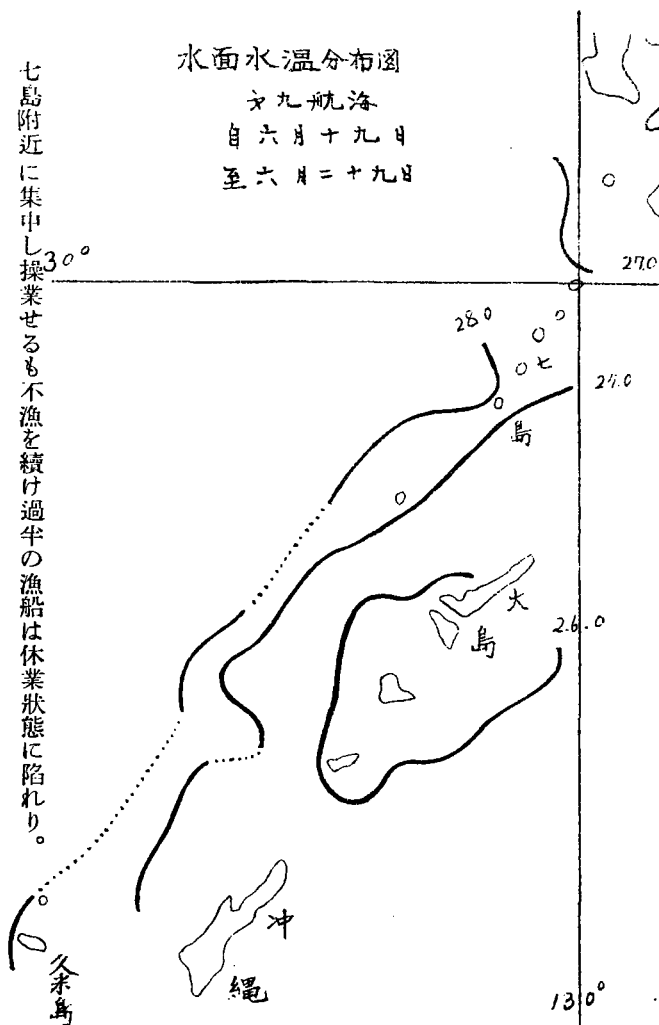


今回の調査を綜合するに水温は全般に亘り前航海に比し

約一、〇度の上昇を示し黒潮の北部は竹島北部に南部は大島北部にありて頗る廣き幅を以て緩漫に東北流を示せり、漁況は引き續き大不漁にて大型船は沖合台灣、宮古島、久米島方面に至り小型船は近海に操業したるも缺損するもの多く過半は休漁するに至れり魚群は甚だ少く稀薄なり。

第九航海 (自六月十七日 至六月二十八日) 六月十七日櫻島にて餌料積載出漁十八日芽瀬及惡石島にて小漁十九日舊式會根より島島に至り聚魚するも魚群なく二十日喜界島南に至るも魚群を見ず古仁屋に寄港漁獲物を賣却の上二十一日沖永良部島伊平屋島附近を見るも魚群なく二十二日久米島に至るも全様にて二十三日北島島に假泊二十五日横當島オガシ會根附近魚群なく二十六日惡石島、諏訪瀬島附近魚群更になく二十七日芽瀬全様にて餌料盡き二十八日枕崎着鯉三十九尾價格二十圓を得

水面水温分布圖
第九航海
自六月十九日
至六月二十九日



七島附近に集中し操業せるも不漁を續け過半の漁船は休業狀態に陥れり。

一般海況漁況

(本年春漁季試験期間中の月別一般海況と枕崎漁船の漁況を記すは左の如し)

三月十七日 試験船出動以後月末迄七島漁場水温は往航口永良部附近に於て一八、七度口ノ島附近にて二二、二度諏訪瀬島東にて二二、〇度サンドン岩附近にて二一、九度にして復航路横當島附近にて二三、〇度口ノ島北部にて二三、〇度にて最高は寶島附近にて第二航海に於て二三、〇度を見たり黒潮は南方サンドン岩より北方口ノ島間を北西より南東に連り恰も二三、〇度内外を示し流速極めて微弱なり、本船調

杣範圍の海區に於てはサンドン岩より舊式會根、會津高崎に至る附近に大鯉魚群濃厚なるを見る、各魚群共細餌持にて何れも餌付良好ならず殊に横當島以北に於て甚たし縣下漁船の主要漁場は七島附近より大島近海を主要漁場とし枕崎船の一航海最高漁獲二千七百七十九尾五千八百六十八圓最低三百八十五尾四百八圓にして一航平均千四百八十二尾、二千六百七十五圓にして先月より劣るも前年今期に優れり魚体は中版魚最も多く大版は本月に入り稍増加し小版之に次ぎ鮎及飛大の順位となれり。

四月 上旬水溫稍上昇を示し二三、〇度は口ノ島北部上ノ瀬附近に達し最高は白濱會根に於ける二三、五度以南は稍低く二一、五度内外島島以南伊平尾島に至る間二〇、五度内外を示せり、魚群は島島以南伊平尾島に至る間に多きも稀薄にして七島南部に於ける魚群は大版魚は減し小版魚となり鮎群混りとなり細餌群は大いに減せり、中旬に於ける海況は七島近海に於て特に上昇を認められさるも臥蛇西會根より横當島南方に至る流幅にて北東流を示し流勢旺盛ならず前旬全様不漁にして一航海三千八百圓を挙げたるものもあるも最低は三百圓下旬は前旬に比し水溫漸昇し最高水溫は寶島西四十湊附近にて二五、八度を示し二三、〇度の北方は口ノ島北部に南方は大島北部にありて顯著なる北東流を示し幅員は八十湊位なり大島近海及七島附近にて小版魚の稍好漁ありたるも總体的には魚群少く不況なりき

五月 上旬水溫は益々上昇し最高水溫は久米島西沖に於て二六、八度を示し二五、〇度線は大島、沖繩西部一圓を蔽ひ其の北部は七島北部に達し流速顯著なり中旬沖繩西部にては比較的水溫低下を示し七島附近前旬と大差なく潮流一時停頓せる傾向を示せり下旬は前旬に比し水溫大差なきも七島西部に於て二六、〇度の出現顯著なるものゝ如く屋久島西部に西方より二六、〇度線の突入せる傾向を示し漸次上昇しつゝあり漁況は本月中を通して最盛となる時期にして海況も比較的良好なるも各漁場を通して引き続き魚群少く爲めに不漁を續け本月中既に休漁船を現出するに至れり

六月 上中旬に於て水溫は約一、〇度の上昇を見流速は緩慢なりしも下旬に入りて急激なる上昇を示し二八、〇度の出現ありて遠近各漁場共魚群少く大型船も殆んど七島漁場に集中し操業せるも何れも不漁にして過半休漁の状態に陥れり

本年に於ても十一月末迄出漁せるも漁獲二百五十六萬斤價格五十六萬七千圓にて昨年の漁獲四百二十九萬斤價格百〇七萬圓に比し漁獲に於て四割金額に於て五割の激減額を示せり

鯉漁場調査試験成績表

回航 次海			月 日			天 候			漁獲場所及符號			漁獲時			回漁 數獲			水 温			潮 流			種 類			尾 數			價 格			物 格		
海 航 一 第			三月十八日			曇北四一			サ ン ド ン 岩 所			前二、五〇 后〇、四〇			二			三、九			東 急			大 鯉			八五			六五、九二			六五、九二		
同 十九日			雨北東二			同			德ノ島北西一五湊			前二、二五 后一、〇〇			一			三、六			同 緩			小大 鯉鯉			二四、八〇			六五、九二			六五、九二		
同 二十一日			曇北二			寶島南西五湊			(ニ)(ハ)(ロ)(イ)			后五、一〇			一			三、八			東北東緩			小 鯉			二五			六五、九二			六五、九二		
同 二十二日			晴北東二			寶島南西五湊			(ニ)(ハ)(ロ)(イ)			后五、一〇			一			三、八			東北東緩			小 鯉			二五			六五、九二			六五、九二		
海 航 二 第			四月一日			雨北々東二			鮎 曾 根			前二、三〇 后二、〇〇			二			二〇、六			北東緩			大 鯉			七二			一九七、五五			一九七、五五		
同 三日			曇北々西一			鮎 曾 根南西五湊			(チ)(ト)(ヘ)(ホ)			后二、〇〇 前二、〇〇			一			二〇、五			北々東緩			大 鯉			二五			一九七、五五			一九七、五五		
同 六日			曇北西一			小五 寶號 島 曾 根北根			(チ)(ト)(ヘ)(ホ)			后六、〇〇 前二、〇〇			二			三、一			北 東			小 鯉			六二			一九七、五五			一九七、五五		
海 航 三 第			同 十三日			曇北東一			オガソミツ曾根西三十五湊			后二、二五 后六、〇〇			二			二四、二			北東急			大 鯉			二〇			七六四、一八			七六四、一八		
同 十七日			晴北西一			寶 島 南 東			(メ)(リ)			后六、〇〇 后二、二五			二			二、四			東 急			大 鯉			二五			七六四、一八			七六四、一八		
海 航 四 第			同 廿四日			晴南西二			北島島北岸一湊			前二、〇〇 后五、二五			三			二四、五			南西急			小 鯉			三〇〇			四七、八、八五			四七、八、八五		
同 廿五日			晴南西三			同			(ル)(ル)			前七、二〇 后五、二五			一			二四、六			南西急			同			六八〇			四七、八、八五			四七、八、八五		
海 航 五 第			五月三日			曇北一			伊平屋島西十二湊			前七、二五 前八、四〇			一			二四、一			北東緩			小 鯉			四〇			二五、一七五			二五、一七五		
同 七日			晴北一			小寶島北沖曾根			(ア)(ア)			前七、二五 前八、四〇			二			二五、二			北東急			小大 鯉鯉			三三			二五、一七五			二五、一七五		
同 八日			晴南東一			同 所			(ワ)(ワ)			前七、二五 前八、四〇			一			二五、四			同			小大 鯉鯉			二五			二五、一七五			二五、一七五		

計	海 航 九 第				海 航 八 第				海 航 七 第		海 航 六 第			
	同 廿七日	同 廿五日	同 十八日	同 十四日	同 十三日	同 十二日	同 八日	六月 六日	同 廿九日	同 廿八日	同 十八日	同 十七日	同 十六日	同 十三日
	晴南々西	晴南々西	晴南東一	雨東南東二	曇北東二	曇東北東二	雨東南東二	曇北一	曇東二	曇北東二	晴東一	晴北東一	曇東北東二	曇北東一
	芽 惡 惡 芽 惡	石 石 石 石 石	島 島 島 島 島	南 南 南 南 南	同	五 號 會 根	島 島 北 西 四 十 哩	德 喜 界 之 島 南 々 東 七 哩	八 號 會 根	大 島 新 會 根	沖 永 良 部 島 南 々 西 八 哩	沖 永 良 部 島 南	南 島 北 一 哩	北 島 北 微 西 十 三 哩
	(△)(ウ)(△)(ラ)				(ト)	(ト)	(ナ)	(ネ)	(ツ)	(ソ)	(レ)(タ)(ヨ)(カ)			
	前 七、五	前 六、五	后 三、五	前 五、五	前 八、五	后 七、五	后 四、五	后 五、五	前 九、五	前 二、五	后 二、五	后 六、五	前 九、五	后 五、五
	一	一	二	一	四	一	一	二	一	三	三	一	一	一
	二、八	二、九	二、四	二、八	二、六	二、六	二、八	二、六	二、八	二、五	二、九	二、五	二、四	二、二
	北々東緩	北東緩	北東緩	東南東緩	東緩	北東急	北東緩	北々東緩	東急	北東	西緩	西緩	南西緩	北東緩
鯨ソ 鯨 仔	同	同	小 鯨	大 鯨	ソ 鯨	小 鯨	小 鯨	小 鯨	小 鯨	小 鯨	大 鯨	同	同	小 鯨
07 00	17 50	17 45	17 40	17 35	17 30	17 25	17 20	17 15	17 10	17 05	17 00	16 55	16 50	16 45
二、九、五	二、九、五	二、九、五	二、九、五	二、九、五	二、九、五	二、九、五	二、九、五	二、九、五	二、九、五	二、九、五	二、九、五	二、九、五	二、九、五	二、九、五

128°

130°

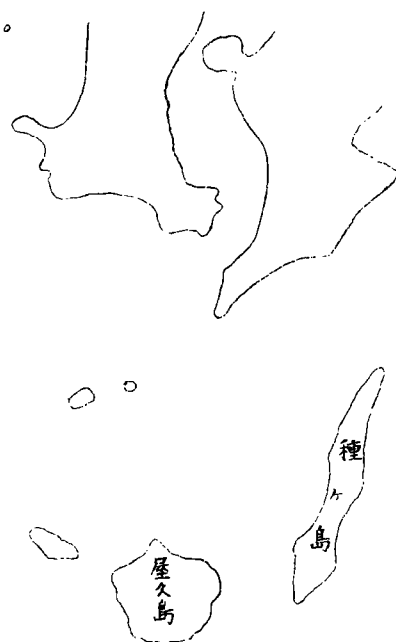
鯉釣漁場圖

昭和五年度

自三月十七日

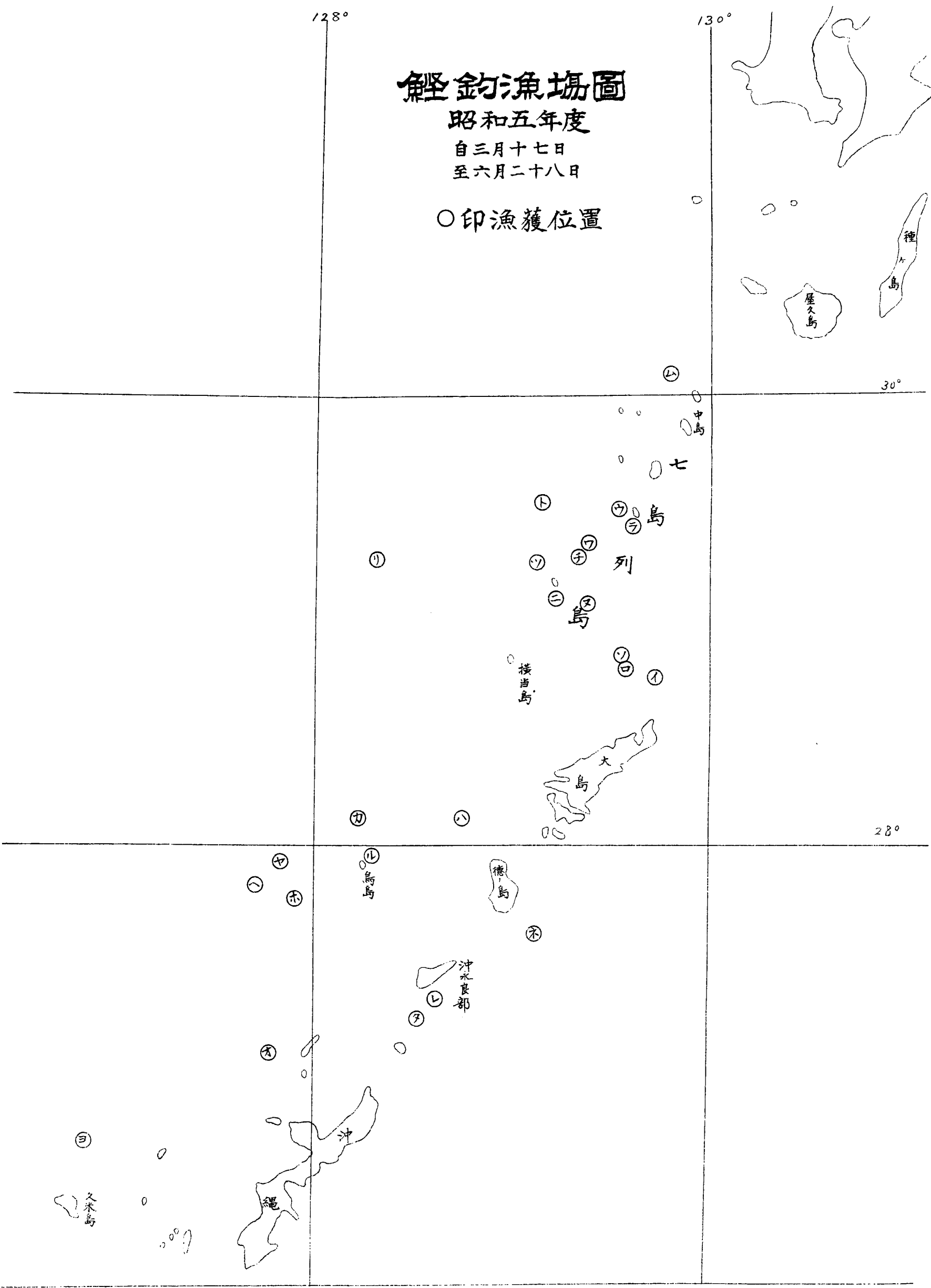
至六月二十八日

○印漁獲位置



30°

28°



漁業表

昭和五年度 照洋丸

鯉釣漁業

月日	符號	緯度	經度	天候	風向	風力	氣壓	氣溫	水面	潮速	餌料	漁獲時	種類	數量	價格	記
三月十七日	イ	北二六、四五	一三六、四六	曇	西	二			三、九	東急	垂口鱧	前二、五〇 后〇、四〇	大鯉	八五		前十時三十分鹿兒島港發機島ニテ餌積出漁 前十一時五十分サンドン岩附近ニテ大鯉群 ニ會シ漁獲后四時四十分名瀬入港后六時名 瀬港外ニ假泊
同十八日	ロ	北二六、五〇	一三六、五〇	全	北西	一			三、六	東急	同	前二、三五 后一、二〇	大鯉	八五		前一時半名瀬沖ニテ假泊シ六時始動サン ン岩附近魚群アリ前十一時二十五分漁獲后 六時名瀬港外假泊
同十九日	ハ	北二六、五〇	一三六、五〇	雨	北東	二			三、六	東急	同	前二、三五 后一、二〇	大鯉	八五		前六時四十五分發光天トナリ后三時三十五 分西古見灣外ニ假泊ス
同二十日	ニ	北二六、五〇	一三六、五〇	雨	北	三			三、六	東急	同	前二、三五 后一、二〇	大鯉	八五		前六時五十分發光魚群アルモ細餌持ニテ餌 ニ付カス同十一時徳ノ島北微西十五海里ニ テ大鯉百四十五尾漁獲后三時舊式曾根南方 魚群多キモ餌ニ付カズ八時四十五分横當島 西ニ漂泊
同二十一日	ハ	北二六、五〇	一三六、五〇	曇	北	三			三、六	東急	同	前二、三五 后一、二〇	大鯉	八五		前六時十七分始動九時十分横當島南西十海 里ニテ魚群ニ會シタルモ餌ニ付カズ后五時 二分寶島南西五海里ニテ小鯉二十五尾釣獲七 時四十五分寶島南ニ漂泊
同二十二日	ニ	北二六、五〇	一三六、五〇	晴	北東	二			三、八	東南東緩		后五、〇〇 小鯉	二五			前四時半始動九時中ノ曾根十一時五號曾根 魚群アルモ餌ニ付カズ后零時四十分平西島 西ニテ魚群ニ會シタルモ餌ニ付カズ歸航 前二時半枕崎寄港漁獲物賣却十時五十分發 全六時二十五分鹿兒島着
同二十三日	ニ	北二六、五〇	一三六、五〇	曇	東	二			三、八	東南東緩		后五、〇〇 小鯉	二五			鹿兒島港泊
同二十四日	ニ	北二六、五〇	一三六、五〇	曇	東	二			三、八	東南東緩		后五、〇〇 小鯉	二五			同
同二十五日	ニ	北二六、五〇	一三六、五〇	曇	東	二			三、八	東南東緩		后五、〇〇 小鯉	二五			同
同二十六日	ニ	北二六、五〇	一三六、五〇	曇	東	二			三、八	東南東緩		后五、〇〇 小鯉	二五			同
同二十七日	ニ	北二六、五〇	一三六、五〇	曇	東	二			三、八	東南東緩		后五、〇〇 小鯉	二五			同
同二十八日	ニ	北二六、五〇	一三六、五〇	曇	東	二			三、八	東南東緩		后五、〇〇 小鯉	二五			同
同二十九日	ニ	北二六、五〇	一三六、五〇	曇	東	二			三、八	東南東緩		后五、〇〇 小鯉	二五			同
同三十日	ニ	北二六、五〇	一三六、五〇	曇	東	二			三、八	東南東緩		后五、〇〇 小鯉	二五			同

鯉漁業試驗

[illegible]

同 十二日	同 十三日	同 十四日	同 十五日	同 十六日	同 十七日	同 十八日	同 十九日	同 二十日	同 二十一日	同 二十二日	同 二十三日
	リ			×							
曇	曇	雨	曇	晴	晴	曇	晴	晴	曇	曇	曇
北々東	北々東	南々西	北々西	北東二	南西	東東一南	北々西	北々西	北東一	南々東	南々東
二四、一	二四、一				三、四						
北東急	北東急				東急						
后二、三	后二、三				后四、一						
大鯉	大鯉				大鯉						
三〇	三〇				一六三						
七九、一八											
前十四時臥蛇西曾根索魚后五時半オガシミツ曾根索魚セルモ魚群ナシ六時三十五分漂泊	前十四時四十五分始動前六時オガシミツネ魚群アルモ餌付カス八時三十分西航シ后二時三十五分オガシミツ曾根西三十五海里ニテ大鯉二一〇尾漁獲同七時漂泊	前六時四十五分始動南西ニ航シ索魚魚群ナク后八時半横當島着假泊	荒天横當島假泊	前七時二十六分發同十時十分舊式曾根索魚セルニ鯖混リ魚群アレド餌ニ付カズ后二時四十分古仁屋寄港淡水補給出漁ス	前七時サンドン岩附近魚群多キモ餌ニ付カズ后四時十分寶島南東ニテ魚群ニ會シ大鯉五十尾五時三十分六時四十分二回ニテ百拾參尾ヲ漁獲歸航ニ就ク	后一時枕崎寄港漁獲物賣却鹿兒島へ廻航后十時十二分着	枕崎港滞泊	前十時鹿兒島發后七時片浦着	前八時五分同所ニテ餌積出漁ス	前七時オガシミツ曾根索魚セルモ魚群ナク百尋綫ニ向ケ西航シ后〇時二十分鳥群ニ會シタルモ魚群ニシテ釣レズ續航后七時四十分水温著ルシク低下シタルヲメ南西ニ航ス	前一時漂泊前五時半始動東南東ニ航シ后十時十分漂泊ス

同二十四日	同二十五日	同二十六日	同二十七日	同二十八日	同二十九日	同三十日
ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル
二七、五 二六、一	二七、五 二六、一	二七、五 二六、一	二七、五 二六、一	二七、五 二六、一	二七、五 二六、一	二七、五 二六、一
晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴
南西二	南西三	南西三	南西三	南西三	南西三	南西三
二四、五 南西急	二四、五 南西急	二四、五 南西急	二四、五 南西急	二四、五 南西急	二四、五 南西急	二四、五 南西急
小鯉	小鯉	小鯉	小鯉	小鯉	小鯉	小鯉
三	六	六	六	六	六	六
七、八、五	七、八、五	七、八、五	七、八、五	七、八、五	七、八、五	七、八、五
前五時機關發動七時半舊式曾根魚群アリタルモ釣レテ二時北島北岸小鯉ノ大群ニ會シタルモ餌付惡シク三時〇尾漁獲後六時十五分島島假泊 前五時半同島發同七時二十分〇尾漁獲ニテ小鯉群ニ會シ六時八十分尾漁獲同八時五分觀測ナシ歸航 后九時十五分枕崎寄港 漁獲物賣却前八時五十分同所發后三時十五分鹿兒島着 鹿兒島泊泊 后零時五分鹿兒島發 櫻島ニテ餌積出漁 前十時二十分小臥蛇島附近魚群アルモ餌付不真櫛曾根魚群アルモ群薄クシテ見込ナク后六時五號曾根魚群ナク島島方面ニ向フ						

五月一日	同二日	同三日	同四日
ル	ル	ル	ル
二七、五 二六、一	二七、五 二六、一	二七、五 二六、一	二七、五 二六、一
曇	曇	曇	曇
北々西	北々東	北	南
二四、五 南西急	二四、五 南西急	二四、五 南西急	二四、五 南西急
小鯉	小鯉	小鯉	小鯉
三	六	六	六
七、八、五	七、八、五	七、八、五	七、八、五
前二時漂流同五時四十分始動同六時魚群アルモ餌付セズ后六時十分島島西發北三十湊附近小鯉ノ大群ニ會シタルモ餌付出來ズ沈下ス后七時漂泊 前五時五十分始動前七時鮪混リ魚群アルモ餌ニ付カズ同十一時伊平屋曾根魚群ナシ伊平屋島ニ向ヒ后五時同島假泊 前五時半同島發七時四十五分魚群ニ會シタルモ群薄ク餌付不真ニテ小鯉四十尾ヲ得タルモ止リ續航大正曾根南島島附近魚群ナク后七時久米島假泊 前〇時十五分同島發大九曾根宮古曾根索シタルモ魚群ナク后三時北航ス			

同 五日	同 六日	同 七日	同 八日	同 九日	同 十日	同 十一日	同 十二日	同 十三日	同 十四日	同 十五日	同 十六日
		ヲ	ワ					カ			ヨ
		二九、七 二九、三	二九、七 二九、三					二九、五 二六、二			二六、七 二六、九
雨	曇	晴	晴	雨	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
北々西 二	北々西 二	北 一	北東一 二	南々東 二	南東二	北東三	北東三	北東二	北東二	北東二	東北東 二
三、四		二五、二	三、四					三、二	二五、七		二五、四
		北東急	北東急					北東緩			南西緩
前 八、四 五	前 七、四 〇	前 八、四 〇	前 七、四 〇					后 五、三 〇			前 九、七 小
大鯨	大鯨	小鯨	小鯨					小鯨			小鯨
		二〇三	二〇三					五六			六
二五、七 二〇、三											
前七時四十五分針路北々西變更後一時二十 五分鐘測七十等針路北々東變更四時東二變 更ス 前六時橫當島西微北四十湊コリガカンミツ 曾根ヲ索魚シタルモ魚群ナク后七時牛寶島 假泊 前五時發小寶島北方魚群アリタルモ從漁船 多ク二回流シニテ大鯨二十一尾小鯨一九〇 尾流獲墨石ニ向ヒ十一時惡石島鯨群アルモ 餌付カズ同島假泊 前二時十分發同七時四十分小寶沖曾根着魚 群淡ク餌付不具ニテ小漁シハ時發歸航 前〇時十五分枕崎入港漁獲物賣却 前八時發后三時四十五分鹿兒島着 鹿兒島假泊 后三時鹿兒島發櫻島ニテ餌積出漁 前三時五十分永田燈臺ヨリ南下シ后二時四 時五時島群アルモ魚群餌付カス同六時四十 分惡石島ニ假泊セルモ餌魚斃死スルタメ直 ニ沖出漂流ス 前四時始動島島方面ニ索魚シ后五時半北島 島北微西十三海里ニテ小鯨大群ニ會シタル モ餌付不具ニテ五十六尾漁獲后七時四十五 分漂流 前五時二十分始動島島近海索魚同九時鯨大 群ニ會シタルモ餌付カス后二時南東ニ航シ テ后十時漂流 前五時四十五分伊平屋島ヲ南東ニ見テ始動 シ南西ニ航シ后一時入正曾根同四時流球曾 根魚群アルモ餌付セズ同七時四十五分樂國 島假泊 前五時三十分同島發前九時七分南島北岸 シ一海里ニテ小鯨群餌付セルモ群薄ク小漁ナ シ同十時東航シ后七時十分漂流ス											

同十七日	同十八日	同十九日	同二十日	同二十一日	同二十二日	同二十三日	同二十四日	同二十五日	同二十六日	同二十七日	同二十八日	同二十九日	同三十日
タ	レ										ソ	ソ	
二七、三 二六、九	二七、三 二六、八										二八、五 二九、三	二九、五 二九、〇	
晴	晴	晴						曇	雨	雨	曇	曇	曇
北東一	東一							東一	南東三	北々東二	北東二	東二	南東一
二四、五	三、九										二五、〇	二四、八	
西緩	西緩										北東	東急	
后六、三	前二、〇 后二、三										前二、〇	前九、〇	
小鯉	大鯉										小鯉	小鯉	
二	一六〇										二六	二七	
前五栗時國島北々西十五海里ヨリ始動東北東ニ索魚同十一時三十分魚群アルモ天然餌持ニテ釣レズ后六時半沖水尻部與論中間小鯉大群ニ會セシモ餌付惡シク小漁后八時半漂流ス	前五時十五分始動沖水尻部附近索魚同十一時三十分沖水尻部南々西八海里ニテ大鯉群多ク后二時二十分迄三回流シニテ漁獲シ歸航	歸航中	正午山川寄港漁獲物賣却后六時三十分鹿兒島着	鹿兒島滯泊	鹿兒島滯泊	鹿兒島滯泊	鹿兒島滯泊	后〇時三十分鹿兒島發垂水ニテ餌横出流	前五時半平瀬魚群アルモ餌ニ付カス同八時半中島東ニ魚群アル餌ニ付カス南東強風トナリ后一時五十分惡石島假泊	前八時四十分發猛雨ニテ索魚不能午二時四十分寶島假泊	前六時四十分發同十一時大島新曾根小魚群アルモ薄ク小鯉鮪仔二十八尾ヲ漁獲后七時寶島假泊	前五時發同六時四十分白濱曾根小鯉アルモ餌ニ付カズ同八時五十分八號曾根同様十時四十分小鯉十七尾鮪仔三尾ヲ漁獲餌盡キテ歸港	前五時三十分山川寄港同七時四十三分同所發后二時五十五分鹿兒島着

月日	符號	經度	緯度	天候	風向	風力	氣壓	氣溫	水面	潮向	速	餌料	漁獲時	種類	數量	價格	記
六月一日	ナ	二七、二四	二九、二五	曇	西	三	三、一										鹿兒島泊 后二時四十五分鹿兒島發櫻島ニテ餌積出漁 前二時屋久島ヨリ針路南東微東ニ航ス 前五時半喜界島東約百々十里着附近終日 索魚セルモ魚群ナク夕刻ヨリ大島ニ向フ 前六時針路西北西正午針路西微北后十一時 二十五分喜界島南六海里ニテ漂泊 前五時半始動喜界島南東六海里附近ヨリ南 十五海里魚群アルモ何レモ餌付不長小漁后 五時五十五分總ノ島南々東十七海里ニテ小 漁后八時二十分同島南微西八海里流漂 前五時五十分始動同七時二十五分寶龜曾根 沖永良部南魚群ナク后五時南島曾根魚群 ナク同七時漂泊 前五時半始動島島流曾根ヤキ曾根魚群ナ ク正午島島西二十海里ニテ大群アリタル モ餌付カス后四時五十分同島北西四十海里 ニテ小群ニ會セルモ餌付不長ニテ五尾漁 獲后十時五十分漂流 前五時半始動同六時小版鯉アルモ餌ニ付カ ス同九時島島北内十二海里大型魚群アリタ ルモ餌ニ付カス百尋線ニ向ケ西航ス后十一 時三十分漂泊 前七時三十分始動東北東ニ航シテ索魚セル モ稀雨ニテ后三時三十分ヨリ五時十分迄漂 流シ後索魚シタルモ魚群ナク后八時漂泊ス 前五時半始動針路東偏群アルモ餌ニ付カス 后七時二十分漂泊ス
同 二日	ナ	二七、二四	二九、二五	晴	西北	一	三、一										
同 三日	ナ	二七、二四	二九、二五	曇	東南	一	三、一										
同 四日	ナ	二七、二四	二九、二五	曇	南西	二	三、一										
同 五日	ナ	二七、二四	二九、二五	曇	西	三	三、一										
同 六日	ナ	二七、二四	二九、二五	曇	北	一	三、一										
同 七日	ナ	二七、二四	二九、二五	曇	南々	西	三、一										
同 八日	ナ	二七、二四	二九、二五	雨	東南	二	三、一										
同 九日	ナ	二七、二四	二九、二五	曇	南東	一	三、一										
同 十日	ナ	二七、二四	二九、二五	雨	南東	一	三、一										
同 十一日	ナ	二七、二四	二九、二五	曇	北東	二	三、一										

同 十二日	同 十三日	同 十四日	同 十五日	同 十六日	同 十七日	同 十八日	同 十九日	同 二十日	同 二十一日	同 二十二日
ト	ト				ウム					
二九、一六 二八、五三	二九、一六 二八、五三	二九、一六 二八、五三	二九、一六 二八、五三	二九、一六 二八、五三	二九、一六 二八、五三	二九、一六 二八、五三	二九、一六 二八、五三	二九、一六 二八、五三	二九、一六 二八、五三	二九、一六 二八、五三
曇	曇	雨	雨	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴
東北東	北東	東東南	西	南西	南東	南	南	南	南	南
二六、六	二六、六	二五、三	二五、三	二五、三	二五、三	二五、三	二五、三	二五、三	二五、三	二五、三
北東急	東	東南東緩			北東緩					
后七、〇〇	前八、五〇	前九、五〇			前九、五〇					
小鰹	小鰹	大鰹			小鰹					
二	四〇	一九			四二					
前五時三十五分始助小寶島ニ向フ后七時五 號曾根鰹混リ小鰹群アルモ餌付カス鰹二尾 釣獲后九時三十分寶島北四洲ニ漂泊	前五時五分始助六時四十五分八號曾根着小 鰹アルド餌ニ付カス同八時五十分五號曾根 同鰹餌付不長ニテ四回流シニテ四〇尾漁獲 后三時二十分小寶島ニ向ヒ同七時四十五分 漂泊ス	前五時二十五分始助小寶島沖曾根小鰹群ア ルモ餌ニ付カス同九時五十分惡石島南ニテ 大鰹十九尾漁獲餌盡キテ歸航	前四時四十五分枕崎寄港漁獲物賣却后五時 三十分鹿兒島者	鹿兒島港漂泊	正午鹿兒島港發櫻島ニテ餌積出漁ス	前五時芽瀬着小鰹群アルモ餌付不長ニテ三 十尾漁獲后三時三十分惡石島沖ニテ同鰹餌 付不長ニテ十二尾ヲ漁獲シ后六時半島島ニ 向フ	前六時四十分慈式曾根鰹群アルモ餌付セス 后二時北島島ニ至ルモ魚群ナク后四時喜界 島ニ向フ	前六時喜界島南着魚群ナク后三時古仁屋寄 港漁獲物賣却同四時十五分同所發徳ノ島東 ニ向フ	前二時三十分沖永良部正横ニテ漂泊シ同五 時二十分始助與論島ヨリ伊平島近海索魚ア ルモ魚群ナク后六時二十分伊平島ニ假泊ス	前五時半同島發西北西ニ航索シ魚同七時四 十分南島島魚群ナク久米島ニ向ヒ后七時島 北西海里ヨリ南西微西ニ航シタルモ後ニ引 返シ北東ニ航ス

同二十三日	同二十四日	同二十五日	同二十六日	同二十七日	同二十八日	同二十九日	累計
晴	晴	晴	晴	晴	晴		
南々西	南々西	南々西	南々西	南々西	南々西		
二七三	二七九	二七九	二七五	二六八	二六八		
北東緩	北東緩	北東緩	北東緩	北東緩	北東緩		
后六、〇小	后六、〇小	后六、〇小	后六、〇小	后六、〇小	后六、〇小		
二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇		
北島ニ向ケ索魚スルモ更ニ魚群ナク后八時同島着假泊ス	前五時同島發同島近海索魚スルモ魚群ナク同十時三十分同島北西三十海里ヨリ横當島ニ向ヒ索魚シタルモ魚群ニ會セス	前二時横當島北ニテ漂泊シ同五時始助十二時迄オカンミツ曾根索魚シタルモ魚群ナク后二時三十分八號曾根魚群ナク七時三十分惡石小魚群餌付不長十尾釣獲同島假泊ス	前五時五十分發附近索魚同九時諏訪瀬東曾根ニ至ルモ魚群ナク后二時中ノ島西ニテ小群アルモ餌ニ付カス同五時着瀬着セルモ魚群ナシ前六時四十分口ノ島假泊	前五時十五分發同七時五十五分魚群アリシモ餌付盛シク五尾漸ク漁獲歸途ニ着キ后六時四十分枕崎入港	漁獲物賣却船体手入チナス	臨時漁夫解雇シ前七時四十分同港發后二時三十分鹿兒島着本年度試驗終了ス	二九三、三

昭和五年中鰹漁況

二月 漁期となりたるも餌料不足のため出漁不能となり中旬頃より弗々出漁す二十日土佐船大版魚二千五百尾を釣獲せるを始めとして何れも二千尾内外の好漁を爲す七島、大島近海を主漁場とす

三月 稍々不漁の傾きありて振はす大島郡漁船は一日航海にて比較的好漁をなすものありて一航一隻最多二千七百七十九尾

四月 前月よりも更に漁獲高減少し不漁となる山川港には昨年の好漁に依り縣外船多く集るも漁況芳しからす五月例年盛漁期なるも本年は魚

群稀薄にして漁事振はず枕崎水揚高十萬九百六十一尾四十六萬五千五百四十二斤從漁船二十三隻坊泊船十六隻十五萬五千十四斤を水揚げず山川港を根據とするものは上旬に於て既に休漁或は切揚げをなすもの半數以上に及べり

六月 引續き不漁にして最多一航海四千圓を揚げたるものあるも僅か二百二十五圓の水揚を爲すに過ぎざるものあり漁場は七島近海を主とし魚群稀薄にして航海日數長く收入思はしからざるものありて月末に至り休漁するもの續出す

七月 時に好漁を爲すものありたるも中旬颱風の爲めに中絶の状態となる

八月 不振の域を脱せず枕崎二十隻にて漁獲四萬五千二百五十三尾航海數三十二回にして漁場は七島近海を主とし坊泊船は二―三隻出漁せしのみ

九月 前月に比せは稍々好漁と云ふべく枕崎十六隻にて漁獲二萬六千六百六十八尾航海數二十回にして最多船は千六百六十五尾最少四百尾

十月 秋漁期となり大型魚稍々好漁なりしも一般的に不漁の域を脱せず從漁船十九隻にて漁獲二萬三千三百三十九尾航海數三百七十一航にして最多千六百二十七尾最少六十八尾

十一月 大部分の漁船休業するに至り從漁船九隻にて漁獲七千六百五十七尾航海數十一回にして最多五百五十一尾最少三百二十三尾にて不漁のまゝ本漁業も終りを告げたり

天 測 講 習

昭和六年一月七日より十七日に至る十日間枕崎町に於て天測講習會を開催し本場員を講師とし講習生二十九名に對し六十五時間にて左記課目を授く尙ほ次回よりは本講習會は之れを縣水産會に移す事とせり

記

- 一、セキスタント取扱一切
- 二、子午線緯度法
- 三、北極星緯度法
- 四、新高度方位角法
- 五、日出没方位角法

六、海上距離測定法

鮪延繩漁業試験

趣旨

本縣に於ける鮪延繩漁業の發達を圖らんとするを以て本試験の目的とし從來より繼續施行せり初期の試験區種子島南東海面は民間船の出漁するもの増加し數年來大島以南に漁場を求めんとし試験せるに喜界島南部の海面は昭和二年の試験により頗に民間船の出漁を見るに至れるを以て本年は主として南方漁場の開發に努めたり

試験方法

本場試験船照洋丸（五十五屯七十五馬力）に船長以下十六名主任者一名無線電信手一名乗組み昭和五年十月二十日より全六年二月十六日迄延繩五十鉢を準備し大東島近海を主とし大島郡喜界島近海熊野堆屋久新會根南方種子島沖合及久米島西部方面に亘り試験せり漁具は幹技繩共全大の十番手二百四十三本右撚三々打の綿糸を用ひ一鉢二百二十尋の幹繩に六本の技繩を附す餌料は主として大島にてはムロを用ひたるも久米島方面にてはミジン及飛魚種子島沖合にては目近鮪及肝屬郡内ノ浦にて漁獲さるゝ穴柔魚を用ひたり

經過

昭和五年十月二十日より全六年二月十六日迄百二十日間七航海を爲し四十七回操業延鉢數千九百七十五鉢にて黑鮪一尾黃肌鮪四十八尾目鉢鮪七十尾トンボ二十五尾カジキ十三尾メカジキ十一尾フカ及雜魚七十三尾にて價格二千五百二十九圓を得昨年同期試験に比し操業回數は十五回増加せるも漁獲に於てはシビ二尾カジキ十六尾を減じ金額に於て百七十二圓を減じたり每航海の狀況左の如し

第一航海

十月二十日鹿兒島港發屋久島一湊に至り餌料鮪を積みて二十三日種子島熊野南東二分ノ一東二十九湊に五十鉢を投繩したるに黃肌一尾バショウカジキ一を漁獲し二十四日種子島北端より東二十湊にて四十鉢投繩鰯四尾を漁獲せる處漁夫中發病せるものあり不得止鹿兒島に歸着せり、漁場水溫高く黒潮は一時間二湊半位にて北東に流れ未だ鮪の廻游なきか漁獲少く漁獲高金三十三圓を得斤替相場黃肌は三十二錢なりき

第二航海

十月二十七日鹿兒島發二十八日一湊にて餌料鮪を積み二十九日熊野南微東二十湊に投繩し黃肌二尾目鉢八尾カジキ二尾を得、三十一日全漁場にて操業し目鉢二尾フカ四尾を得、十一月三日熊野南々東十七湊にて投繩黃肌一尾フカ一尾を得、四日熊野南微東二十湊にて投繩目鉢五尾フカ一尾を得五日鹿兒島に歸着せり、黃肌三尾目鉢十五尾カジキ二尾フカ六尾にて二百六十七圓を得、斤替相場黃肌は三十二錢目鉢は二十七錢なりき、種子島沖合に於ける海況は二十九日頃迄水溫殆ど二十六度に一定せる觀ありしも三十日の荒天以來漸次低下の傾向を

示し弗々鮪の漁獲を見たるも魚群廣範圍に亘らず潮流は二十九日を除きて他は總じて錯綜し繩亂し多かりき

第三航海 十一月六日鹿兒島港發七日一湊に寄港の上横斷觀測をなし八日名瀬に至り鯉を積込み十一日喜界島南二十一湊十三日十四日徳ノ島東二十湊附近にて操業し小漁の後古仁屋寄港フカのみ賣却餌料を補充の後十六日十七日古仁屋東方百五十湊熊野堆に操業十八日今所北方四十湊にて操業十九日種子島熊野沖にて操業各小漁の後二十日鹿兒島歸着漁獲物を賣却シビ十七尾カジキ四尾フカ十六尾にて價格二百八十六圓を得たり魚價は斤替黄肌にて二十七錢目鉢にて二十四錢トンボにて二十錢なり漁場表面水溫は大島方面二十四度二分乃至二十四度九分熊野堆二十四度四分乃至二十三度種子島漁場は二十四度一分にして第二航海より約一度の低下を示したり

第四航海 十一月二十日鹿兒島發二十五日古仁屋にて餌料を積みて二十六日熊野堆二十七日全所より南微西七十湊附近にて操業せるも各カジキ一尾フカ一尾の凶漁にて北大東島に至り全島北東角距岸二湊乃至六湊附近にて四回に亘り百四十鉢を使用好漁をなし五日油津入港漁獲物を賣却し目鉢大十一尾黄肌大三尾中シビ十一尾カジキ三尾フカ七尾にて價格七百四圓を得、魚價は十貫替黄肌二十一圓八十錢乃至十五圓六十錢目鉢十六圓八十錢乃至十圓五十錢カジキ十五圓八十錢乃至八圓八十錢なりき

第五航海 十二月八日鹿兒島港發九日名瀬寄港餌料用ムロを購入して出帆十一日北大東島着十二日全島北東角一湊乃至四湊附近にて操業するにアオフカ一尾を得たるに止りしを以てラサ島に向ひ十三日全島北東角二湊乃至四湊附近にて操業大目鉢二尾中小黄肌十尾フカ十二尾を得たるも以後二日間の操業にて魚体小に變じ漁獲亦減じたるを以て再び北大東島に向ひ十六十七十八日の三回操業にて大目鉢三尾中シビ八尾を得二十日古仁屋寄港餌料補充の上喜界島の南微西十八湊附近にて二回操業するも黄肌一尾を得たるに止りしを以て種子島に向ひ熊野南微東三十湊附近にて操業せるもフカ一尾を得たるに過ぎず二十四日油津入港漁獲物を賣却せり、シビ三十八尾フカ二十五尾にて價格六百八十五圓を得魚價は十貫替黄肌にて十七圓八十錢乃至十二圓九十錢目鉢は二十三圓三十錢乃至十五圓八十錢なり

第六航海 一月三日鹿兒島港發五日古仁屋に至りたるも餌料用ムロの漁獲なく十一日迄餌待滞在し十二日餌料を得て大東島に向ひ十三日より十五日迄北大東島に二回沖北大東島に一回操業せるも漁事少く全所を切り揚げ十七日那覇に寄港餌料用ミヅン及飛魚を購入し久米島西に轉漁し十九日久米島西微南四十湊二十日全西五十二湊、二十一日全西微北五十五湊二十二日沖島島西五湊二十五日久米島西六十湊に投縄小漁の後古仁屋に寄港の上二十八日喜界島南二十三湊二十九日屋久新會根南方に操業小漁の後歸途に就き三十一日鹿兒島歸着漁獲物を賣却しシビ三十七尾カジキ六尾フカ九尾にて價格三百四十七圓を得魚價は斤替鹿兒島にて黄肌二十五錢目鉢十七錢トンボ十一錢カジキ二十二錢那覇港で黄肌二十一錢トンボ十五錢なりき第七航海二月一日鹿兒島港發大謀網にて漁獲さるゝ惣田鯉を餌料用として購入すべく肝屬郡内之浦へ寄

港せし處該漁の漁獲なく小量の穴柔魚（甲柔魚の一種）を購入して全地出帆二日油津にて餌料用惣田鰯を購入三日都井岬南東三十六渚四日全東五十渚に操業したるも漁事なく油津歸港五日全港發七日都井岬南微東五十渚にて黒シビ一尾カジキ二尾を得八日全岬南東二分ノ一南四十七渚九日全岬南東五十五渚にてカジキの小漁の後十日油津歸着漁獲物を賣却黒シビ一尾カジキ六尾フカ一尾にて價格百十九圓を得、餌料を積みて十一日更に全港出帆熊野堆に向ひ十二日喜界島東百二十渚にて目鉢三尾トンボ一尾十三日全島微南八十五渚にて目鉢一尾トンボ一尾メカジキ一尾フカ二尾十四日全島東微南三十五渚にて目鉢一尾メカジキ一尾の小漁にて鹿兒島歸着漁獲物を賣却シビ七尾カジキ二尾フカ二尾にて價格八十四圓油津港賣却のものと合して二百五圓を得たり魚價油津にて貫替黒シビ八圓カジキ十五圓十錢乃至十四圓三十錢鹿兒島に於ける斤替相場は目鉢二十錢トンボ十二錢なりき

以上七航海を以て昭和五年度試験を終了せり

試験成績 操業區域廣汎に亘れるを以て之を喜界島南方漁場全東方（熊野堆）漁場久米島西漁場大東島漁場種子島及油津沖合漁場の五海面に別ち記述す

喜界島南方漁場 奄美大島附近に於ける最重要性を有する既知漁場なるが漁況振はず六回操業にてシビ（黄肌及目鉢）六尾の不漁にして漁場の垂直水溫次の如し

月 日	水 温				午後ノ 高潮時	漁 獲
	表 面	一五米	五〇米	一〇〇米	一五〇米	
十一月十一日	二四、八	二五、〇	二五、〇	二二、八	九、五五	ナシ
全 十三日	二四、三	二四、五	二四、五	二四、四	一、〇〇	キハダ一
全 十四日	二四、四	二四、五	二四、五	二四、四	二、二〇	メバチ一
十二月廿日	二二、五	二二、五	二二、五	二二、五	七、〇〇	ナシ
全 廿一日	二二、五	二二、五	二二、五	二二、五	七、三五	キハダ一
一月 廿八日	二二、二	二二、二	二二、二	二〇、〇	二〇、二	メバチ三

操業は十一月三回十二月二回一月一回に過ぎざるを以て漁獲と海況とを結合するは困難なるも前年末の調査によれば午后四時より六時迄の間に高潮を呈する日に好漁ありとせられしが本年は斯の如き日に操業をなす機會を得ず

垂直水溫に就ては上下水溫の差尠き際に好漁を認められ比較の爲め各年各月に於ける垂直水溫の平均及一回平均のシビ漁獲高を表示すれば次

年別	月別	表	面	五〇米	一〇〇米	一五〇米	表面ト一五〇米差	漁一獲回	尾平	數均
昭和二年	十一月 十二月 一月	二三、八 二三、〇 二〇、七	一四、〇 二三、〇 二〇、九	二三、八 二三、〇 二〇、九	二三、四 二二、二 二〇、三	〇、四 〇、四 〇、四	三、五尾 五、四尾 三三、〇尾			
昭和三年	十一月 十二月 一月	二三、四 二三、五 二二、二	二三、四 二三、六 二二、二	二三、三 二三、五 二一、〇	二一、二 二一、一 二〇、三	二、四 一、四 〇、九	四、五尾 三、〇尾 三、〇尾			
昭和四年	十一月 十二月 一月	二三、三 二三、七 二二、六	二三、九 二三、五 二二、五	二三、九 二三、四 二二、四	二一、六 二一、二 二〇、二	〇、四 〇、三 〇、三	三、四尾 四、七尾 五、八尾			
昭和五年	十一月 十二月 一月	二四、五 二三、五 二二、二	二四、七 二三、五 二二、二	二三、九 二三、五 二二、〇	二二、五 二二、四 二〇、五	二、〇 〇、一 一、〇	〇、七尾 〇、五尾 三、〇尾			

表面と一五〇米層との水温差は二度乃至一度にして差最大にて且つ不漁なりし昭和三年に比すれば幾分其差少なきに拘らず漁獲に於ては過去四ヶ年中最不漁なりき本年薩南海に於ける水温は春以來近年になき高温を持續し漁場に於ては十一月に尙表面水温二四度五分にて例年に比し約一度の高温を示し漁況振はず十二月以後平年水温に復歸したるも依然として不漁なりしは魚群の廻游少なきによるものなるべし

喜界島東方（熊野堆）漁場 昭和四年度光洋丸が試漁以來引き續き照洋丸をして從漁せしめシビ漁場として漁場的價値を認め熊野堆と呼稱する處のものにして本年度は六回操業せるも十七尾の漁獲にて好漁にはあらずき兩年度海況を比較するに昨年度操業の際は東の潮流急速なりしに本年は甚だ緩慢なり僅の相違が漁況に關係を有せるものならんか

本漁場に於ける下層水温次の如し

久米島西漁場 前年試験せる地にして五回操業しシビ類二十一尾を得たるも魚体小にしてトンボシビを多く交へたり

月 日	水				温		漁	獲
	表 面	二五米	五〇米	一〇〇米	一五〇米			
昭和五年 十一月十六日	二三、四	二三、四	二三、二	二一、三	一九、九	キハダ三 メカジキ一 フカ一		
十一月十七日	二三、〇	二三、二	二三、二	二一、二	二〇、〇	トンボ一 カジキ一 フカ五		
十一月十八日	二三、一	二三、三	二三、三	二三、三	二〇、四	メバチ四 トンボ一		
十一月廿六日	二二、四	二二、五	二二、五	二一、一	二〇、〇	カジキ一 フカ一		
昭和六年 二月十二日	一九、五	一九、五	一九、七	一九、七	一九、五	メバチ三 トンボ一		
二月十三日	二一、六	二一、五	二一、五	二一、五	二一、二	メバチ一 トンボ一 メカジキ一 フカ二		

月 日	水				温		漁	獲
	表 面	二五米	五〇米	一〇〇米	一五〇米			
一月十九日	二三、五	二三、四	二三、五	二三、三	二三、〇	メバチ一 トンボ八 フカ一 メカジキ一		
全 二十日	二三、二	二三、〇	二三、二	二一、二	二一、一	キハダ一 メバチ二 トンボ九 メカジキ一 フカ三		
全 廿一日	二三、〇	二三、五	二三、五	二二、五	二二、四	メバチ六 キハダ一 トンボ二 メカジキ一		
全 廿二日	二二、四	二二、四	二二、四	二二、〇	二二、七	ナシ		
全 廿五日	二三、四	二三、〇	二三、〇	二三、〇	二二、九	メバチ一 カジキ一		

大東島漁場 本附近は夏季鯉釣漁期中黄肌目鉢の群游する事多きに着眼し昨年度試験せしが天候に禍され充分なる結果を挙げ得ざりしも本年度は北大東島にて十回沖大東島にて四回操業をなし好漁を見たり操業位置は各島共島の北東角より北東一湊半附近に投縄を開始し北東或は北に延へ昨年度の巨岸十湊に比し著しく島近くに行ひたり

漁獲状況は巨岸二湊乃至四湊の間を最良とし六湊附近にても漁獲なきにあらざるも全般的に沖合より地方に多きを見たり按ずるに本島は大洋中の孤島にして巨岸数湊にして千尋以上の深海となるを以て其處に棲息する魚類は鯉シビを問はず島根付魚となり沖合廻游をなすもの少きが如し

操業十四回にして漁獲六十四尾一回平均四、六尾最高漁獲は十二尾シビ類の漁獲皆無なりしは一回にして二尾の小漁も數回ありたるが之は潮流其他の關係にて餌付不良となりたるによるるべし本漁場に於ける下層水溫次の如し

月 日	水				溫				漁	獲
	表	面	一五〇米	一〇〇米	一五〇米	一〇〇米	一五〇米	一〇〇米		
昭和五年 十一月廿八日	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	メバチ五 キハダ二	カジキ一 フカ五
全 廿九日	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	メバチ五 キハダ三	
全 卅日	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	メバチ四 キハダ二	
十二月一日	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	メバチ二 キハダ二	
全 十二日	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	フカ一	
全 十三日	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	メバチ二 キハダ一〇	フカ二 サワラ一
全 十四日	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	メバチ一 キハダ六	
全 十五日	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	メバチ八 フカ六	
全 十六日	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	メバチ四 カツオ一	
全 十七日	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	メバチ四 フカ二	
全 十八日	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	メバチ一 トンボ一	
昭和六年 一月十三日	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	キハダ一 メカジキ一	
全 十四日	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	トンボ二	
全 十五日	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	二四、〇	キハダ一 フカ一	

種子島及油津沖合漁場 種子島南に於てキハダ、メバチを目的とし主として十月十一日の候試験せしが海況漁況共に遅し水溫高くして魚群の廻游少なく七回操業せるも不漁なりき油津沖合にて黒シビを目的とし五回操業せるも不漁に終りたり
本漁場下層水溫次の如し

月 日	水				溫				漁	獲
	表	面	一五〇米	一〇〇米	一五〇米	一〇〇米	一五〇米	一〇〇米		

漁業表

鮪延繩漁業試驗

照洋丸

二月九日	二月八日	二月七日	二月四日	二月三日	一月廿九日	十二月廿三日	全十九日	十一月三日	全卅一日	全廿九日	全廿四日	十月廿三日
二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇
七	七	六	九	六	五	〇	二	二	五	五	六	八
二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇
〇	〇	六	四	五	五	八	四	五	七	〇	七	一
二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇
七	〇	三	四	五	五	八	四	四	七	九	〇	〇
二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇
五	九	二	二	四	二	五	四	四	七	六	一	七
一九、五	二〇、五	二〇、二	二一、〇	二一、〇	二一、八	二二、九	二三、八	二三、八	二四、五	二四、五	二四、七	二五、九
カジキ二	カジキ一	メカジキ	フカ一	ナシ	クロレビ一	カジキ一	メカジキ	フカ一	メバチ二	メバチ二	メバチ八	カジキ一

10月22日	10月21日	日	月
符號	緯度	經度	位置
天候	風向	風力	雲量
氣壓	氣溫	水溫	比
0 m	25 m	50 m	100 m
15 m	0 m	25 m	50 m
100 m	150 m	水色	透明度
潮流	流向	使用時	使用數
種類	種類	種類	種類
種類	種類	種類	種類
數量	數量	數量	數量
金額	金額	金額	金額
記	記	記	記
事	事	事	事

鮪延繩漁業試驗

11月2日	11月1日	10月31日	10月30日	10月29日	10月28日	10月27日	10月26日	10月25日	10月24日	10月23日
		〇ニ 30-7 〇 131-9 B 1 NE4 758.5 23 25.5 25.7 25.7 25.7 23.8 25.58 25.63 25.59 25.53 25.85 I 31 NE2.5 10-22 47 結 フメ カバ チ		〇ハ 30-14 〇 131-15 B 6 NNE2 762 24 26.5 26.0 25.9 25.6 24.5 25.41 25.77 25.72 25.68 25.75 I 24 ENE2 9-22 50 結 カメ シバ キハ キチ ダ					〇ロ 30-50 〇 131-27 C 8 E 1 762 24 24.6 23.7 23.0 22.1 20.7 25.26 25.40 25.40 25.54 25.30 25.42 21 NE 3 12-24 40 結 フ カ	〇イ 30-0 〇 131-10 R ESE2 762 24 25.8 26.1 26.0 25.7 23.9 25.64 25.49 26.09 25.22 25.42 22 NE 3 9-23 50 結 カ シ キ ハ ダ
267圖62					33圖75					
前四時七分熊野入泊	前五時十分一湊港着餌料鯖ヲ購入シ后九時四十五分熊野 へ向	前七時熊野港發一昨日ト同漁場ニ十時半ヨリ投縄后九時 五十分揚縄終了后一湊港へ向フ	前一時半漂泊六時半天候不良トナリ熊野へ向ヒ九時五十 分同港入泊	前六時廿分熊野港ヲ發シ九時半同港ノ南微東二十哩ニ投 縄后九時四十分揚縄終了後西南西へ航走ス	前四時四十五分一湊港餌料鯖ヲ購入九時五十分同港發后 三時半熊野港着	后六時五十分鹿兒島港發	鹿兒島港泊	船員一名發病ニツキ歸途ニツキ后十時鹿兒島港着	前八時始動后零時半種子島北端東廿哩ニ投縄后十二時揚 縄了熊野へ向フ	前五時半熊野發九時半同港南微東廿九哩ニ投縄后十一時 揚縄終了漂泊

11月13日	11月12日	11月11日	11月10日	11月9日	11月8日	11月7日	11月6日	11月5日	11月4日	11月3日
$\begin{matrix} \text{へ} \\ \text{〇} \end{matrix}$ 27-47 $\begin{matrix} \text{〇} \\ \text{〇} \end{matrix}$ 129-30 B 2 NE3 19.0 24.3 24.5 24.5 24.4 22.9 25.53 25.61 26.01 25.56 25.79 I 27 NE緩 12-22 47 鮪 キメ ハバチ		$\begin{matrix} \text{ホ} \\ \text{〇} \end{matrix}$ 27-55 $\begin{matrix} \text{〇} \\ \text{〇} \end{matrix}$ 130-05 C N 4 763 24.8 25.0 25.0 22.8 21.7 25.66 25.61 25.69 25.59 25.57 24 22-22 47 鮪 フ カ						$\begin{matrix} \text{ニ} \\ \text{〇} \end{matrix}$ 30-2 $\begin{matrix} \text{〇} \\ \text{〇} \end{matrix}$ 331-8 B 4 NW3 767 19.5 25.2 25.3 25.3 24.4 23.4 25.80 25.03 25.32 25.61 25.86 26 NE急 11-22 47 鮪 フメ カバチ	$\begin{matrix} \text{イ} \\ \text{〇} \end{matrix}$ 30-0 $\begin{matrix} \text{〇} \\ \text{〇} \end{matrix}$ 131-11 B 3 N 1 766 19.4 25.2 25.5 25.5 25.4 23.8 25.94 25.93 25.59 25.75 26.09 I 31 ENE急 11-22 47 鮪 フキ カハダ	
前八時廿分古仁屋港ヲ發シ正午ヨリ皆通崎ノ南微東二分 ノ一東二十湮ニ投縄后九時五十分揚縄終了後古仁屋ヘ向 フ	前六時四十分古仁屋港着荒天休泊	前三時十五分名瀬港ヲ出帆正午ヨリ喜界島南廿一湮ニ投 縄后十時十分揚縄終了古仁屋ニ向フ	餌料用鯨膠ヲ購入	餌料待滞泊	前十時四十五分名瀬港着泊	前七時七分一湊着餌料鮪ナキニヲキ大島ヘ向フ	后九時五十分鹿兒島發一湊ニ向フ	后三時四十分鹿兒島入泊	前十一時廿分熊野南微東廿湮ニ投縄后十時揚縄終了鹿兒 島ヘ向フ	前六時十五分熊野港發十一時廿分ヨリ同港南々東卅湮ニ 投縄后九時四十分揚縄終了後航走

11月24日	11月23日	11月22日	11月21日	11月20日	11月19日	11月18日	11月17日	11月16日	11月15日	11月14日
					x 29-50 131-0 B NE 3	y 28-40 131-38 B NE 3	z 27-52 131-46 B N 1	o 28-7 131-56 B NW 3 766 23.5 23.4 23.2 23.2 21.2 19.9 25.64 25.54 25.46 26.01 25.57 30		f 27-37 129-38 B NE 1 18.5 24.4 24.5 24.5 24.4 23.0 25 28 30 31
					13-22 47 鯨 メ パ ナ	14-22 47 鯨 カ シ キ	13-22 47 鯨 フ カ キ	13-23 47 鯨 メ カ キ		13-22 47 鯨 フ カ
					五	一	一	一		一

286圖 17

前四時半古仁屋港着	大島へ向ヶ航行中	后九時卅五分鹿兒島港發	鹿兒島港泊	后三時十七分鹿兒島入港泊	后一時種子島熊野ノ南二分ノ一東卅二湮ニ投繩后十時場繩終了鹿兒島へ向フ	后二時喜界島東微南九十湮ニ投繩后十時揚繩終了北々西航走	后一時喜界島東南東百湮ニ投繩后十時十五分揚繩終了漂泊	后一時喜界島東微南百五湮ニ投繩后十時四十三分揚繩終了漂泊	前三時廿五分古仁屋港着后五時同港發熊野堆ニ向フ	前二時卅五分古仁屋着餌料購入ノ上六時四十分同港發后零時四十分皆通崎南々東廿八湮ニ投繩十時二十分揚繩終了古仁屋へ南フ
-----------	----------	-------------	-------	--------------	------------------------------------	-----------------------------	----------------------------	------------------------------	-------------------------	---

12月5日	12月4日	12月3日	12月2日	12月1日	11月30日	11月29日	11月28日	11月27日	11月26日	11月25日
R WN4 760 13,0	C N3 769,5 18,7	C NNE3 768 18,0	R N3 764 20,0	ヲ ○ 25-58 ○ 131-21 R NW2 761 21,0 23,9 23,9 23,9 21,4 19,1	ヲ ○ 25-58 ○ 131-21 B S3 760,5 24,0	ヲ ○ 25-58 ○ 131-21 C S2 763,5 23 24,0 24,0 24,0 21,0 19,5	ヲ ○ 25-58 ○ 131-21 C NE1 765,5 22 24,0 24,0 23,8 22,6 19,4	ヲ ○ 26-56 ○ 131-50 B N1 765 23,9 24,0 24,4 24,4 23,4 20,6	ヲ ○ 28-3 ○ 132-10 B N1 766,5 21 22,4 22,5 22,5 21,1 20,0	
				33 15-24 38 鯨 メバチ キハダ	WNW急 15-22 40 鯨 メバチ キハダ	35 14-22 40 鯨 メバチ キハダ	37 NW緩 12-23 40 鯨 メバチ カ メカシキ	30 ENE緩 12-22 40 鯨 メカシキ カ	32 NE緩 12-22 40 鯨 メカシキ カ	
704圓57										
前三時半油津入港漁獲物ヲ販賣シ后十一時十分油津發鹿兒島ヘ向フ	油津ヘ向ケ航走中	油津ヘ向ケ航走中	后五時半ヨリ油津ニ向フ	后二時四十分ヨリ昨日位置ニ操業シ后十二時揚縄終了	后二時四十分昨日位置ニ操業シ十時終了	后一時四十五分ヨリ昨日ト全位置ニテ操業十時揚縄終了	前八時四十五分北大東島着十一時十五分發全五十五分ヨリ全島ノ南東角ヨリ二渚ニ投縄后十一時揚縄終了	前一時始動九時漂流正午ヨリ喜界島南東百廿渚ニ投縄后九時卅分揚縄終了大東島ニ向フ	正午ヨリ喜界島東微南百渚ニ投縄后十時揚縄終了漂流	后二時古仁屋港ヲ發シ熊野堆ニ向フ

12月16日	12月15日	12月14日	12月13日	12月12日	12月11日	12月10日	12月9日	12月8日	12月7日	12月6日
ヲ 25-58 131-21 B NNE2 766 20,2 23,0 23,0 22,7 21,8 19,4 25,97 25,98 25,83 26,10 25,72 35 15-21 37 鯨 カメ ツバ チ	カ 24-28 131-12 B3 NE3 766 21,0 23,9 23,9 23,9 23,4 20,5 25,87 25,71 25,79 25,85 25,79 31 14-21 37 鯨 フキ ハダ カ	カ 24-28 131-12 B3 NW2 766 21,0 23,9 23,9 23,9 23,2 20,5 25,85 25,66 25,87 25,87 25,79 14-22 37 鯨 サキ ハダ ラダカチ	カ 24-28 131-12 B3 NNW3 765 24,0 23,9 23,9 23,9 23,1 22,0 25,59 25,93 25,65 26,06 25,89 29 0 11-22 37 鯨 フキ ハダ カダチ	ヲ 25-58 131-21 B1 NNW2 764 23,0 23,6 22,8 22,8 21,1 20,0 25,65 25,64 25,59 25,85 25,82 31 6-22 37 鯨 フ カ	B NNW2 762 22,0	C N2 760 19,0	C N2 765 22,5	C N2 762,5 17,4		
685圓80										
后三時十分ヨリ北大東島北東角ニ投縄后九時揚縄終了	后二時ヨリ沖大東島北東角ニ投縄后七時揚縄終了北大東島ニ向フ	后二時ヨリ沖大東島北西角ニ投縄后十時揚縄終了	前十一時二十分沖大東島一票ニ投縄十時半揚縄終了后二時ヨリ沖大島北西南角ニ投縄后十時揚縄終了	前六時ヨリ北大東島北東角ニ投縄后十時揚縄終了沖大東島ニ向フ	后六時四十五分北大東島着	后三時廿五分大東島ニ向フ	后一時名瀬入港餌料用鯨鰭ヲ購入ス	前八時廿五分鹿兒島港發大島ニ向フ	鹿兒島泊	前零時二十分鹿兒島入泊

12月27日	12月26日	12月25日	12月24日	12月23日	12月22日	12月21日	12月20日	12月19日	12月18日	12月17日
				$\begin{matrix} \vee \\ \circ \\ 30-3 \\ \circ \\ 131-19 \end{matrix}$	$\begin{matrix} \circ \\ \circ \\ 30-3 \\ \circ \\ 131-19 \end{matrix}$	$\begin{matrix} \star \\ \circ \\ 27-53 \\ \circ \\ 129-56 \end{matrix}$	$\begin{matrix} \equiv \\ \circ \\ 28-0 \\ \circ \\ 129-48 \end{matrix}$		$\begin{matrix} \eta \\ \circ \\ 25-58 \\ \circ \\ 131-21 \end{matrix}$	$\begin{matrix} \gamma \\ \circ \\ 25-58 \\ \circ \\ 131-21 \end{matrix}$
		B N 3 764 11,0	B NW3 763,5 11,0	B4 NW2 768 11,0 22,0 21,8 21,8 21,5 20,8 25,72 25,72 25,95 25,65 25,57 I 23 N 2,5 13-21 37 鯨 フ カ 一	cN NW5 762 17,0	B3 N3 761 24,0 22,5 22,5 22,5 22,5 22,5 25,77 25,67 25,78 25,74 25,81 III 25 E 緩 10-21 37 鯨 キ ハ ダ 一	c SW3 761 22,0 22,5 22,5 22,5 22,5 22,4 25,73 25,84 25,67 25,69 25,62 II E 緩 12-22 37 鯨 フ カ 一	B SW2 754 22,0	c9 NE3 764 24,0 23,0 23,0 22,8 22,8 19,7 25,76 25,76 25,92 25,97 26,04 I 30 15-21 37 鯨 キ ハ ダ 一	c8 E 2 765 22,0 22,7 22,6 22,6 22,5 20,0 25,87 25,87 25,84 25,72 25,67 I 30 SE 緩 15-21 37 鯨 メ パ チ カ 二
全	鹿兒島港碇泊	前八時四十分鹿兒島入泊	前七時浦津入港漁獲物ヲ賣却后五時浦津發鹿兒島ヘ向フ	熊野南微東三十浬ニ后一時投縄后九時十五分揚縄終了油津ヘ向フ	航走中	前九時五十五分ヨリ喜界島南ニ投縄后九時十分揚縄后九時十分揚縄終了北微西ヘ航走ス	前十一時十分發 后三時ヨリ喜界島南ニテ操業九時卅分揚縄終了	后十時三十分古仁屋入港	后二時四十分ヨリ昨日位置ニ投縄后九時繩分揚縄終了	后二時四十五分ヨリ昨日位置ニテ操業后九時揚縄終了大島ヘ向フ

1月7日	1月6日	1月5日	1月4日	1月3日	1月2日	1月1日	12月31日	12月30日	12月29日	12月28日
B 4 N 2 758 21,0	R SE2	B2 SW1	B4 S3 764 19.7							
全	餌料待滞泊	后二時二十六分古仁屋入港泊	航途中	后十時半鹿兒島港出帆古仁屋へ向フ	全	鹿兒島港碇泊	全	全	全	全

1月18日	1月17日	1月16日	1月15日	1月14日	1月13日	1月12日	1月11日	1月10日	1月9日	1月8日
R N4 761 18,5	c NE2		カ O 24-28 O 131-12 R NE1 765 22,2 22,1 22,0 21,5 19,9 26,38 26,00 26,00 25,20 25,82 真32 NW緩 14-22 38 鯨 フ キ カ ハ ダ	カ O 25-58 O 131-21 c7 NNW2 766 17,0 22,0 22,0 22,0 21,4 25,86 26,26 26,32 25,92 26,30 真27 SE普 15-22 38 鯨 ト ン ボ	カ O 25-58 O 131-21 c10 NW4 766 20,3 22,3 22,4 22,4 22,4 22,2 25,72 25,66 26,08 25,86 26,12 真28 SE急 14-22 38 鯨 メ カ ジ ギ キ ハ タ	B2 S1 766 18,0	B4 NW2	c8 W6	B NW3	B3 NW3 759 20,0
前〇時那覇港ヲ出帆ス久留島西漁場ニ向ヒシモ正午荒天トナリ久米島ヘ避難后五時四十分儀間灣ニ着泊	前九時四十五分那覇入港餌料鯨鰭ヲ購入ス	那覇ヘ向ケ航走中	前十時沖大東島着后一時四十五分ヨリ全東北東ニ投縄十時揚縄終了那覇ヘ向フ	后三時北大東島北岸ニ投縄九時半總終了沖大東島ヘ向フ	正午北大東島着后一時四十五分ヨリ全島北東ニ投縄后九時半揚縄終了	正午皆通崎發大東島ヘ向フ	餌料用鯨鰭購入	全	全	全

1月29日	1月28日	1月27日	1月26日	1月25日	1月24日	1月23日	1月22日	1月21日	1月20日	1月19日
△ ○ 29-44 ○ 130-23	タ ○ 27-53 ○ 129-56			ラ ○ 26-19 ○ 125-36			ナ ○ 26-35 ○ 126-41	ネ ○ 26-28 ○ 125-41	ソ ○ 26-19 ○ 125-44	ツ ○ 26-19 ○ 126-0
c10 SW2 762 18,0 21,5 21,5 21,5 21,2 20,5 26,22 26,33 25,82 26,40 26,28 25 E緩	B4 E1 765 17,0 21,2 21,2 21,2 21,0 20,2 26,32 26,34 26,14 26,27 26,36 真30 不定	c10 NW4 765 15,5	c10 NW4 761 22,4	c6 SE3 763 18,0 23,4 23,0 23,0 23,0 22,9 25,97 26,43 26,50 26,42 26,04 NE急	B3 N2	R NW3	B0 SSW2 765 22,0 22,4 22,4 22,4 22,0 21,7 25,73 25,88 26,03 25,78 25,78 27 S緩	B4 ESE2 765 22,6 22,5 22,5 22,5 22,5 22,4 26,33 26,13 26,13 26,17 26,38 30 NE急	B3 N1 765 16,0 22,4 22,0 22,2 22,2 21,1 26,28 26,36 26,34 26,10 26,13 真29 N緩	B4 N3 764 16,0 22,5 22,4 22,5 22,3 22,0 25,84 26,28 26,06 26,32 26,02 真25 E緩
15-24 38 飛魚 ミツ フ カ	15-23 43 飛魚 ミツ フ メ バ カ ジ キ カ チ キ			12-23 42 飛魚 ミツ カ ジ キ			12-21 42 鯨 ナ シ	15-23 42 鯨 メ ト キ メ ハ ン メ キ ボ ダ チ	15-23 42 鯨 ト メ メ カ ハ ン メ キ ボ ダ チ	13-23 42 鯨 メ メ フ ト カ バ ン キ チ カ ボ
ニ	ニニ一			一			一ニ一六	九二一	一三	一八

347圖17

后七時半久米島發后一時全島西微南四十浬ニ操業后十時半揚繩終了	后三時ヨリ久米島西五十二浬ニ操業十一時揚繩終了	后二時五十分ヨリ久米島西微北五十五浬ニ投繩十時半揚繩終了南島島ニ向フ	后〇時十五分南島島西五浬ニ投繩九時二十分揚繩終了那覇ヘ向フ	前八時那覇入港氷ノ補給ナナス	餌料用トシテ飛魚及ミツンヲ購入ス后五時四十分那覇出帆久米島ヘ向フ	前十一時半久米島西六十浬ニ投繩后十一時十分揚繩終了大島ヘ向フ	航走中	后七時四十分古仁屋入泊	前九時古仁屋出帆后二時五十分ヨリ喜界島南二十三浬ニ投繩后十時四十五分揚繩終了南微東ニ航走	后二時四十五分久新曾根ニ投繩十一時五十分揚繩終了揚繩終了鹿兒島ヘ向フ
--------------------------------	-------------------------	------------------------------------	-------------------------------	----------------	----------------------------------	--------------------------------	-----	-------------	--	------------------------------------

2月9日	2月8日	2月7日	2月6日	2月5日	2月4日	2月3日	2月2日	2月1日	1月31日	1月30日
31-0 132-10 R SSE3 762 13,3 21,0 21,0 20,7 20,5 19,5 26,09 26,14 26,15 26,17 26,02 ■24 NNE急 4-21 44 メチカ カ ジ キ 二	30-50 132-0 c8 N3 766 12,4 20,7 21,0 21,0 20,9 20,5 26,02 26,14 26,09 26,14 26,07 ■24 NNE急 4-22 44 メチカ メ フ カ ジ キ 一	30-30 131-40 B4 NNW3 762 13,5 21,6 21,6 21,3 21,2 20,2 26,16 26,16 26,14 26,12 26,02 ■25 NNE急 4-22 44 メチカ カ ジ キ 二	B4 NW4 758 18,0		31-25 132-20 R E3 759,5 20,2 20,9 21,4 21,4 21,2 21,1 25,46 26,14 26,09 26,14 26,09 ■24 NE急 3-13 44 メチカ ナ シ 一	31-0 131-55 C9 NE2 760 18,7 21,6 21,5 21,5 21,4 21,0 26,22 26,22 26,17 26,17 26,17 ■26 NNE急 14-23 44 メチカ フ カ 一				
120呎55										
前三時五十分都井崎南東五十五呎ニ投縄后八時五十分揚縄終了油津へ向フ	前四時十五分都井崎南東二分ノ一南四十七呎ニ投縄后九時五十分揚縄終了后南々西航走	前四時十分都井崎南東五十呎ニ投縄后九時四十分揚縄終了南西へ航走	都井崎南東微東四十五呎附近ニテ曳縄ヲ操業セルモ漁獲ナシ	前一時十五分油津入港餌料用惣田鰐ヲ購入シ后十時十五分油津へ向フ	前三時三十分都井崎東五十呎ニ投縄后〇時五十分揚縄終了油津へ向フ	前七時十分油津發油津場へ向フ后二時十分ヨリ都井崎南東四十五呎ニ投縄十時五十分揚縄終了	后五時五十分油津入港	后九時四十五分鹿兒島港發油津へ向フ	前一時五十分鹿兒島入港 漁獲物ヲ賣却ス	鹿兒島へ向ケ航走中

					2月16日	2月15日	2月14日	2月13日	2月12日	2月11日	2月10日
					R SW 2 763 17,0	B N 2 764 18,5	ケ ○ 28—15 ○ 130—35 R SSW 1 759 20,6 21,6 21,6 21,6 21,5 21,4 26,07 26,14 26,07 26,08 26,13 I 30 ENE 極緩 14—22 44 メチカ メカ ジキ	マ ○ 28—20 ○ 131—35 B 5 W 4 763 23,5 21,6 21,5 21,5 21,2 26,02 26,09 26,01 26,19 26,07 I 27 ENE 極緩 13—22 44 メチカ メハ ボカ メカ ジキ	ヤ ○ 28—15 ○ 132—15 R E 3 765 16,4 19,5 19,5 19,7 19,7 19,5 26,02 26,09 26,14 26,17 26,17 I 30 ENE 極緩 13—22 44 メチカ メ ン ボ チ	B 4 ENE 4 764, 5 14, 0	
							84圓 12				
					后〇時五十分鹿兒島港着漁獲物ヲ賣却シ本試験ヲ終了セ	鹿兒島ヘ向ケ航走中	前四時始動后一時五十分ヨリ喜界島東微南三十五浬ニ投 繩九時四十五分揚繩終了鹿兒島ヘ向フ	前一時漂泊九時始動后一時二十五分喜界島東微南八十五 浬ニ投繩十時三十分揚繩終了漂泊	后〇時五十分喜界島東百二十浬ニ投繩后十時揚繩終了西 ヘ航走	前九時半汕渚發熊野堆ヘ向フ	前十時汕渚ヘ入泊

計

メカ
ジキ
二

メカ
ジキ
三

メカ
ジキ
三

メカ
ジキ
七

メカ
ジキ
六



圖場漁繩延鯨

丸洋照度年五和昭

日十二月十 自

日六十月二翌 至

ス示ヲ向方ト置位業操

旗魚延繩漁業試驗

趣旨 本縣南方海面に於けるカジキ延繩漁業は前年來試驗する所にして從來梅吉會根黒島方面等北偏せる漁場に限らるゝを以て擴張を目的とし本年は夏秋兩期に分ち夏繩は種子島南東沖合及梅吉會根方面に秋繩はトンコ會根方面に亘りて試驗せり

經過 試驗船光洋丸は船員九名主任者一名乗組延繩は一鉢長さ六百尋技繩十四本付のもの十六鉢を準備し夏繩は昭和五年六月二十六日より八月五日迄に四航海秋繩は十月十日より十月二十六日迄に二航海合計六航海をなしカジキ三十七尾シビ六尾フカ四十二尾其他雜魚を合し價格八百九十六圓を得前年同期試驗に比し二航海を増し漁獲に於て十四尾を増加せるも價格に於て五十八圓を減せり每航海の狀況左の如し

第一航海 昭和五年六月二十六日諸準備を整へ鹿兒島港發二十七日三方會根二十八日二十九日屋久會根にて餌料サバ釣をなし三十日梅吉會根に七月一日東新會根に操業后全夜及二日夜屋久會根に餌サバ釣りし三日種子島黒山出シ會根四日田ノ脇會根に出漁ノ上五日鹿兒島港歸着漁獲物賣却マカジキ二尾バシヨウカジキ三尾キハダ一尾フカ八尾其他雜魚を合し價格百五圓を得

第二航海 七月七日鹿兒島港發八日迄三方會根に十一日迄屋久會根に餌サバ釣りをなしたるも何れも不漁にして一湊に於てサバ購入の上十二日ヶ會根に十三日十四日黒山出シ會根にて操業し十五日鹿兒島港歸着漁獲物賣却マカジキ二尾バシヨウカジキ四尾シビ一尾フカ五尾其他雜魚を合し價格百四十四圓を得

第三航海 七月十九日鹿兒島港發二十日二十一日屋久會根に於て餌サバ釣りをなし二十二日黒山出シ會根二十三日中ノ瀬二十四日二十五日黒山出シ會根に出漁し二十六日鹿兒島港歸着漁獲物賣却マカジキ三尾バシヨウカジキ七尾シビ二尾フカ七尾其他雜魚を合し價格二百三十三圓を得

第四航海 七月二十九日鹿兒島港發屋久會根に於て全夜及三十日夜餌サバ釣りし三十一日八月一日黒山出シ會根に二日熊野南東八湊にて操業し三日屋久會根に餌サバ釣り從漁の上四日梅吉會根に出漁し五日鹿兒島港歸着漁獲物賣却マカジキ一尾バシヨウカジキ六尾シビ一尾フカ八尾其他雜魚を合し價格百十七圓を得本航海を以て夏季試驗を打ち切る。

第五航海 秋期試験は十月十日鹿兒島港發十一日迄屋久會根にて餌料サバ釣りをなし十二日梅吉會根に十三日西新會根に十四日サンゴ會根に操業十五日屋久會根にてサバ釣りをなし十六日屋久新會根十七日サンゴ會根十八日梅吉會根に出漁し十九日鹿兒島港歸着漁獲物賣却マカジキ五尾バシヨウカジキ一尾フカ八尾價格百七十七圓を得

第六航海 十月二十日鹿兒島港發二十一日二十二日湯瀬にて餌料サバ釣をなし二十三日二十四日二十五日サンゴ會根にて操業の上二十六日

鹿兒島港歸着漁獲物賣却マカジキ三尾フカ七尾價格百七十圓を得本航海を以て秋期試験を終了す

試験成績 夏季に於けるカジキ延縄漁業は本年初めて試みたるものにして種子島梅吉會根東新會根の近海漁場に出漁し豫想外の好漁を收

め得たりバシヨウカジキの來游最も多く漁獲の大部を占め此の外マカジキの漁獲ありたるも多からず秋季と反對の現象を示し漁場は種子島黒山出シ會根に好漁あり主に此の附近に出漁せり

此の季はサバ釣り漁業終漁し其他漁事閉散の時期にして民間延縄船は多く休業するを以て他漁業の開始さるゝまでの中繼漁業として適し又漁場近きを以てサバ釣り漁業と兼ねサバ不振の際出漁する如くせば最も得策なるものと思惟せらる

秋季試験は梅吉會根西新會根屋久新會根サンゴ會根に出漁しカジキの廻游少く小漁に終れり

其他民間延縄漁船の多くは五島濟州島方面の該漁業に出漁せるため本縣南方海面に従漁せるものは小型船十二三隻に過ぎず漁場は東新會根梅吉會根黒島近海にして一航二三百圓程度の普通漁なりき

漁場水温 毎回漁業位置に於て下層水温を觀測せるもの左の如し

月 日	漁場 位置	水 温					漁 獲 物
		表 面	一五米	五〇米	一〇〇米	一五〇米	
六月三十日	梅吉會根	二七、六	二七、〇	二四、八	二四、〇	二二、四	バシヨウカジキ一 フカ二
七月一日	東新會根	二六、七	二六、六	二五、八	二四、五	二三、二	バシヨウカジキ一 フカ二
全 三日	黒山出シ會根	二七、六	二六、八	二六、一	二五、四	一九、四	キハダ一バシヨウカジキ一カジキ一
全 四日	田ノ脇會根	二八、八	二六、六	二六、二	二五、五		マカジキ一 フカ四
全 十二日	ケ會根	二八、七	二七、六	二五、七	二三、七	一九、九	シビ二 フカ一
全 十三日	黒山出シ會根	二八、一	二五、三	二四、六	二四、二	二三、八	バシヨウカジキ三 マカジキ二
全 十四日	全	二九、二	二八、一	二六、七	二五、六	二三、八	バシヨウカジキ一 フカ一
全 二十二日	全	二九、七	二六、七	二六、〇	二四、五	二五、七	マカジキ二 フカ五
全 二十三日	中ノ瀬	二九、〇	二七、四	二七、〇	二四、三	二三、六	バシヨウカジキ四キハダ一フカ三
全 二十四日	黒山出シ會根	二八、五	二六、六	二五、九	二五、六	二〇、七	マカジキ一 バシヨウカジキ一

魚種別	色別	二〇尋	十八尋	十六尋	十四尋	十二尋	十一尋	十尋	七尋	計
マカジキ	黒白色	一一	二二	五	三	一	一	一	一	一一
パシヨウカジキ	黒白色	二〇	一三	一三	五三	一	一	一	一	一二
シビ	黒白色	一	一	四	二	一	一	一	一	四二
フカ	黒白色	三二	九六	四五	二	一	四	一	二	二一四四
計	黒白色	六四	一一二	一九三	七六	一一	四一	一	三一	四三二九

技縄種別漁獲者

全二十五日	全三十一日	八月一日	全二日	全四日	十月十二日	全十三日	全十四日	全十六日	全十七日	全十八日	全二十三日	全二十四日	全二十五日
全	全	熊野南東八湍	梅吉會根	全	西新會根	サンゴ會根	屋久島新會根	サンゴ會根	梅吉會根	サンゴ會根	全	全	全
二八、五	二八、〇	二八、二	二八、一	二七、四	二五、五	二六、六	二六、四	二六、五	二六、一	二六、七	二六、二	二六、二	二六、三
二七、〇	二七、五	二七、六	二七、〇	二五、五	二六、六	二六、五	二六、七	二六、二	二六、二	二六、四	二六、〇	二六、二	二六、二
二六、三	二七、三	二七、二	二六、五	二六、五	二五、五	二六、五	二六、四	二六、二	二六、二	二六、二	二五、三	二五、六	二六、二
二五、〇	二〇、七	二五、三	二四、四	二四、五	二一、四	二五、七	二四、五	二四、二	二四、二	二四、二	二五、八	二三、五	二四、七
二〇、五	二〇、三	二〇、〇	二四、五	二三、四	一八、八	二三、一	二三、九	二三、七	二三、八	二三、一	二一、九	二一、六	二一、〇
パシヨウカジキ一キハダシビ一フカ一	パシヨウカジキ二キハダシビ一フカ一	パシヨウカジキ四フカ一	フカ三	マカジキ一フカ一	マカジキ二	ナシ	マカジキ二	ナシ	マカジキ二	ナシ	ナシ	ナシ	マカジキ三

光
洋
丸

月 日	天候 風向力	漁場 符號	漁具 使用時	使用 鉢數	表面 水溫	潮向 速	餌料	種類 尾數	模 價 物 格	記 事
六月二十六日	曇西南西	二						一	二〇五、三九	后二時十分鹿鹿島港發全六時二十分山川港入泊 后四時〇五分全所發全七時三十分ヨリ三方曾根 ニ於テ餌料鰯釣リシ百尾ヲ得
同 二十七日	曇西南西	二						一		前四時四十分全所發屋久島ニ向フ全九時四十分 一湊着后七時四十分ヨリ屋久曾根ニ於テ鰯釣リ シタルモ不漁十五尾ヲ得
同 二十八日	晴南々西	二						一		前十二時三十分一湊入泊后八時十五分ヨリ屋久 曾根ニ於テ鰯釣リシ三百尾ヲ得
同 二十九日	晴北々西	一						一		前一時五十分鰯釣リ終漁シ梅吉曾根ニ向フ前六 時ヨリ后七時二十分マテ操業后八時十分ヨリ湯 瀬ニ於テ鰯釣リ二十尾ヲ得
同 三十日	晴南 一	イ						二		前〇時三十五分湯瀬發東新曾根ニ操業シ后五時 五〇分鰯釣リノタメ屋久曾根ニ向フ
七月 一日	晴東南東	二						二		前〇時五〇分着鰯釣リシ百二十五尾ヲ得全五時 〇五分一湊入泊后七時十五分全所發屋久曾根ニ 向ヒ后八時十分ヨリ鰯釣リ
同 二 日	晴東南東	二						一		前〇時〇五分全所發前六時ヨリ后五時三十六分 マテ黒山出シ曾根ニ操業シ后六時五十分熊野入 泊
同 三 日	晴南東二	ハ						一		前三時二十五分熊野浦發全五時五十分ヨリ后二 時十五分マテ田之脇曾根ニ操業シ鹿兒島ニ向ヒ 后十時〇五分山川港入泊増氷ス
同 四 日	晴南 二	ニ						一		

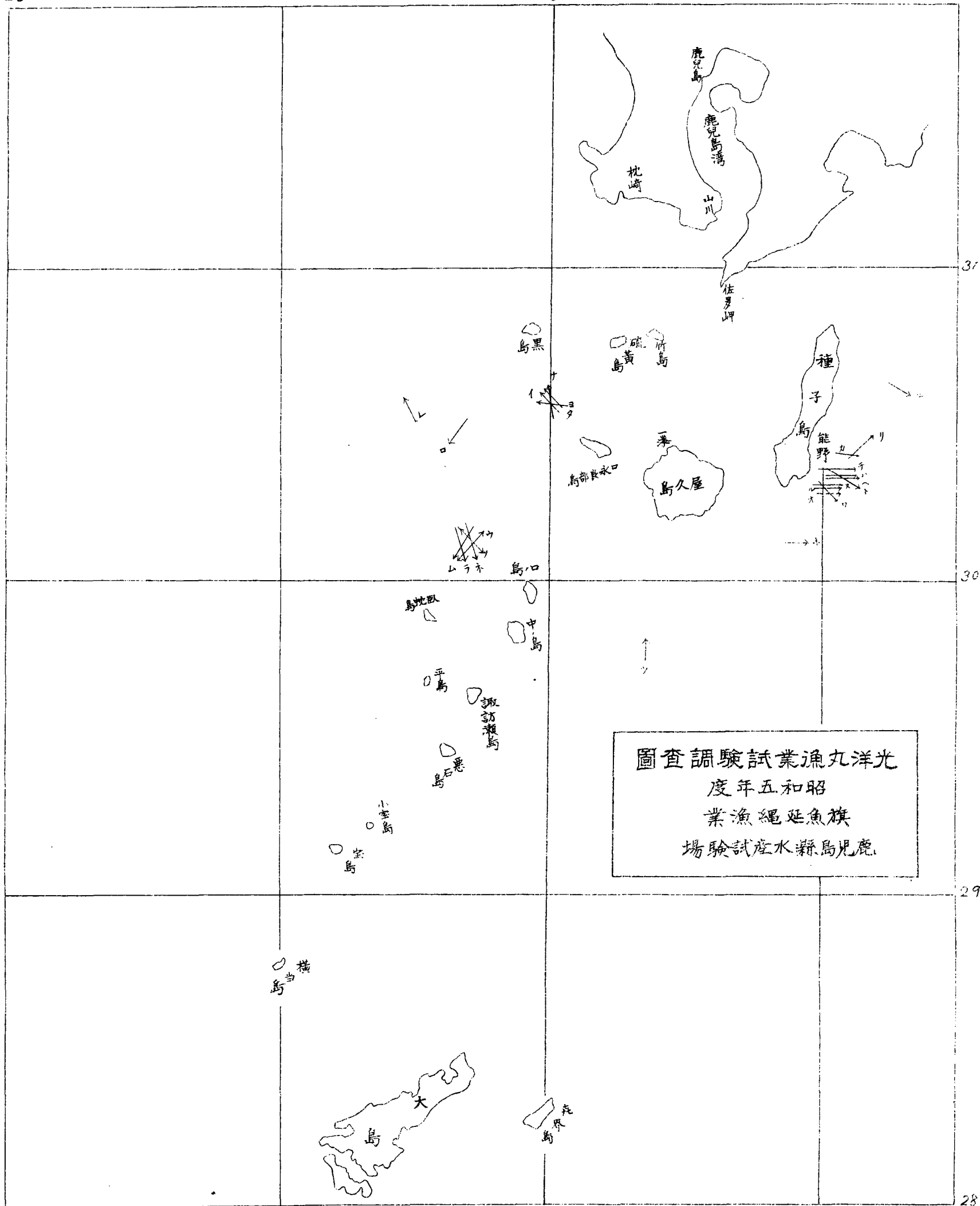
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
五日	六日	七日	八日	九日	十日	十一日	十二日	十三日	十四日	十五日	十八日 マデ	十九日	二十日
曇南一	晴南西二	晴南西二	晴南西一	晴南西二	曇南々西三	晴南々西二	晴南二	晴南二	晴東南二	晴東一		曇南々西二	晴南々西二
							ホ	ヘ	ト				
							自前 六三〇 自后 六三〇	自前 五二〇 自后 五二五	自前 六三〇 自后 七三〇				
							二	二	三				
							二八、七東	二八、二北東緩	二九、三東北東緩				
							急						
							鯖	同	同				
							フシ カビ	マカ シヨ ウキ	シカ シヨ ウキ	バシ カシ ヨウ カキ			
							一	二	三	一			
							一四、七六						
前〇時十五分山川港發全四時二十分鹿兒島港入 泊鹿兒島港碇泊 后二時鹿兒島港發后八時二十分三方曾根着鰯釣 リシタルモ不漁 前四時三十分全所發全六時十分大泊入泊后六時 全所發后八時三方曾根着鰯釣リシタルモ不漁 前四時四十五分全所發屋久島ニ向ヒ全九時〇五 分一湊入泊后六時五十五分全所發全八時ヨリ屋 久曾根ニ於テ鰯釣リ 前五時十五分全所發全六時〇五分一湊入泊后七 時全所發全八時十分ヨリ屋久曾根ニ於テ鰯釣リ シタルモ不漁全十一時五十分終漁一湊ニ向フ 前〇時十分一湊着鰯二百尾購入后八時十分全 所發全九時十分ヨリ屋久曾根ニ鰯釣リシ五十尾 得 前一時二十分全所發前六時三十分ヨリ后六時三 十分マテテ曾根ニ操業シ后八時三十分種子島大 竹崎ニ假泊 前四時泊地發前五時十分ヨリ后三時二十五分マ テ黒山出シ曾根ニ操業后九時十分ヨリ屋久曾根 ニ於テ鰯釣リシタルモ不漁ニシテ百尾購入ス 前一時十分全所發前六時三十五分ヨリ后七時三 十分マテ黒山出シ曾根ニ操業ノ上鹿兒島ニ向フ 前九時十分鹿兒島港着漁獲物賣却ス 鹿兒島港ニ泊 后一時三十分鹿兒島港發全五時三十五分山川港 入泊船底掃除 后二時五十分山川港發屋久曾根ニ向ヒ全九時着 鰯釣リ從漁シタルモ不漁													

128°

129°

130°

131°



31

30

29

28

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	十月十日	同	同	同
四日	五日	十日	十一日	十二日	十三日	十四日	十五日	十六日	十七日	十八日	十九日	二十日	同日
晴東北東二	晴東北東一	晴北一	雨東北東四	曇東南東四	曇東北東二	晴東北東二	晴東北東二	晴東北東二	曇南東三	晴東三	曇北四	曇北四	曇北四
ヨ	タ	レ	ソ	ソ	ソ	ソ	ソ	ソ	ネ	ナ	ナ	ナ	ナ
至自 前六、一五 至三、〇〇	至自 前六、一五 至三、〇〇	至自 前六、一五 至三、〇〇	至自 前六、一五 至三、〇〇	至自 前六、一五 至三、〇〇	至自 前六、一五 至三、〇〇	至自 前六、一五 至三、〇〇	至自 前六、一五 至三、〇〇	至自 前六、一五 至三、〇〇	至自 前六、一五 至三、〇〇	至自 前六、一五 至三、〇〇	至自 前六、一五 至三、〇〇	至自 前六、一五 至三、〇〇	至自 前六、一五 至三、〇〇
二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二
二六、〇	二六、〇	二六、〇	二六、〇	二六、〇	二六、〇	二六、〇	二六、〇	二六、〇	二六、〇	二六、〇	二六、〇	二六、〇	二六、〇
北々西緩	北々西緩	北々西緩	北々西緩	北々西緩	北々西緩	北々西緩	北々西緩	北々西緩	北々西緩	北々西緩	北々西緩	北々西緩	北々西緩
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
マカシキ	マカシキ	マカシキ	マカシキ	マカシキ	マカシキ	マカシキ	マカシキ	マカシキ	マカシキ	マカシキ	マカシキ	マカシキ	マカシキ
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一七、六六													一七、六六
前六時十五分ヨリ后三時マテ梅吉智根操業ノ上 鹿兒島ニ泊フ	前七時二十分鹿兒島港着漁獲物賣却夏李試驗ヲ 終ル	前七時二十分鹿兒島港着漁獲物賣却夏李試驗ヲ 終ル	前六時一湊入泊后四時三十分全所發全五時十四 分ヨリ屋久智根ニ於テ鰯釣リ	前〇時二十三分屋久智根發全六時十五分ヨリ后 四時二十四分マテ梅吉智根ニ操業全六時五十分 ヨリ全所ニ於テ鰯釣リシ全十一時西新智根ニ向 フ	前七時ヨリ后六時二十分マテ西新智根ニ操業シ 全所泊	前五時四十分全所發全八時ヨリ后六時二十分マ テサンゴ智根ニ操業シ屋久島ニ向フ	前一時十九分一湊入泊鰯二百三斤購入后五時三 十分全所發屋久智根ニ於テ全六時二十分ヨリ鰯 釣リシ全四時四十五分屋久智根ニ向フ	前六時三十分ヨリ后六時十五分マテ屋久智根 ニ操業シサンゴ智根ニ向フ	前五時四十五分ヨリ后六時十分マテサンゴ智根 ニ操業后九時口永良部野崎鼻沖ニ泊	前四時三十三分全所發全六時五十分ヨリ后五時二 十八分マテ梅吉智根ニ操業ノ上鹿兒島ニ向フ	前二時十五分鹿兒島港着漁獲物賣却	后二時十五分鹿兒島港發全六時十五分山川港入 泊	同

同 二十一日	同 二十二日	同 二十三日	同 二十四日	同 二十五日	同 二十六日	計
曇北西四	曇北々西四	雨東三	雨東北東四	曇北東五	晴北北西三	
	ラ	▲	ウ			
至前七、三 至后六、五	至前七、三 至后六、五	至前六、四 至后五、七	至前七、三 至后六、五	至前七、三 至后六、五	至前七、三 至后六、五	
二六	二六	二六	二六	二六	二六	二九
二六、三東南東急	二六、三東南東急	二六、三東南東緩	二六、三東南東緩	二六、三東南東急	二六、三東南東急	
鯖	鯖	同	同	同	同	
サハ チカ	フ ハ チカ	フ カ	フ カ	マカ ジキ	マカ ジキ	サシ フ カ シ ヨ ウ ラ ビ カ キ
一三	一三	一	一	二六	二六	二六
二一七、三	二一七、三	二一七、三	二一七、三	二一七、三	二一七、三	八六、二
前九時二十分泊地登湯瀬ニ向ヒ后五時五十分ヨリ鯖釣り從漁 前五時五十分鯖釣り終了全所漂泊后六時二十分ヨリ鯖釣り開始三百七十尾ヲ得 前一時十分海瀬發全七時三十分操リ后六時〇五分マテサンゴ管根ニ操業全七時四十分口ノ島ニ假泊 前三時〇五分泊地發全六時四十五分ヨリ后五時〇七分マテサンゴ管根ニ操業后全所ニ漂泊 前七時十分ヨリ后五時五十分マテサンゴ管根ニ操業后九時四十分ヨリ海瀬ニ於テ鯖釣りシタルモ不漁 前二時二十五分全所發全五時五十分一湊入泊全八時五十分全所發鹿兒島ニ向フ后七時十分鹿兒島港着本試験終ル						

瀬魚延繩漁業試験

趣旨

本縣に於ける瀬魚延繩漁業は種子島、屋久島、口永良部島附近の底礁に限られ漁場の荒廢するものありて漸次七島方面に進出しつゝ、あり之を助長し七島南部より大島方面に及ぼさんとし前年度に引續き試験に着手せり

方法經過

試験船光洋丸は船長以下九名主任者一名乗組流シ延繩十七鉢を準備し昭和五年十二月十日より六年二月二十六日迄五航海をなし操業日數二十七日投繩數五百四十鉢にして瀬魚三千三百四十三尾價格一千五百三十圓九十九錢を得、天候順良なりしと好漁場を得たるとにより前年に比し三航海を増し漁獲に於て二千四百七十二尾價格七百七十六圓九十九錢を増加せり每航海の狀況左の如し

第一航海 十二月十日諸準備を整へ鹿兒島港發小寶島に向ひ十一日より十四日迄全島西部より西南部二湊附近に十五日全島北々東五湊沖會根

二十六日寶島荒木崎南東四湊の漁礁に出漁し十七日鹿兒島港歸着漁獲物賣却操業日數六日投繩數百十二鉢にして瀬魚三百六十四尾價格二百

十六圓を得

第二航海 十二月二十日鹿兒島港發川尻に至り餌柔魚釣りをなしたるも不漁にして二十一日全所發寶島に向ひ二十二、三日荒天のため全島假泊后二十四日より二十八日迄寶島南東四渚に從漁し二十九日鹿兒島港歸着漁獲物賣却操業五日投縄數百十九鉢にして瀬魚一千三十五尾價格四百六十九圓を得

第三航海 一月十一日鹿兒島港發寶島に至り十二日寶島南東四渚漁礁に出漁十三日荒天のため寶島に假泊十四日より十七日迄寶島南東四渚に操業十八、九日荒天にて瀬魚繩操業不能に付小寶島南東一渚にフカ繩を入れ二十日寶島南東漁場に瀬繩從漁の上二十一日谷山町着漁獲物賣却操業七日投縄百二十八鉢にして瀬魚六百六十八尾フカ十二尾價格三百十二圓を得

第四航海 一月二十六日鹿兒島港發全夜佐多岬竹之浦に於て餌柔魚釣りをなし九十尾を漁獲し二十七日全所發口永良部島に餌柔魚釣りをなしたるも不漁にして廿八日全所發寶島に至り二十九日より三十一日間寶島南東四渚に從漁二月一日より二日迄荒天寶島休泊此の間寶島東沿岸にフカ繩操業三日再び寶島南東四渚漁場に出漁し四日鹿兒島港歸着漁獲物賣却操業五日投縄九十四鉢にして瀬魚六百六十五尾フカ五尾價格二百十一圓を得

第五航海 二月八日鹿兒島港發餌柔魚釣りの爲め大泊に至りたるも荒天となり十日迄全所假泊十一日全所發屋久會根に於て餌バサ釣りに從漁不漁にて十尾を得寶島に向ひたるも再び荒天となり大島郡大熊に至り十四日迄避泊十五日全所發十六日より二十日迄寶島南東四渚に出漁后荒天となり大島に避航名瀬町に於て漁獲物賣却操業五日投縄數八十七鉢瀬魚五百九十二尾價格三百二十圓を得二十五日大島發途中横斷觀測を施行し二十六日鹿兒島港歸着本年度試驗を終了せり

試驗成績 本年試驗せるは小寶島及寶島近海にして各漁礁の狀態の其他に付調査せるもの左の如し

小寶島西部

前年來出漁せる礁にして小寶島南西より西二渚以内の島の根にして水深七、八十尋より百尋内外なり底質石花にして硬岩少なくマツタイ棲息多きも二三斤の小型にして南西部にはアカバラ、シロタイ、小アラ等混棲す

小寶島南東部

小寶島南東二渚附近にて底質石花及礫よりなり岩礁なく六十尋より百尋の深さにして石花の部分にマツタイ棲息するも少し

沖會根

小寶島北々東五湊にあり小さき礁にして淺所は十五尋内外操業區域は淺所の周リ八十乃至百尋の所にして底質硬岩急傾斜をなし急潮の場合操業困難なりアオマツタイ約十斤位大型なるも多からず其の他マツタイアラ、タバメ等棲息し魚体一般に大なり

寶島南東四湊

寶島南端荒木崎南東四湊附近全島の根にして水深五十尋乃至百尋底質石花なり礁面滑かにして繩の切斷する事殆なく八十乃至百尋深の沖合にはマツタイ多く魚体も大なり五十乃至七十尋の荒木崎より西方にはマツタイ、シロタイ、タバメ等混棲の状態にて第二航海以降殆ど本漁場に操業し好漁を爲したり

漁場別漁獲高左の如し

漁場	操業回数	延縄數	漁獲尾數	一鉢平均尾數	漁獲物種類
小寶島 西二湊	三五回	六三鉢	二二〇	三、四	マツタイ一二五、アカバラ一二、タバメ三五、アラ五、シロタイ二三、雜魚二〇
小寶島 南東二湊	半一回	五鉢	一〇	二	マツタイ九、シロタイ一
沖會根	五一回	一九鉢	七三	三、八	マツタイ四〇、タバメ九、ペンタイ二 アラ四、シロタイ一六、アカバラ二
寶島 南東四湊	二二回	四五三鉢	三〇二三	六、五	マツタイ二四三五、タイ四二八、アラ一六、 アカバラ五一、アオマツ一六、雜魚七七
計	一一三回	五四〇鉢	三三二六	六、〇	マツタイ二六〇九、タイ四六八、タバメ四四、アラ二五 アカバラ六五、アオマツ一六、雜魚九七、ペンタイ二

右表の如く一鉢（五〇本付）に得らるゝ平均漁獲尾數は寶島南東四湊漁場第一位にして六、五尾沖會根三、八尾小寶島西三、四全島南東二尾となり全平均は六、〇尾にして前年の三、三尾に比し約二倍に當る

餌料は初期は地サバ不漁のため朝鮮サバを用ひ後期屋久會根附近のサバを主とし佐多岬近海に於ける柔魚及大羽鰻を混用したるもマツタイを主目的とする七島漁場にはサバ最も適する如く初め氷藏に際し頭及内藏物を除去し腹部に少量の鹽を詰めたるに肉緊り餌持ち甚た良好なりき

漁業表

瀬魚延縄漁業

(昭和五年度 光洋丸)

月日	天候風力	漁場	漁具	漁具回數	使用鉢數	表面水温	潮流速度	餌料種類	水深	種類	獲物	摘
十二月十日 晴 西二		北々西 二	自前二、〇〇 至后六、〇〇	四	一九	三、五	北東緩	鯖	公群	マ ツ カ バ イ ラ イ	五〇	瀬魚延縄漁業試験ノタメ前九時二十分鹿兒島港發小寶島ニ向フ
同 十一日 曇 北々西 二		北々西 二	自前二、〇〇 至后六、〇〇	四	一九	三、五	北東緩	鯖	公群	マ ツ カ バ イ ラ イ	五〇	前六時發西二湊ニ操業后七時十分小室島假泊
同 十二日 晴 北一		北一	自前六、五〇 至后六、五〇	七	二五	三、五	北東緩	同	公	マ ツ カ バ イ ラ イ	二八	前六時發西二湊ニ操業后七時十分小室島假泊
同 十三日 曇 北々西 三		北々西 三	自前二、〇〇 至后二、〇〇	二	五	三、五	北西緩	同	七	マ ツ カ バ イ ラ イ	一九	前七時十分同所發同島南東二湊附近ニ操業荒天トナリ后零時十五分寶島ニ假泊
同 十四日 曇 北三		北三	自前〇、〇〇 至后六、〇〇	四	一九	三、四	緩	同	七	マ ツ カ バ イ ラ イ	二八	前七時三十分同所發東六湊ニ探礁シタルモ探シ得ズ小寶島西漁場ニ至リ操業后六時二十五分小寶島ニ假泊
同 十五日 曇 北三		北三	自前七、五〇 至后五、〇〇	五	一九	三、四	急	同	公	マ ツ カ バ イ ラ イ	二七	前七時同所發沖曾根ニ操業后七時〇五分小寶島假泊
同 十六日 曇 北々東 二		北々東 二	自前八、〇〇 至后三、〇〇	五	二五	三、二	北々西緩	同	公	マ ツ カ バ イ ラ イ	二五	前六時五十分同所發寶島南東四湊ニ操業后七時十分終漁鹿兒島ニ向フ
同 十七日 晴 五		五								雜 ア カ バ イ 魚	二二	前八時口永良部島ニ寄泊后一時二十分鹿兒島ニ向フ

同十八日	同十九日	同二十日	同廿一日	同廿二日	同廿三日	同廿四日	同廿五日	同廿六日	同廿七日	同廿八日	同廿九日	自同三十日 至一月十日	一月十一日	同十二日
雲北々西	雲北々西	雲北々西	雲北々西	雲北々西	雲北々西	雲北々西	雲北々西	晴西北西	晴北東一	曇南々西	曇北西二	自同三十日 至一月十日	雲北々西	雨北三
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
自前八、二〇 至后一、四五	自前七、四〇 至后五、一〇	自前七、二〇 至后四、四〇	自前七、一〇 至后三、三〇	自前七、一〇 至后三、三〇	自前七、一〇 至后三、三〇	自前七、一〇 至后三、三〇	自前七、一〇 至后三、三〇	自前七、一〇 至后三、三〇	自前七、一〇 至后三、三〇	自前七、一〇 至后三、三〇	自前七、一〇 至后三、三〇	自前七、一〇 至后三、三〇	自前七、一〇 至后三、三〇	自前七、一〇 至后三、三〇
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
二五	二六	二七	二九	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇
三、八南西緩	三、九南々西緩	三、〇東	三、八北東緩	三、八北東緩	三、八北東緩	三、八北東緩	三、八北東緩	三、八北東緩	三、八北東緩	三、八北東緩	三、八北東緩	三、八北東緩	三、八北東緩	三、八北東緩
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
マツダイ	マツダイ	マツダイ	マツダイ	マツダイ	マツダイ	マツダイ	マツダイ	マツダイ	マツダイ	マツダイ	マツダイ	マツダイ	マツダイ	マツダイ
一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇
前一時〇五分鹿兒島港着漁獲物賣却	前十一時四十分鹿兒島港發后四時二十四分川尻着イカ釣、從漁シタルモ不漁	前十一時四十分川尻發小寶島ニ向フ	后一時三十分寶島着	荒天ノタメ寶島ニ休泊	前七時十分寶島發寶島南東四湊ニ操業荒天トナリ后二時四十分寶島ニ假泊	前六時三十分泊地發寶島南東四湊ニ操業后五時五十分寶島ニ假泊	前六時三十分寶島發寶島南東四湊ニ操業后六時十分同島假泊	前六時三十分寶島發寶島南東四湊ニ操業后五時三十分同島假泊	前六時三十分寶島發寶島南東四湊ニ操業后五時三十分同島假泊	前六時三十分泊地發寶島南東四湊ニ操業后三時五十分終業鹿兒島ニ向フ	后五時三十分鹿兒島港着漁獲物賣却	鹿兒島港假泊	前十時鹿兒島港發寶島ニ向フ	前十時二十五分着寶島南東四湊ニ操業后五時十分寶島ニ假泊

同 十三日 曇西北 三	同 十四日 曇西北 三	同 十五日 晴西北 二	同 十六日 晴西北 二	同 十七日 曇西 二	同 十八日 曇西北 三	同 十九日 曇西北 三	同 二十日 晴西北 三	同 廿一日 晴北 一	同 廿二日 曇西 三	同 廿六日 曇西 三	同 廿七日 晴北々 三	同 廿八日 晴南東 二	同 廿九日 曇西北 三
ニ	ニ	ニ	ニ	ニ	ニ	ニ	ニ	ニ	ニ	ニ	ニ	ニ	ニ
自前 七、〇〇 至后 四、〇〇	自前 七、〇〇 至后 四、〇〇	自前 七、〇〇 至后 六、〇〇	自前 七、〇〇 至后 六、〇〇	自前 七、〇〇 至后 三、二五	自前 七、〇〇 至后 五、〇〇	自前 七、〇〇 至后 五、〇〇	自前 七、〇〇 至后 五、〇〇	自前 七、〇〇 至后 五、〇〇	自前 七、〇〇 至后 五、〇〇	自前 七、〇〇 至后 五、〇〇	自前 七、〇〇 至后 五、〇〇	自前 七、〇〇 至后 五、〇〇	自前 七、〇〇 至后 五、〇〇
四	四	五	四	五	五	五	五	五	四	四	四	四	四
二九	二九	二五	二〇	二五	二五	二五	二五	二五	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇
三、〇北々東緩	三、〇北々東緩	三、一南西緩	三、八北々東緩	二、八西緩	二、八西緩	二、八西緩	二、八西緩	二、八西緩	二、八西緩	二、八西緩	二、八西緩	二、八西緩	二、八西緩
鯖	鯖	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
マツタイ アカバライ	マツタイ アカバライ	マツタイ アカバライ	マツタイ アカバライ	マツタイ アカバライ	マツタイ アカバライ	マツタイ アカバライ	マツタイ アカバライ	マツタイ アカバライ	マツタイ アカバライ	マツタイ アカバライ	マツタイ アカバライ	マツタイ アカバライ	マツタイ アカバライ
二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九
三三、八	三三、八	三三、八	三三、八	三三、八	三三、八	三三、八	三三、八	三三、八	三三、八	三三、八	三三、八	三三、八	三三、八
荒天ニ付寶島休泊	前六時三十分泊地發寶島南東四渾ニ操業后五時同島假泊	前七時泊地發寶島南東四渾ニ操業后六時四十分同島假泊	前六時三十五分泊地發寶島南東四渾ニ操業后七時同島假泊	前六時三十分泊地發寶島南東四渾ニ操業后六時小寶島ニ假泊	荒天ノタメ瀨繩休業シ小寶島南東一渾ニ瀨繩操業	荒天小寶島休泊	前六時三十分小寶島發寶島南東四渾ニ操業后五時四十分終業鹿兒島ニ向フ	后六時三十分谷山港ニ寄泊	谷山ニ於テ漁獲物賣却シ后三時鹿兒島港歸着	鹿兒島港假泊	前九時四十五分鹿兒島港發后二時五十分佐多着夜竹ノ浦沖合ニ於テイカ釣リシタルモ不漁	前十時三十分大泊發后四時口永部良島ナマカマ浦ニ着夜イカ釣リシタルモ不漁	前七時口永部良島發寶島ニ向フ后八時同島若前八時二十分泊地發寶島南東四渾ニ操業后六時寶島假泊

同十六日晴西三	同十七日曇北三	同十八日曇北三	同十九日雨北々東二	同二十日曇北東三	同廿一日雨北東三	同廿二日曇北四	同廿三日曇北々四	同廿四日曇北西四	同廿五日曇北二	同廿六日曇北一	計
＝	＝	＝	＝	＝	＝	＝	＝	＝	＝	＝	
自前七、〇〇 至后二、〇〇	自前七、〇〇 至后四、三〇	自前七、〇〇 至后二、二〇	自前七、〇〇 至后四、三〇	自前七、〇〇 至后一、二〇							
三	四	四	五	三							一一三
二五	一九	二六	二四	二三							五四〇
二、五南西急	二、六南急	二、五南急	三、八南急	三、〇北急							
鯉鯖	同	同	同	同							
マツタイ アカバライ	マツタイ アカバライ	マツタイ アカバライ	マツタイ アカバライ	マツタイ アカバライ							
一八七四	九〇	一八三	二〇三	一五五							二六〇九 五三〇 六三〇 二五 一九七
前六時三十分寶島南東四渾漁場着后十二時四十分マデ操業荒天トナリ后二時寶島ニ假泊	前六時五十五分泊地發寶島南東四渾ニ操業后五時十五分寶島ニ假泊ス	前六時五十分泊地發寶島南東四渾ニ操業風強ク操業不能トナリ后三時十五分寶島ニ假泊	前六時三十分泊地發寶島南東四渾ニ操業后五時五十分寶島ニ假泊	前六時五十分泊地發寶島南東四渾ニ操業荒天トナリ后一時十分終業大島ニ向フ后九時西古見着	前五時三十分泊地發大熊ニ向フ 同九時五十五分着	荒天ニ付大熊休泊 同 前	名瀬町ニ至リ漁獲物賣却荒天大熊休泊	前八時四十五分大熊發大島開岬間横斷観測施行	后五時二十五分鹿兒島港歸着本試験ヲ終了ス		一、五三〇圓 充圓

トンボ鮪延縄及鯖釣漁業試験

五四

趣旨 縣下漁船にして冬期土佐沖トンボシビ延縄漁業に出漁するものは年々多きを加へつゝあり一方本縣沖合に於てトンボシビは鯉釣り及大シビ延縄に混獲さるゝも未だ専用の漁具を使用せるもの無きを以て本場にては昨年より引續き之れが試験に着手し併せて未だ民間船の多く出漁せざる屋久新曾根及ドンコ曾根附近に於けるサバ一本釣り漁業に付調査せり

經過成績

試験船光洋丸に船長以下九名と主任者一名乗組み漁具は前年に同じきもの二十三鉢とサバ兩天秤釣り十組を準備し昭和五年三月十四日より同年六月二十三日迄五航海をなしシビ三尾カジキ一尾サバ三千六百六十四尾價格二百七十二圓を得たり每航海の狀況左の如し

第一航海 三月十四日鹿兒島港發荒天のため山川港休泊后十七日開聞岬屋久島間横斷觀測をなし十九日屋久新曾根に出漁晝間サバ延縄夜間一本釣をなしたるも漁獲を見ず荒天となり口永良部島に休泊二十三日梅吉曾根に二十六日屋久曾根にサバ釣りを試みたるも海水濁濁し海況不良にしてサバ三十尾を得たるのみにて不漁に終り二十七日鹿兒島港歸着

第二航海 四月四日鹿兒島港發谷山にて餌料鱈を求め七日屋久新曾根にサバ釣りしたるも漁獲なく八日口ノ島南東微東四十三裡にトンボ繩投繩シビ二尾を得たるのみにて後荒天のため十六日まで種子島熊野浦に避泊十七日屋久島黑崎鼻南東微南三十裡に十八日全南微東二分ノ一東三十三裡にトンボ繩操業したるもトンボを得ず十九日鹿兒島港歸着シビ三尾カジキ一尾價格七十五圓を得

第三航海 四月二十二日鹿兒島港發荒天のため川邊郡泊に休泊后二十八日三十日梅吉曾根に五月一日二日ドンコ曾根三日梅吉曾根にサバ釣り從漁後荒天となり六日まで口永良部島に休泊し七日ドンコ曾根に八日三方曾根に出漁せるも海況惡しく不漁に終り九日鹿兒島港歸着サバ五百八十八尾價格三十三圓を得

第四航海 六月一日まで機船底曳網漁業取締に出動后全七日鹿兒島港發八、九日屋久曾根にサバ釣りし海況好調にして好漁となりサバ二千三百八十一尾を漁獲し種子島熊野浦に於て賣却價格百二十五圓を得十日三方曾根に出漁せるも不漁にして十一日鹿兒島港歸着

第五航海 六月十二日鹿兒島港發全夜三方曾根にサバ釣りせるも不漁にして荒天のため十六日まで一湊休泊后十七日十八日屋久曾根に出漁薄漁にしてサバ六百三十五尾を漁獲し十九日熊野浦に至り漁獲物賣却價格三十八圓を得荒天のため同港休泊后二十二日鹿兒島港歸着本航海を以て試験を終了せり

以上期間中トンボ繩操業は四月中旬屋久島南東沖合に僅か二、三日にしてシビ及カジキを得たる外トンボの漁獲を見ず當時水溫二十三度より

二十三度五分を示し之を土佐沖該漁業の海況に比較すれば漁期稍々遅れたる感あり然れども此の期七島沖合鯉漁業に於てトンボシビ混獲されつゝある以て同海區の出漁を望みたるも天候及船繰の都合上操業し得ざりしは遺憾とする所にして今後の試験に俟つべく、屋久新會根及ドンコ會根に於けるサバ釣り試験は屋久新會根出漁は二日にして漁獲を見ずドンコ會根出漁は四日にして初め三日は海況不良にして何れも漁獲を見ざりしも水温上昇と濁り去りしと共に漁獲あり大型サバ四十尾を得其の棲息を認めるたり因に屋久會根三方會根梅吉會根に於け本縣下該漁業は近年稀なる凶漁に終れり各漁業位置に於て下層水温を調査せるもの左の如し

月 日	觀 測 位 置	種 漁 類 業	水 温					漁 獲
			表 面	二五米	五〇米	一〇〇米	一五〇米	
三月十九日	屋久新會根	サバ釣り	二一、五	二一、五	二〇、九	二〇、五	一九、一	ナ シ
全 二十二日	ドンコ會根	全	一七、四	一六、八	一六、六	一六、四	一五、〇	ナ シ
全 二十三日	梅吉會根	全	一九、〇	一八、七	一八、五	一七、五	一六、〇	ナ シ
全 二十六日	屋久會根	全	一九、〇	一八、〇	一八、〇	一七、六	一六、五	サバ三〇尾
四月七日	屋久新會根	全	二三、四	二三、三	二二、五	一九、五	一九、〇	ナ シ
全 八日	口ノ島南東 微東四三哩	トンボ繩	二三、〇	二三、〇	二二、五	二一、五	二〇、七	シビ二尾
全 十七日	屋久島南東 微南三十哩	全	二三、五	二三、五	二三、〇	二二、五	二〇、七	カジキ一尾
全 十八日	屋久島南微 東二分(東三三哩)	全	二三、八	二三、五	二三、五	二二、〇	二〇、七	ナ シ
全 二十八日	梅吉會根	サバ釣り	二一、二	二〇、九	一九、九	一七、七	一七、〇	ナ シ
五月一日	ドンコ會根	全	二一、一	二〇、五	二〇、六	一七、六	一五、七	ナ シ
全 二日	全	全	二一、〇	二〇、五	一九、五	一七、〇	一六、〇	ナ シ
全 三日	梅吉會根	全	二一、七	二一、〇	一九、五	一七、〇	一六、五	サバ二〇三尾
全 七日	ドンコ會根	全	二三、九	二三、七	二一、七	二〇、一	一四、六	全 四〇尾
全 八日	三方會根	全	二〇、五	二〇、一	一九、二	一七、二	一五、七	全 一五〇尾
六月九日	屋久會根	全	二五、〇	二五、〇	二四、七	二〇、〇		全 一、三五〇尾
全 十日	三方會根	全	二三、〇	二二、〇	二一、九	二〇、〇		全 三〇尾
全 十七日	屋久會根	全	二五、七	二五、四	二四、五	二三、三		全 四二〇尾
全 十八日	全	全	二六、〇	二五、八	二五、四	二四、八		全 二一五尾

漁業表

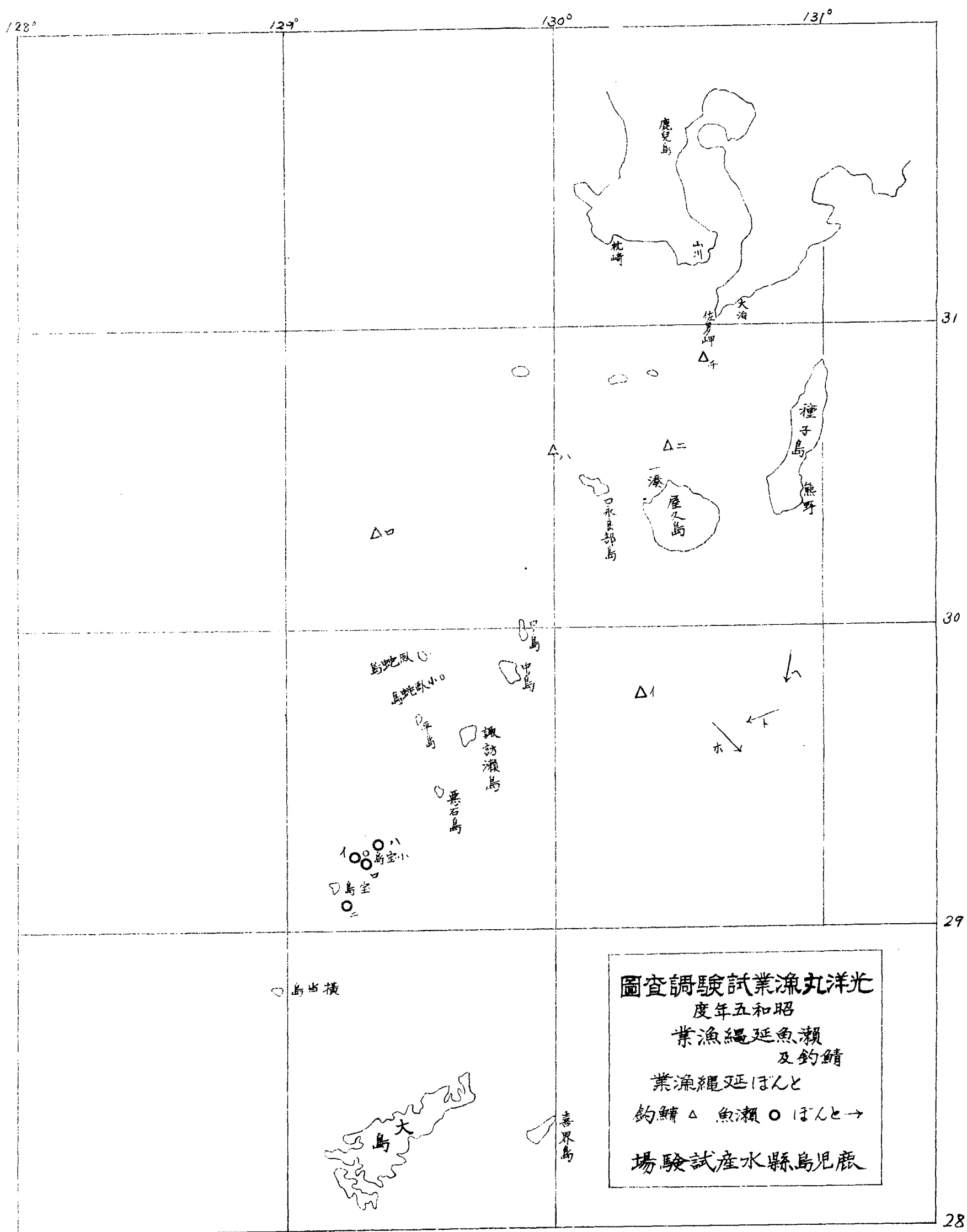
トンボ鮪延縄及鯖釣り漁業試験

光洋丸

五六

月	日	天候	風向	漁場	漁具	使用時間	使用釣数	水面	潮向	速	餌料	種類	尾数	價格	物	記	事
三月	十四日	晴	西	二													后三時二十五分鹿兒島港發后七時山川港入泊
同	十五日	曇	西	南	西	三											荒天山川港休泊
同	十六日	曇	北	西	三												前八時三十分山川港發橫斷觀測ニ向ヒタルモ荒天ノタメ不能ニ付后一時〇五分大泊入泊
同	十七日	晴	西	北	西	二											前六時五十分大泊發橫斷觀測施行ノ上后五時口永良部島着
同	十八日	晴	北	西	三												口永良部島假泊
同	十九日	雨	東	二	イ												前五時三十分口永良部島發屋久新曾根ニ向フ后二時二十分ヨリ后八時マテ鯖延縄及鯖釣りシタルモ不漁口永良部ニ向フ
同	二十日	晴	北	東	三												前八時十分口永良部島着假泊
同	二十一日	晴	北	東	三												荒天口永良部灣休泊
同	二十二日	晴	北	東	二	ロ											前六時十五分泊地發后四時五十分ヨリドンコ曾根ニ鯖釣り操業シタルモ不漁
同	二十三日	曇	東	二	ハ												前六時終漁シ漂泊后三時四十分始動梅吉曾根ニ向フ同六時四十五分ヨリ鯖釣り從漁同九時荒天ノタメ同所發口永良部ニ向ヒ同十一時五十分着
同	二十四日	雨	北	東	三												荒天口永良部休泊
同	二十五日	晴	北	東	三												荒天口永良部休泊
同	二十六日	晴	南	東	二	ニ											后三時四十分口永良部島發后七時ヨリ屋久曾根ニ於テ鯖釣り從漁シタルモ不漁
同	二十七日	曇	南	東	二												前〇時十分終漁シ鹿兒島ニ向フ前六時十分ヨリ同十時マテ伊座敷ニ寄泊シ石取りシ后三時四十分鹿兒島港歸着

同二十九日	雨南西三	ハ	自前八、〇〇 至前八、〇〇	鯖釣り	三、七東	緩	同	サバ	一九五	二、二〇	前四時五十分終漁シ口永良部島ニ向ヒ同七時〇五分着 后四時十五分口永良部島發中ノ曾根ニ向ヒタルモ瀬ヲ 探シ得ズ梅吉曾根ニ向ヒ同十一時三十分着鯖釣り從漁
同三十日	晴北二	ハ	自前八、〇〇 至前八、〇〇	同	二、二北々東緩	同	同	サバ	一九五	二、二〇	前八時終漁ドンコ曾根ニ向フ后六時四十分ヨリ鯖釣り 從漁シタルモ不漁
五月一日	曇北一	口	自前六、〇〇 至前六、〇〇	同	二、一東	急	同	サバ	二〇三	二、一五	前七時終漁同所ニ漂泊后六時四十分ヨリドンコ曾根ニ 鯖釣りシタルモ不漁后二、三十分同所發口永良部島向フ
同二日	晴北三	口	自前六、〇〇 至前六、〇〇	同	二、七北東急	同	同	サバ	二〇三	二、一五	七時同島着漁却物賣却前四時三十分同所發梅吉曾根 ニ向ヒ后六時四〇分ヨリ鯖釣り從漁
同三日	晴東三	ハ	自前六、〇〇 至前六、〇〇	同	二、九南西緩	同	同	サバ	二〇三	二、一五	前四時五十分漁場發同七時十分口永良部着漁獲物賣却 荒天口永良部島休泊
同四日	曇南三		自前六、〇〇 至前六、〇〇	同	二、五東	緩	同	サバ	二〇三	二、一五	前七時五分ドンコ曾根發三方曾根ニ向フ后六時四十五 分着鯖釣り從漁
同六日マデ	晴北々東 二	口	自前六、〇〇 至前六、〇〇	同	二、五東	緩	同	サバ	二〇三	二、一五	前〇時十五分終漁シ鹿兒島ニ向フ同六時四十五分歸着 漁獲物賣却
同七日	晴東二	チ	自前六、〇〇 至前六、〇〇	同	二、五東	緩	同	サバ	二〇三	二、一五	機船底曳網漁業取締リノタメ出動
同八日	雨南東二		自前六、〇〇 至前六、〇〇	同	二、五東	緩	同	サバ	二〇三	二、一五	前十時〇七分ニ鹿兒島港發后一時五十五分山川港入泊 シ船底掃除ヲナス
同九日	曇西北西		自前六、〇〇 至前六、〇〇	同	二、五東	緩	同	サバ	二〇三	二、一五	前六時五十分山川港發橫斷觀測ノ上后七時二〇分ヨリ 屋久曾根ニ於テ鯖釣り從漁
同十日	雨南東二	ハ	自前六、〇〇 至前六、〇〇	同	二、五東	緩	同	サバ	二〇三	二、一五	前四時二〇分終漁シ同七時二十分種子島熊野浦ニ着漁 獲物賣却后二時五〇分同所發同六時五十分ヨリ屋久曾 根ニ於テ鯖釣り從漁
同十一日	曇東二	チ	自前六、〇〇 至前六、〇〇	同	二、五東	緩	同	サバ	二〇三	二、一五	前二時五十分漁場發同五時三十五分熊野浦着鯖實却后一 時二十五分同所發同八時三十分曾根着鯖釣り從漁シタル モ不漁



同	十一日	雨 東二								前一時二〇分終漁シ鹿兒島ニ向フ同七時三十五分歸着
同	十二日	晴 東二	チ	自后七、五 至后九、三	同	二五、三	北 東 急	同		后一鹿兒島港發ニ方曾根ニ向フ同七時三十五分着鯖釣りシタルモ不漁ニ付同九時三十分發屋久曾根ニ向フ
同	十三日	雨 東三								前十二時十分屋久曾根ニ着キタルモ荒天トナリ操業不能ニ付一湊ニ向ヒ同五時十分同所入泊
同	十五日マデ									荒天一湊休泊
同	十六日	雲 西三								后七時一湊發屋久曾根ニ向ヒタルモ風強ク引返シ后七時三十分同所入泊
同	十七日	晴南東二	ニ	自后八、〇〇 至前三、四	同	二五、三	北 緩育黒鱈	サバ	四〇〇	后七時一〇分一湊發后八時ヨリ屋久曾根ニ於テ鯖釣從流
同	十八日	雨 西二	ニ	自后八、〇〇 至前二、〇〇	同	二五、三	南 緩	サバ	二五	前三時四十五分終漁シ同八時十分熊野浦着鯖賣却シ后三時同所發同八時十分ヨリ屋久曾根ニ於テ鯖釣り
同	十九日	晴北西三								前二時終漁シ同八時熊野浦着鯖賣却荒天ニテ同所休泊
同	二十日	雲南西四								荒天熊野浦休泊
同	二十一日	晴南西四								后十時五十分同所發鹿兒島ニ向フ
同	二十二日	雨南西三								前十一時四十分鹿兒島港歸着本試験ヲ終了ス
合 計								サバ シビ カジキ	三、六六四 三 二七三、九五	

製造部

六〇

鯉節製造試験及傳習

鯉漁業の漁獲物は鮮魚の儘消費せらるゝ事なく盡く鯉節製造に供せられ年額五百萬圓餘りに達し各府縣の主位を占め其産額の大を誇り得らるゝも從來薩摩節の欠點と認めらるゝは外觀を輕視し徵付は考慮せられず從て製造工程中主要なるべき煮熟及焙乾操作に於て稍々粗放に流るゝ傾ありて品質の低下を招けり爲めに最大消費地なる東京市場に於ては駿遠節の次位に居り其他は地方賣となれり本場は夙に此れが改善に着手し駿遠節の長所を採り入れ製品の改良を圖り當業者と共に多年努力したる結果著しく其聲價を高め各市場共其優良品なるを認めらるゝに至れり而して此れが改善整備の徹底を期するには從來職工技術の熟達習練に待つこと多きを以て本場は附屬川邊郡枕崎町鯉節製造工場に傳習生男子十八名を採用し昭和五年四月一日より七月三十一日迄滿四ヶ月間に亘り鯉節製造傳習を行へり

又同時に製造傳習の充實を期し供試原料を豊富ならしめ一面改良製造の有利なる事を明瞭ならしむる爲め當業者濱崎十五郎氏と共同して試験をなし傳習終了後の製品は適當なる販賣時期を待ち賣却する事とせり、即ち供試原料は一萬八千七百五十二斤七合にして尾數中版千三百九十三尾價格四千八百九十圓三十二錢にして傳習の傍共同製造を爲せり技術教師二名は靜岡縣燒津町より採用し實地指導に當らしめ其他三名の職工を雇傭し傳習生と共に製造に従事せしめたり

製了品は六百二十二貫百二十匁九千五百六十六本にして傳習終了に際し徵付箱に收容して保管し販賣時期を待てり傳習終了者氏名左の如し

茶屋道興作、茶屋清志、折口一美、大重滿、神園進、上木原保、上木原重義、上木原正市、田中重盛、姥直吉、上釜正春、山下晁、山崎覺藏、酒匂澄盛、下木原繁二、下木原初男、森季武

本傳習終了生は茶屋彦志工場二名今井嘉市工場三名濱崎十五郎工場一名橋口加藤次工場二名採用せられ爾後製造工として勤務しつゝ有り越へて翌年二月に至り製品の賣却を了せしに本節大四百八十貫小節及傷物は五十九貫五百匁にして最高十貫百二十二圓最低百十七圓に仕切られ六千百三十四圓二十錢外に削粉其の他の副産物は百三十二圓二錢ありて總收入金六千二百六十六圓二十二錢收得せり之れに對し總支出金は五千九百四十三圓にして差引利益金三百二十三圓二十二錢ありたり

鹿兒島實驗所製造試験

擔當技術員に故障ありて試験を爲すを得ざりき

阿久根製造場製造試験

本年同場にて施行せるは鱈丸乾、鱈末廣乾の二種なり

趣旨 本縣内鱈の漁獲は六十萬圓余りに達し製造せらるゝは主として鱈節及煮乾等にして其他鹽鱈として多少製造せられ需要あるも鹽味過度に失し一般の嗜好に副はず之が利用改良の必要あるを認め調味品として鹽味適度なる乾製品とし販路を開拓する爲め本試験を行へり

鱈丸乾製造試験

經過 昭和五年十月十一月中三回供試原料二石九斗を用ひ試製試験を行へり

製造方法 立鹽漬にして即ち四斗樽中に原料を收容し鹽味は海水及三等鹽を用ひ原料一斗に對し一升の割合にて三等鹽を散鹽し清滌なる海水を樽中に注ぎ浸漬し約一時間を限度として靜置し後順次に樽中より取出し竹串を以て吻刺とせり多脂質のものは選別して尙二時間鹽漬し鹽味の浸透を均一ならしめ而して吻刺とせり斯くして豫め用意せる半切桶中に清水を充し洗滌して表面の鹽及汚物を除去し乾棚に掛けて日乾及風乾を行ひ乾了せり

試賣 生産品は二十七貫七百匁にして當地當業者に賣却し販路を求めしめたるに百匁五錢にて販賣せられたり

又十二月中間催せる縣水産會即賣品評會に出陳し百匁八錢にて賣却せるに直ちに賣盡せり當時各地方の相場を調査せしに比較的高價なりしも不漁にして充分の原料を得られず廣く試賣し得られざりしを遺憾とす

鱈末廣乾製造試験

經過 末廣乾は一般の嗜好に應じ其利用法として適切なるものにして昭和五年十月十一月中にて四回鱈三石を原料とし製造を行ひ製品二十四貫九百匁を生産せり

試賣 製品は各地に試賣し販路の開拓に資し京都中央市場大阪榎重商店名古屋水産市場に販賣せしに本年は財界不況の影響を受けて製品の價格著しく下落し京都は十貫五圓七十錢大阪は六圓四十錢名古屋は七圓六十錢の手取にして極めて低廉なりき其他の製品は縣水産會主催即賣品評會にて百匁入袋を一個二十五錢にて試賣せしに盡く賣却し極めて良好なりき

養殖部

小鮎移殖試験

趣旨 本縣山川町地内の鰻池に多産する小鮎を縣下各河川殊に水力電氣堰堤及瀑布にて鮎の遡河を阻止せられたる河川の上流に移殖するを目的として本試験を施行せり

方法經過 鰻池産越年せる小鮎(平均体重三匁、平均体長一寸)を地曳網にて捕獲し生洲内に一週間畜養したるものをフォード客車内に設備せる帆布製水槽(長サ三尺、高サ二尺八寸、巾二尺六寸)に收容し氷を使用し水槽内の水温を低温に保ちつゝ始良郡東襲山村霧島川(流程二里四丁)迄輸送せんとしたり

四月十三日午前八時三十分小鮎畜養現場の十八度五分の水温を示せる池水を自動車内水槽に八分目入れ此れに氷片を浮上せしめ漸次水温を下し十五度二分に至りて小鮎を收容し初めたり收容尾數千七百五十尾にして午前十時出發せり運搬途中は常に水温を十度内外に保持せしめんが爲に積載せる氷片を水槽内に投入れて水温の調節に務めたり午后二時頃より水槽破損し漏水甚しき爲約二斗余の水を五回注入したり

輸送途中に於ける水温酸素含有量變化

水 温		酸素含有量 (攝氏零度氣壓七六〇耗)	
午前	十一時	一四、八度	一立中 三、九立方糎
	十二時	八、〇度	
午後	一時	九、一度	
	二時	一一、三度	
	三時	一三、〇度	
	四時	一三、四度	
	五時	一三、八度	五、四一立方糎

午后五時放流場所たる東襲山村に到着直ちに霧島川に放流せり輸送途中斃死十尾を見たり

備考 霧島川水溫十八度三分を示し水槽内と四度五分位の差異を示せるが放養鮎は少しの變化をも見せざりき
其後二ヶ月經過したる六月十三日此れが經過を調査せるに分布區域は三六〇〇坪に及び一尾の増肉量は一ヶ月六匁即ち此の時に於て一尾一五匁に成長せり

調 査 部

鰻 回 游 調 査

趣旨 鰻回游の方向及時期は鰻漁業と密接なる關係あるを以て標識放流に因り其の方向時期成長度を明かにせんとし前々年より着手し本年も繼續施行せり

但し漁況不振の爲放流尾數の充分ならざりしは遺憾なりき

放流經過成績 本年度放流のもの左の如し

放 流 月 日	放 流 場 所	放 流 尾 數	標 識 番 號
昭和五年十一月十二日	肝屬郡佐多村 大泊沖合釣出會根	四 尾	D ㊦ 三八、五五、五六、五七
昭和五年十一月十八日	川邊郡笠砂村 野間池阿寶會根	三 尾	D ㊦ 五九、八〇、八三

前記放流鰻は本年中に再捕されたるものなし
先年度放流鰻中左の一尾の再捕を見たり

小鮎移植試験、鰻回游調査

以上の外縣外にて放流したるものにて本縣下に回游し再捕せられたるもの左の二尾ありたり

標識番號

放流場所 川邊郡笠砂村野間池阿寶會根
〃 月 日 昭和四年十一月一日

D 五〇

再捕場所 放流場所ト全ジ
〃 月 日 昭和五年十二月末日

標識番號

放流場所 長崎縣五島瀧河原瀬戸

九八

再捕場所 薩摩郡甕島里村前ノ會根
〃 月 日 昭和五年十二月二十日

備考 回游距離九十五哩

標識番號

放流場所 長崎縣西彼杵郡野母崎南西十六湊ノ地點

一〇

再捕場所 川邊郡枕崎町沖合阿知會根
〃 月 日 昭和六年一月五日

海洋觀測

本調査は海の性狀を究明し魚族の移動回游産卵等の研究資料に供せんとするものなり、從來施行せるは鹿児島灣内定點觀測と開聞岬、屋久島間の横斷觀測なりしが黒潮の消長を窺知するには尙不充分なる故本年八月より更に此れを擴張し屋久島永田燈台より奄美大島笠利崎に至る線を觀測せり

一、開聞岬屋久島間横斷觀測

(一) 三月中

水溫

十六度線は開聞岬に近く百米以深に現はれ四十五度の傾斜をなして開聞岬を去る十哩點にて百五十米以下に没入す、十八度線は

屋久島北方十五哩點表層より垂直的に各層を貫き深部に達せり

比重

各層共 二六、〇〇内外にて開聞岬據りに二六、〇〇等比重線の垂直状態を見る

(二) 六月中

水温

三月中表層に現はれし十八度線は今月に於ては百五十米以深の深部に横り表層は二十三度前後の高温にて覆れる

(三) 八月中

水温

六月中より一般に四度の高温なるも平年全期に比較すれば二度の低下を示す平年に於て表層より五十米水深間に現はれし二十八度線は本年に於て二十六度の等温線に入れ代れり

比重

上下層共低比重を示し六月上旬五十米乃至百米間に見たる二五、七〇の高比重水は観測線中央の下層に多少其の存在を見るのみ

二、屋久島奄美大島間横斷観測

(一) 八月中

水温

二十八度より二十八度四分の表面水帯は中ノ島沖合まで極めて表面のみに限らる諏訪瀬島東方沖合にて一時消失し全島東南沖合に於て再び出現す該水帯の厚さは南下と共に増大し寶島東南東沖合にては三十米の深さに達し大島新曾根東南東沖合にて其の厚さを著しく減少し南下と共に増大せり

二十四度線は屋久島南方五十米下に現はれ南下するに従ひ其の深度を増し惡石島東南東沖合にては百五十米の深さに達し南下と共に深度を減少し笠利崎北方沖合にては百二十米深さ迄浮上す即ち百五十米層に於ては諏訪瀬島、惡石島間沖合の水温は他の部分の水溫に比し最も高位を示す事となる

比重

等比重線分布は比較的順調に存在し諏訪瀬島及び小寶島東方沖合の二ヶ所の下層部は最も高く二五、七〇線は百米より七十五米

の深さ迄浮上し 表層は二五、二〇以下の低比重帯を以て被はれ開聞岬、屋久島間と全一状態を示す

(二) 十一月中

水溫

表層は八月中より三度の低下を示し中層は略全様下層百五十米附近は黒潮の衰退と共に漸次其の型を變す即ち屋久島南方二十湊點に於ては八月中より四度の高溫を示し二十四度線を書き惡石島南方十五湊大島北方二十湊の二點下層部に於ては八月以來現はれざりし

二十三度線が漸次擡頭しつゝあり

比重

屋久島據りが一般に高比重にて二五、七〇前後を示し大島沖は二五、三〇附近を示せり

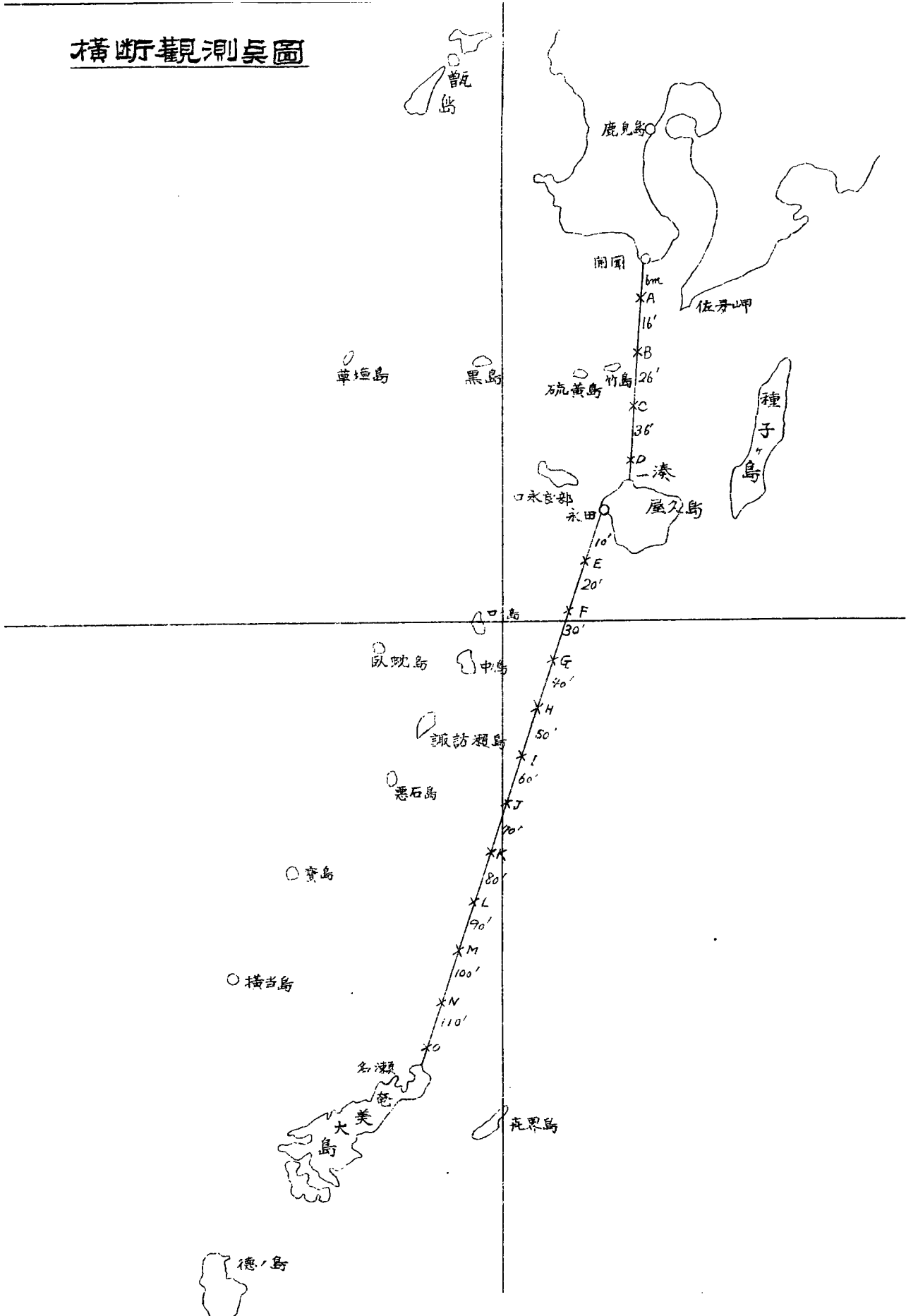
自開聞岬至屋久島一湊及ヒ自屋久島永田燈台至大島笠利崎横斷観測表

月 日	時分	場所	氣温 氣壓	水 温 及 比 重					透明度 (M)	流向	風向力	雲量	天氣
				表面	25米	50米	100米	150米					
3, 17	8.25 A.M	A	12.7 765	17.5 25.79	17.8 25.69	17.7 26.02	16.4 26.20	15.3 26.26	19	E	NNW 2	2	B
"	10.30 A.M	B	12.5 764.5	17.9 25.78	17.9 25.80	17.9 25.78	17.6 26.76	16.7 25.68	15	E	NW 2	5	B
"	0.00 P.M	C	13.7 764.5	17.8 25.57	18.0 25.46	18.0 25.86	17.5 25.73	16.7 25.78	15	NE	WNW 2	4	B
"	1.30 P.M	D	14.3 764	18.2 25.71	18.3 25.78	18.2 25.71	18.4 25.71	18.3 25.83	16	NE	WNW 2	5	B
6, 8	8.30 A.M	A	20.3 762	22.7 25.52	22.4 25.38	20.3 25.68	18.0 25.68	17.8 25.95	22	E	NNE 2	10	C
"	10.00 A.M	B	22.5 760	22.6 25.52	22.4 25.58	19.6 25.61	18.5 25.68	15.7 25.88	22	ESE	E 1	10	C
"	11.30 A.M	C	23.2 760	23.2 25.32	23.1 25.35	20.5 25.58	19.0 25.68	19.2 25.71	26	NE	E 1	10	C
"	1.00 P.M	D	22.7 762	23.0 24.87	22.8 25.39	22.0 25.48	21.0 25.48	20.1 25.58	25	NE	NE 1	10	C
6, 20	2.40 P.M	A	30.2 756.5	27.9 24.73	26.6 25.04	22.5 25.32	18.2 25.63	22.2 25.23	28	E	SW 2	2	P
"	4.30 P.M	B	29.0 756.5	27.6 24.86	27.0 24.99	23.9 25.46	20.5 25.69	20.5 25.79	30	E	SW 2	2	B
"	6.15 P.M	C	28.2 756.5	28.0 24.79	27.5 24.99	25.9 25.09	18.7 25.76	18.9 25.58	30	E	SW 2	2	B
"	7.04 P.M	D	27.5 756.5	27.5 25.09	26.9 25.09	25.2 25.26	19.9 25.59	18.5 25.69		NE	NW 1	0	B
8, 21	9.00 A.M	E	28.1 756.5	28.0 25.17	27.2 24.78	24.0 25.47	20.5 25.67	17.9 25.51	32	NNE	SSE 3	5	B
"	11.30 A.M	F	29.5 757.0	28.0 24.91	26.1 25.01	22.2 25.44	20.7 25.84	18.8 25.57	30	NE	SSE 3	4	B
"	1.30 P.M	G	27.1 756.5	28.3 25.04	27.1 25.08	25.7 25.33	22.5 25.58	20.9 25.61	30	NE	S 2	4	B
"	3.45 P.M	H	28.9 757.0	28.0 25.04	26.8 25.24	26.2 25.23	23.5 25.38	20.0 25.68	30	E	S 3	4	B
"	6.00 PM	I	28.7 756.5	27.9 25.17	27.7 25.33	25.3 25.63	22.9 25.70	21.1 25.83	27	NE	S 3	4	B
"	8.20 P.M	J	27.6 756.5	28.3 25.21	27.5 25.50	26.0 25.63	24.6 25.63	22.5 25.74		NE	S 3	3	B
"	10.25 P.M	K	27.6 756.5	28.0 25.11	28.0 25.23	26.0 25.43	25.1 25.43	24.4 25.68		NE	S 3	3	B
82, 2	0.30 A.M	L	27.5 757.0	28.2 25.17	28.2 25.48	27.1 25.47	24.5 25.87	23.2 25.80		NE	S 3	4	B
"	2.30 A.M	M	27.8 757.0	28.4 25.21	28.4 25.18	26.3 25.57	25.3 25.87	23.4 25.73		NE	S 3	3	B
"	5.00 A.M	N	27.8 757.0	28.2 25.31	26.9 25.01	26.4 25.78	25.3 25.68	23.3 25.74		NE	S 3	5	B
"	7.20 A.M	O	27.2 757.0	28.6 25.34	28.5 25.26	27.4 25.50	24.6 26.02	22.9 26.19		NE	S 3	4	B
11, 7		E		24.9 26.09	24.9 25.65	24.7 25.62	24.8 25.73	23.5 25.99					
		F		24.9 26.47	24.9 25.57	24.9 25.97	24.8 25.67	23.5 25.92					
		G		25.0 25.60	25.0 25.71	24.6 25.73	23.8 25.82	23.9 25.88					
		H		25.3 25.69	25.3 25.59	25.3 25.69	24.9 25.75	24.7 25.65					
		I		25.3 25.69	25.3 25.59	25.3 25.59	24.3 25.59	23.2 25.62					
		J		25.1 25.49	25.1 25.49	25.1 25.49	24.8 25.52	24.1 25.65					
		K		25.1 25.49	25.1 25.49	25.1 25.92	25.1 25.55	22.8 25.76					
		L		25.4 25.49	25.1 25.52	25.0 25.42	24.0 25.68	23.2 25.61					
		M		25.4 25.42	25.4 25.39	25.3 26.02	25.2 25.39	23.8 23.29					
		N		25.4 25.34	25.4 25.42	25.4 25.44	25.3 25.12	22.0 25.56					
		O		25.1 25.26	25.1 25.12	25.1 25.33	25.0 25.30	24.6 25.19					

横斷觀測圖

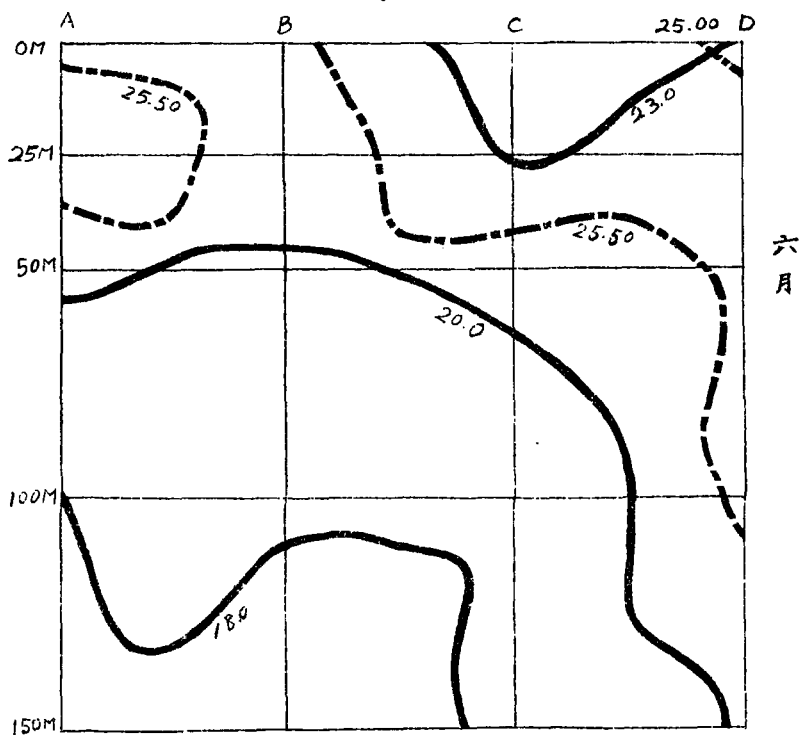
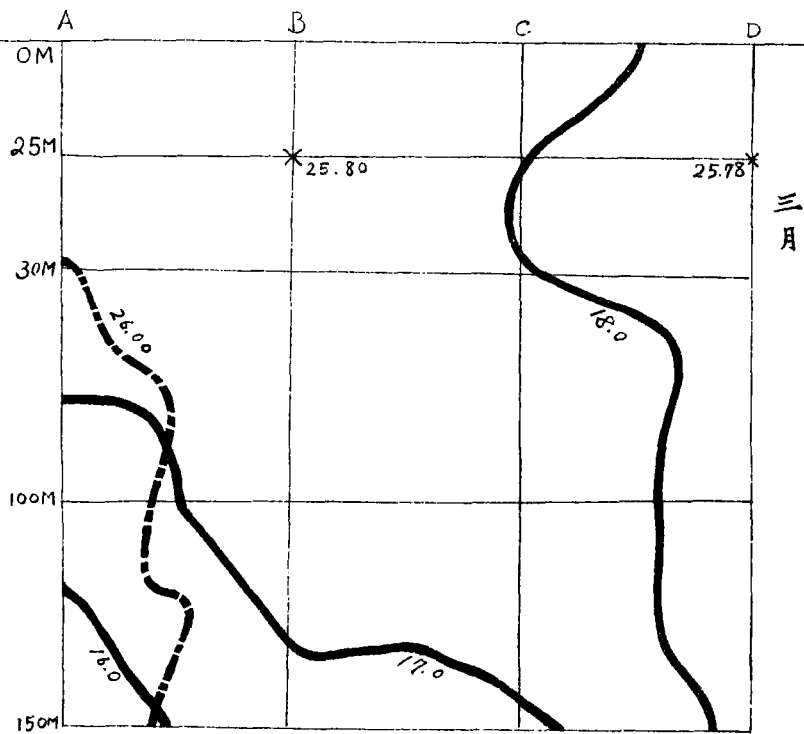
(自昭和五年三月至全年拾一月)

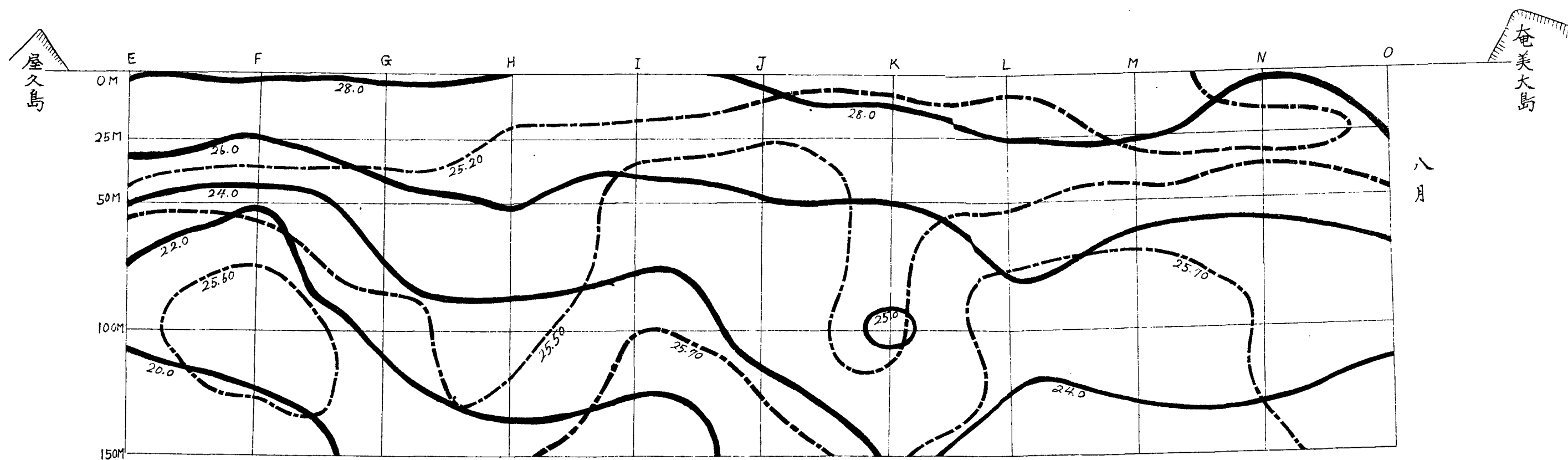
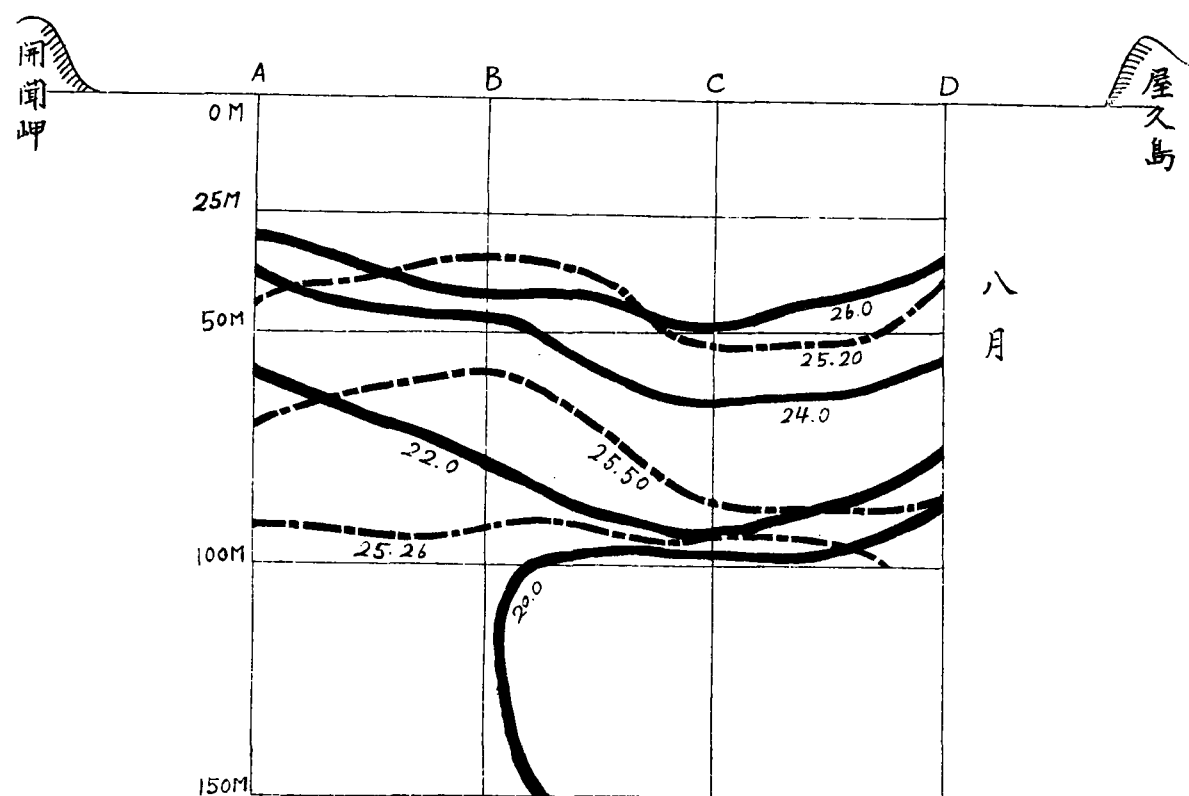
横断観測図

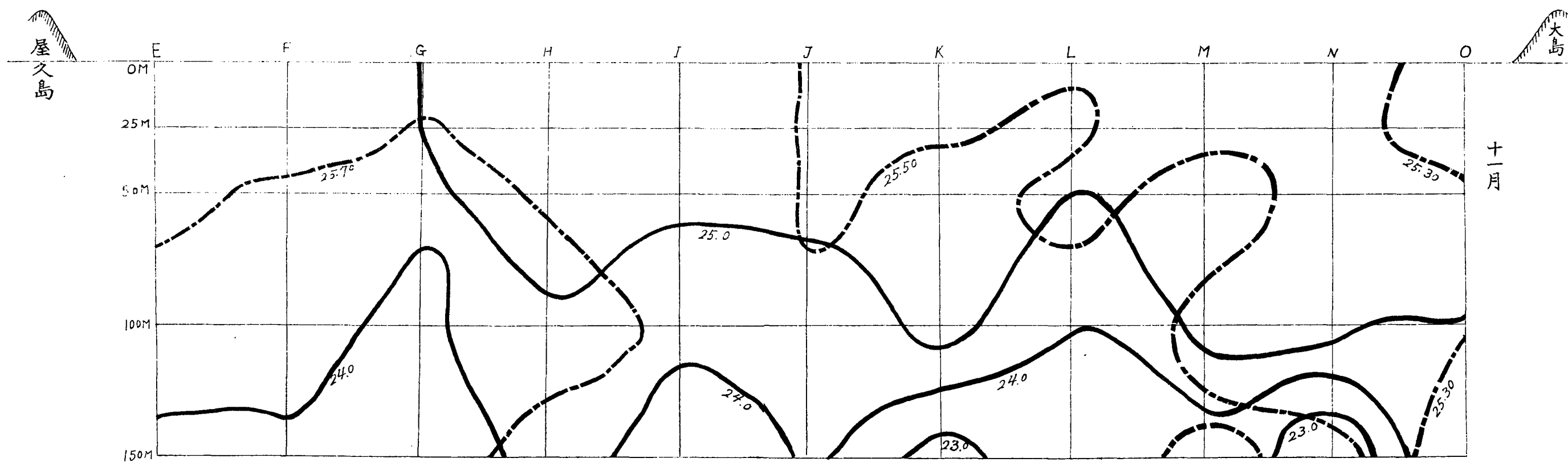


開聞岬

屋久島







鹿兒島灣内定点観測

観測場所は鹿兒島港外沖小島冲定點にして海の周期的變化を調査するものにして之が連年に及ぶ時は該水域の個性を指示するのみならず傍ら外洋の一般狀態を推知し得る性質のものなるが故に本年度に於いても月三回を標準とし観測を施行せり

表面水溫 本年度は一般に平年より高溫度を示し各月最低平均水溫は一月の一七、〇度にして平年より一度高く尙平年最低二月の一五、八度より一、二度高し、最高は七月の二八、七度にして平年より一、八度高く平年最高より〇、七度の高溫なり

下層水溫 百米層に於ては月別の變化割合少なく最低一六、〇度(三月下旬)より最高二〇、五度(六月下旬)間を昇降せり
表面と下層百米層との溫度差の最小は四月上旬の〇度にして最大は七月上旬の一、四度なり

表面比重 毎月平均比重の最高は二月の二五、七九にして平年最高より高き事〇、〇三最低は七月の二四、五五にして平年最低より〇、六五高し、一般に五月より九月迄低比重にして二四、〇〇台を示し此れが前後は二五、〇〇以上を示す

下層比重 百米層比重は大体表面比重より一、〇〇以内の高比重を示し表層變化に準じ昇降し本年度中特種比重の起りしは次の五旬にして共に表層より低比重を示せり

一月上旬	表層ヨリ	〇、四四低シ
二月下旬	〃	一、一六〃
三月下旬	〃	〇、二七〃
十月下旬	〃	〇、五四〃
十二月中旬	〃	〇、〇五〃

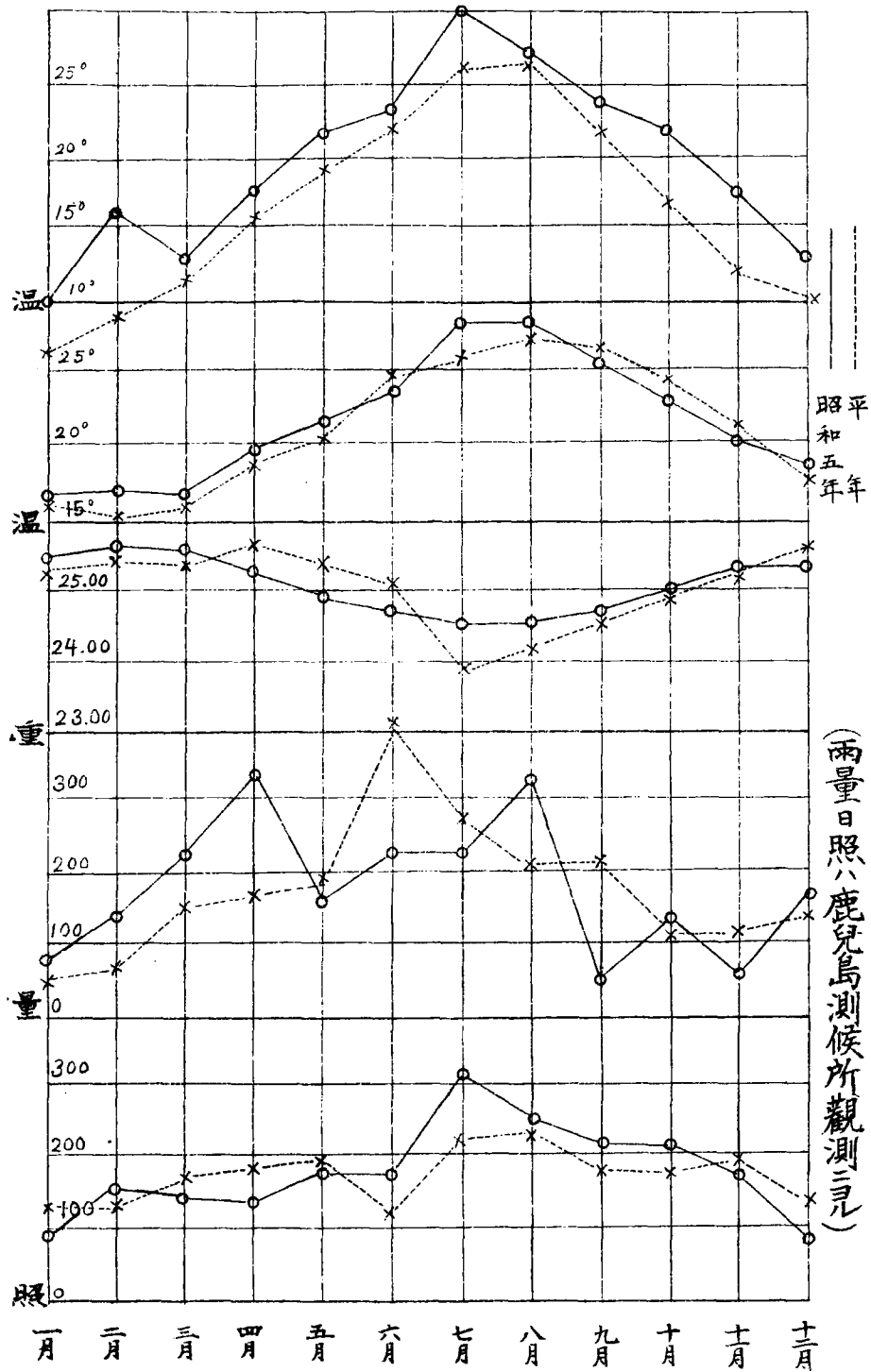
定點觀測表

(昭和五年度)

月 日	時 分	氣溫 氣壓	水 溫 及 比 重。15℃				透明度	潮流 流向	雲量	風向力	天氣	記 事
			表面	二五米	五〇米	七五米	一〇〇米	平均				
一月 六日	午後二時	七、〇 七、四	一七、四 一七、八	一七、六 一七、六	一七、八 一七、八	一七、四 一七、四	一八、〇 一八、〇	一七、六 一七、六	10	N 2	C	定點附近漁事ナシ
一月 廿日	午前十一時	一〇、三 一〇、三	一七、三 一七、四	一七、四 一七、四	一七、一 一七、一	一七、〇 一七、〇	一七、三 一七、三	一七、二 一七、二	10	NE 2	C	鰻大羽鰻漁相當アリ
一月 三十日	全	一三、五 一三、五	一六、五 一六、五	一六、四 一六、四	一六、五 一六、五	一六、五 一六、五	一六、五 一六、五	一六、五 一六、五	3	NE 1	B	大羽鰻刺網漁好漁
二月 七日	全	一〇、五 一〇、五	一七、五 一七、五	一七、〇 一七、〇	一七、〇 一七、〇	一七、五 一七、五	一七、五 一七、五	一七、五 一七、五	10	NE 1	C	灣口大羽鰻好漁
二月 十九日	全	一六、二 一六、二	一六、五 一六、五	一六、五 一六、五	一六、五 一六、五	一六、四 一六、四	一六、五 一六、五	一六、五 一六、五	4	NE 1	B	灣口大羽鰻豐漁
二月 二十七日	午後二時	一九、〇 一九、〇	一八、九 一八、九	一八、四 一八、四	一八、〇 一八、〇	一八、三 一八、三	一七、〇 一七、〇	一八、三 一八、三	0	NW 1	B	漁ナシ
三月 十日	午前七時	二三、三 二三、三	一六、五 一六、五	一六、九 一六、九	一六、四 一六、四	一六、〇 一六、〇	一六、四 一六、四	一六、四 一六、四	6	N 3	B	大羽鰻漁アリ
三月 十四日	午後四時	一三、五 一三、五	一六、四 一六、四	一六、七 一六、七	一七、〇 一七、〇	一七、五 一七、五	一八、〇 一八、〇	一七、一 一七、一	3	W 2	B	荒天ノタメ漁少ナシ
三月 三十一日	午後三時半	一一、〇 一一、〇	一六、五 一六、五	一六、三 一六、三	一六、〇 一六、〇	一六、三 一六、三	一六、〇 一六、〇	一六、三 一六、三	10	NE 3	R	
四月 四日	午前十時	一六、五 一六、五	一六、六 一六、六	一六、七 一六、七	一六、八 一六、八	一六、八 一六、八	一六、六 一六、六	一六、七 一六、七	10	E 1	C	大羽鰻八田網好漁
四月 十七日	午前十時	一九、七 一九、七	一八、〇 一八、〇	一七、七 一七、七	一七、九 一七、九	一七、一 一七、一	一八、四 一八、四	一七、〇 一七、〇	0	SE 0	B	漁ナシ

四月廿二日	午前十二時半	一八、七 七、三	二、五 三、三	二〇、〇 五、六	一八、〇 五、七	一六、九 五、九	一六、九 五、八	一八、六 五、七	二〇、〇 二、六	〇	SSW 1	B	半大羽鰯 灣奥好漁 タコ盛ナリ
五月十日	午前十二時	三、〇	一、九 九、六	一七、九 五、六	一七、一 五、〇	一六、七 五、〇	一六、五 五、四	一七、六 五、四	八、〇	0	SW 1	B.	漁少シ
五月二十日	午前 十時半	三、〇	二、一 五、六	一八、六 五、八	一七、九 五、〇	一七、〇 五、九		一八、七 五、九	六、〇	9	N 2	C	小鰯ノ少漁
五月廿九日	午前 十時	三、五	二、四 五、七	一九、〇 五、四	一七、二 五、六	一六、八 五、九	一六、八 五、五	一八、六 五、五	一七、〇	1	S 1	B	小鰯ノ少漁
六月七日	午前 十時半	二〇、五 七、九	三、五 四、九	二〇、八 五、三	二〇、〇 五、三	一六、八 五、七	一六、七 五、二	一九、四 五、六	八、〇	10	WNW 1	C	タコ好漁
六月十九日	午前 十時	二四、〇	二、四 八、八	二四、四 五、七	二二、〇 五、四	一九、一 五、八	一八、〇 五、三	一九、六 五、五	一四、〇	10	NW 1	C	鰯好漁
六月廿六日	午後三時	三、五 七、九	二、四 七、七	二四、一 五、四	二〇、六 五、三	一九、七 五、四	二〇、五 五、三	二一、八 五、三	一〇、〇	10	WSW 2	C	薄漁
七月七日	午後三時	三、〇 七、〇	二、九 四、九	二五、五 五、〇	二一、三 五、〇	二〇、一 五、四	一七、八 五、六	二二、六 五、三	二五、〇	3	S 1	B	
七月廿九日	午後零時	二、五	二、八 四、三	二七、〇 四、五	二四、五 四、七	二〇、五 四、七	一八、〇 四、五	二三、六 四、五	一九、〇	0	SW 2	B	
八月十日	午前十二時	二七、七 七、四	二、八 四、七	二六、三 四、八	二二、六 四、四	二〇、一 四、七	一八、四 四、七	二三、八 四、〇	二〇、〇	7	ENE 2	C	
八月廿三日	午後 四時半	二、九 七、八	二、八 四、八	二四、八 四、七	二二、四 四、三	二〇、五 四、三	一八、三 四、三	二三、七 四、九	一四、〇	8	SSW 2	C	薄漁
八月三十日	午前 十時	二、〇	二、七 四、五	二五、三 四、四	二二、〇 四、〇	一九、五 四、六	一八、五 四、四	二三、七 四、九	一四、〇	10	NE 1	R	鰯ノ小漁
九月十日	午前 十時半	二、七、五	二、八 四、五	二七、〇 四、九	二三、五 四、八	一九、〇 四、六	一八、五 四、五	二三、三 四、三	一五、〇	3	E 0	B	鰯漁相當アリ

昭和五年度氣温表面水温比重及降雨日照ノ变化



十二月	十一月	十月	九月	八月	七月	六月	五月	四月	三月	二月
一四、五	一七、三	三三、七	二四、八	二七、六	三〇、三	三三、三	三三、三	八三、三	一一、九	一五、三
一〇、五	一一、八	一八、七	三三、三	二七、〇	三六、五	三三、四	一八、九	一五、一	一〇、三	七、三
一九〇	三〇、八	二五、五	二六、一	二八、一	二八、七	三三、八	三〇、八	一九、六	一六、四	一七、九
一八、五	三〇、九	二四、一	二六、九	二八、〇	二六、九	二四、三	三〇、一	一八、三	一六、一	一五、八
二五、四二	二五、二五	二五、〇五	二四、七五	二四、六三	二四、五五	二四、九三	二四、九三	二五、五	二五、七五	二五、七九
二五、四四	二五、二四	二四、九四	二四、六八	二四、一五	二三、九〇	二四、〇七	二五、四三	二五、七六	二五、五三	二五、六一
一六三、一	六六、九	一九、六	三九、六	三九、三	三三、八	三三、六	一七、六	三九、六	二四、三	一六、〇
一四〇、三	一〇三、九	一〇一、三	三〇六、四	二〇四、四	二八、三	四〇五、五	一八〇、六	一九〇、〇	一五〇、〇	七九、一
九三、三	一八〇、四	一一、三	二八、五	二六、三	三〇四、四	一七六、六	一八七、三	一四六、一	一四八、三	一五七、九
一三三、九	一九七、七	一八八、四	一九四、〇	三三、九	二二七、七	一三三、四	一九、九	一八九、八	一七七、八	一三四、八

總收 以上定點觀測に依り本年度海況を要約するに本年は一月以來平年より水溫比重共に高位を示し黒潮の勢力大なるを示す八月以降は其勢力稍々衰へ平年より一度の低下を示してゐる尙此の海況を八月を中心とし二區分し前年度と比較對照するに溫度に於ては其の昇降が全々反對現象を示せり

本年度中漁況

本年度は各漁共一般に不漁にて特筆すべきものなし

鮪 漁事は先年末より始り不漁なりしが本年一月以降弗々好漁を見たり即ち一、二月は目鉢黒鮪の大型のもの多く三月四月は仔鮪の好漁五月不振六月黒鮪好漁を最後として本年度漁事を終れり

鰹 二月初漁期中版の好漁ありたる外は周年不漁にして特に大鰹の減少は注意す可き事とす

鰯 一月より三月迄は大羽鰯の相當漁ありたり垂口は四、五月に於て始めて好漁を見たるのみ。以降八月迄漁事なく九、十月に至り眞鰯の相當漁ありたり

鯛 終年を通じ不漁續きにて特筆すべき漁事なし

鯽 前年秋より始められし餌付鯽漁は不漁の爲一月中に終了し其後大敷網始まるも共に不漁四月に入りて網上せり秋季餌付漁季に入るも依然不振にて本年度漁事を終れり

旗魚 見るべきものなし

鯖 春季漁事全々振はず秋季に入りて少漁を見る

飛魚 五月の初漁に漁獲ありしのみ

瀬魚 夏季に於て好漁を見る外週年不漁なりき

重要魚漁獲調査

昭和三年より海洋調査資料として各縣とも國立水産試験場に連絡し漁獲調査を爲すこととせり其の方法は一定の調査地にて各月上中下旬に分ち定めたる漁獲高(尾數、貫數、價格)漁場平均漁獲高魚体の大小等を調査するものにして之を各重要魚種に亘り爲すを必要とするも其の漁獲物は一定のヶ所に集るものに非ざる限り調査極めて困難なるが故本場にては枕崎漁業組合所屬船の鯉漁獲物のみに付之れを施行しつゝあり同地船は總て其の漁獲物を所屬共同販賣所にて競賣し帳簿の記載正確にして本調査の目的に副ひ其の數字は信憑す可きものなり

鯉 漁 獲 表

昭和四年度

二 月	三 月	四 月	五 月	六 月	七 月	漁 獲		航 船 延 數	魚 体				鰯
						尾 數	斤 數		高 格	大	中	小	
						四、八六六	四三、一〇〇	三	一四、二二〇	四、四七〇	一九四	六七	一三三
						四、〇七四	三五、一三三	三四	六九、六四四	一〇、七四〇	二、三三〇	三、四、五七	三、五三
						一三、四五六	八〇、二七三	五三	三三、六六六	四九、〇三	一、三、九三	三、八、五	七、三八
						一八七、九七七	七六、九三三	五四	一六、九五	一八、〇二〇	八、六一	一四、三七	一三、三九
						一二七、三三九	四七、五九	四六	九七、四三	四、八三三	二、五〇	一〇八、一四	一、一三
						一六三、三六六	六三、八八六	五三	一三、一六〇	五、四四三	五、四九六	一五、二〇	七、三

鯉 漁 獲 表

昭和五年度

月	八	九	十	十一	計	一航平均
漁獲	九,一五九	四一,三四五	三三,八七三	一七,二五	七七,六八九	一,九七九
斤數	五七,八二五	四七,八三七	二六,四三	一四,六四	四,三九,六三	一〇,六九七
價格	一三八,一六五	二六,七六	七七,五九	四三,一四六	一〇,七三,六三	二,六九五
航船數	四七	四三	三三	三三	三九	
飛大	六,三七	八,七三六	四,四三七	一,五八四	三一,一二	
中大	一九,〇五〇	一六,二五四	九,〇四〇	二,七三九	一三九,五八〇	
小	一〇,一〇三	六,四九三	七,〇三〇	九,三六	六四,六三七	
體	三二,五三四	七,〇一〇	六,〇八九	二,四二三	五一,三九三	
鮪	一,二二	二,四五	六,〇四七	一,一〇三	三六,六九	

月	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	計	航海平均
漁獲	三〇,七八	七,六三	一〇,九五	一〇,九一	五七,三八	二七,〇四	四二,二五	三六,六八	二,三三九	七,六五七	四九,〇四二	一,四四三
斤數	一七,二五三	五七,〇二	五八,三三	四六,五三	二二,一七九	一三六,五八九	一四一,〇六六	一五六,〇九六	一四,〇六六	三三,一四一	二五,六三〇	七,五三八
價格	五〇,〇四〇	一三,一六三	九七,九六	一〇〇,九四	四二,六六〇	二六,七九	二六,七〇三	三三,四七	四四,五二	一四,〇七五	五七,一四七	一,六三八
航船數	八	四	五	五	四	三	三	三	二	二	三	
飛大	二六	二〇	一,二六	二,六九七	九三	一,〇三	一,〇八	一,五九五	三,一六	四六	一四,三六三	
中大	三,〇三八	一七,三三	三〇,八七六	一八,〇四	四,六三	三,四九	二,三九五	三,一五一	二,九六	五八	六,三三五	
小	二六,四八九	三,三八六	三,八〇三	五,六〇四	二,一六	六〇	二,七五一	七,三五〇	五,三〇九	三,二七	六,五三六	
體	六六五	一五,七七	五七,八三	五八,九五	四二,二〇四	二,二六九	三七,三七五	一一,一九〇	六,五九三	二,二九五	二五,七一三	
鮪	三三七	五,八五六	二六,七三	一一,五三	三,八七	五七	一,五七五	三,二七	三,一五	一,三五四	五,〇九四	

各月別漁獲概要次ノ如シ

- 二月 中版のみ相當漁獲を見たるも其他殆どなし
- 三月 飛大鮪は前年に比し多少増獲を見中版は好漁なりしも小版少し
- 四月 鮪のみ多少増すも他全部振はず
- 五月 小版の最盛期なるも極めて振はず他は全部減少す
- 六月 飛大中鮪は前年に比し多少多きも小鯉極めて少し
- 七月 大差なく只小鯉の激減を見る
- 八、九月 小鯉を増すも他は少し
- 十、十一月 前年に比し飛大多少増獲あるも他全部少し

本漁期を通觀するに二月中旬頃中版のみの好漁を見たるも他極めて少なく六七兩月小版の激減を見たるは例年と其趣を異にす

昭和五年鯉漁業ト水温 (—— 五年度 〰 四年度 三年度)

